激汗

大阪経済大学大樟会

経大人のための情報誌
DENKO

2020年
55号

山本俊一郎学長インタビュー

特集●支部長座談会
「地域支部の活性化により、
同窓会の認知度向上へ」

地域支部の活性化により、同窓会の認知度向上へ

今年春の卒業生で同窓会員が初めて10万人の大台を超えることになりました。この数字は全国の大学の中で上位60位台と決して少ない数字ではありません。また、同窓会としても今年は南大阪支部と沖縄支部が誕生し、これで北は北海道から南は沖縄まで56支部が揃ったことになります。

そこで、本日は誕生したばかりの1,300人の会員を持つ南大阪支部や支部総会の参加者不足に悩む地方支部の支部長さんにお集まりいただいて、現状や抱えている問題点など、忌憚のないご意見をお伺いする場を設けた次第です。 ※この座談会は2019年9月15日本学で開催したものです。

出席者（カッコ内は卒業回）
北海道支部長　池田正勝氏（34回）
福井支部長　田安敏男氏（38回）
南大阪支部長　藤田鉄夫氏（40回）
愛媛支部長　二宮克郎氏（40回）
沖縄支部長　西里喜明氏（48回）
司　　会　小林眞人広報部長（32回）

小林　まず、6月に誕生したばかりの沖縄支部の現状からお聞かせください。

西里　従来は南九州支部として鹿児島県と一緒に活動をしていました。しかし、鹿児島まで支部総会に行く人数は非常に少なく、たまたまご縁があった小谷副学長のご提案で「沖縄支部を設立したらどうだろう」という話があって、南九州支部と本部のご理解ご支援もあり、今年6月23日に支部発足というところまでこぎつけました。

名簿上は50名近くありましたが、連絡がつくのは30名弱ぐらいということで、実際に設立総会に出席したのは7名でした。田村会長からは「小さく産んで大きく育てろ」という暖かいお言葉をいただきながら、取りあえずスタートすることができました。

小林　南大阪支部も誕生したばかりですね。

藤田　私たちの支部も6月に誕生させてもらったのですが、難産でして、今年はどうにかこうにか総会にまでこぎつけました。当支部のエリアは大阪の南河内地区にあり、会員は1,300名を超えています。総会をする時に果たして何人集まるのだろうか心配でしたが、一応全員に案内を配りました。200名超は返ってきたのですが、最終的には40名程度の参加でした。これから何をすればいいのか、まだ白紙の状態なのですが、総会以外にも会員が興味を持っていることをやっていこうということになっています。来年からは皆さんと協議をしていろいろ知恵を拝借して支部運営をやって行きたいと思っています。

小林　北海道支部はいかがですか。

池田　学校から一番遠く離れているということもあって会員は一応32名ですが、実際には転勤族の方が多いです。私のように、本土からこっちへ来て結婚したという方が増えてはいるものの、集まるのもなかなか難しくて、今年は10月31日にいつもの会場で開催するのですが、10名前後ではないかなと思っています。私は十勝にいるものですから札幌での総会は何年かに1回は十勝で開催しています。なかなかコンセンサ

スが得られないのですが、1年に1回の集まりでも、逢えば和気藹々でその時は近況報告をしたりしています。書記をやっている鵜飼さんからは「北海道支部は限界支部ではないか」などの意見も出ていますが、これからは夫婦で集まろうかという話もありました。

小林　今回新しく愛媛支部長に就任された二宮さんはいかがですか。

二宮　現在700名くらいの会員がいます。今年は7月27日に今治国際ホテルで開催して会員は29名しか出席していただけなかったのですが、参加者が毎年少しずつ減ってきているのが現状です。去年は愛媛支部創立35周年ということで松山市で開催しましたが、いつもは35名～40名弱の出席者で総会を開催しています。私の前任の眞鍋さんが急逝されまして、私自身も最近大学へ行ったことがない状態で直前の大学の現状を聞くことができないまま支部長を仰せつかったものですから責任の重さを感じています。いかにしたら人数を集めて活性化した支部になるのかなあと思って、まず始めたのが「大学のホームカミングデーへ皆さん行きましょう」という企画です。私もそうだったのですが、卒業して一回も大学を訪れたことがないという人が多いんじゃないかと、声をかけて昨年大学訪問ツアーを実施しました。子供づれの奥さんも含めて14名の出席があって、愛媛から大阪南港へ着くオレンジフェリーの新造船もできて個室も備わったものですから、これも見ておきたいということもありました。フェリーの中での懇親も深まって和気藹々としてこの計画は良かったと思います。

大学周辺も随分変わっていて、地下鉄もすぐそこまで来ているということも見ていただき、少しでも大学を知っていただいて総会にも一人でも多くの会員が後輩も呼んで参加していただければと思っています。それと四国4県で情報交換をやろうということで、以前は四国サミットを四国全体でやろうかということもお話していたのですが、ちょっとそれが途切れています。それと現役の学生との交流を何らかの形で実現したいと思っています。愛媛に帰って就職したいという在学生が結構いますから、人脈を辿って就職できるようなお手伝いもできればと思っています。

あとは、愛媛は東予、中予、南予と距離もあり、結構時間もかかりますので、総会も東予の方が人数も多くて東予中心で集まりやすいのですが、中予の松山、南予の大洲や宇和島辺りでも総会を開催して、出席者を増やしたいと思っています。そのために東予、中予、南予に地区長みたいな方をお願いして、そこで小さな集まりを開いていただいて人脈、交流づくりをすれば、それが総会の出席率向上につながり、そこが情報交換の場になればいいかなと思っています。

小林　福井支部は永く石橋隆夫さんに支部長を務めていただきましたが。

田安　昨年石橋先輩から支部長を引き継ぎ、まだ歩き始めたばかりです。同窓会が発足したのは昭和41年（1966年）で、発足早々の昭和45年、現役学生の県人会がありまして、私は、当時会長をしていて詰襟を着て総会に出席させていただいた経験もあります。現在の会員数は700名前後だと思います。毎年封書を送って、戻ってくるのは少ないのですが、その宛先に果たして卒業生がいるのかどうかなどの確認を今からしなければなりません。毎年、総会は6月下旬ですが、出席者は40名～50名というところで

CONTENTS

2　特集●支部長座談会
　　地域支部の活性化により、同窓会の認知度向上へ
7　山本俊一郎学長インタビュー
10　大樟会総会
14　わがまちイチオシ
16　クラブ活動紹介
19　奨学金制度
20　新・北から南から
24　支部だより
39　卒業回数・卒業年早見表
40　OB・OGネットワーク
44　ゼミ短信
46　お世話になった先生からのお元気なお便り
47　パソコン教室
48　ズームアップ経大人
54　本部だより
57　大樟会支部長・各種部会会長一覧
58　2019年度理事一覧
59　年間行事

す。夫婦同伴でということを原則としています。地元福井新聞に安い金額の広告の欄があって、一回2万円前後で掲載してくれるので総会開催前に2回出しています。その広告を見て他の県の出身者が出席されたこともあります。

福井の地勢としては京都に接している小浜、若狭などの嶺南地方と福井、武生の嶺北とに分けられるのですが、嶺南の方が大阪に近く、JRの新快速が敦賀まで来るようになって特急券もいらなくなったということで、嶺南からの入学者が多くなっています。最近は大学に入る学生が減ってきていて、我々の学生時代は1学年で60名くらいいたのですが、今は多くて20名くらいになってきています。

総会への出席者を増やそうと石橋先輩の時から努力をしているのですが、なかなか増えないのが現状です。高齢化でだんだん参加できなくなった人の分だけ総会出席者が減っているのが現状です。

小林　この中で比較的長く支部長をされている池田さんですが、永年支部運営でお困りなどがありましたらお聞かせください。

池田　マンネリとワンパターンを打破しなければと思ってはいるのですが（笑）。私はたまたま支部長として学校に来る機会があって元気をもらえるのですが、そういう情報を会員へお伝えする機会を持ちたいと思います。大樟会会員がたまたま出張で十勝へ来られた時には寄ってくださったり、できれば声をかけていただければもう少し違う角度で情報をお伝えできたり、新たな繋がりもできるのではと思っています。

最近は関西の人が十勝へ来られる機会が多く見受けられます。私は関西出身で、たまたま田舎に住んでいて農村ホームステイというのをやっています。今回も大阪の東百舌鳥高等学校から25人が清水町内に来る予定です。他にも天王寺高校など毎年5～6校がきています。最近は農家の受入れ先が少なくなってきています。私は清水町に住んでいるのですが、清水町で一クラスくらいを各家庭に2～4名分かれて受け入れています。そういう意味では最近は北海道にも関心が高くなってきたのかなあと思っています。道内会員へたまたま電話をしても、ご家族の中には本学の同窓会を知らない人もいて、もっと頻繁にこちらから連絡を取ればいいのかなあと思っています。地元出身は十勝の場合は一人しかいません。

小林　支部総会の参加者集めはどうされているのですか。

池田　転勤で来て現地で結婚されたという人が定着していますから、支部総会はそういう方たちの34回、37回、38回卒あたりの人たちが中心になってやってくれています。

小林　会員が少ないから出席率は全国的に見ればいいでしょうね。

池田　現在の登録人員は32名で、出席者は10名前後というところですね。

小林　率としては30%ということでは出席率は全国一ですね（笑）。

田安　本人がその住所に住んでいるかどうかということです。郵送物が帰ってくればそこにはだれも居ないということがわかるのですが、郵送物は届くのですね。親元に送られているということではないかと思います。時期をみてアンケートを同封して調べてみたいということを内部で話してはいるのですが。700通弱送って、返送されて来るというのはほとんどなくなってはきています。

参加者を増やすためにどうしたらいいのかなあと色々手を打ってはいるのですけどねえ。これといった妙案というものはないです。石橋先輩の時代から誰か近くにいたら誘って一緒に来いということで、一度参加すると次回から来やすくなるし、初めて総会に出た場合には会費7,000円を無料にしていますが、2回目も来るというのはそう多くはないです。

小林　二宮さんのところで困っていることといえばどういうことでしょうか?

二宮　平成30年度（2018年度）の案内状にアンケートを入れました。出したのは700通で、返ってきたのは130通でした。設問は年1回の総会に①今後総会に出席します。できるだけ出席したいというのが29名　②2～3年に1度くらいなら出席してみたいというのが34名　③出席したいが出席できない理由があるというのが30名　④今後、出席したくありませんが24名。

今回は名簿を整理するので必ず返信してほしいと書いたのですが、返って来ないのが殆どでしたね。

実際にハガキを送って返ってくるのはほとんどありません。転勤しても転送されますよね。本人か親族には届いているとは思いますが、返信はがきも出してくれないので全然情報が入ってきません。今後、どうしようかと思ってはいるのですが…。

小林　同窓会本部としては全員に総会案内は出して欲しいということで補助金を出しているのですが、今のお話を聞いていると、700通出して返ってきたのは130通。後はなしのつぶて、という現状をお聞きすると、担当者としてはやりきれないというお気持ちはお察しするのですが…。

二宮　なんで総会へ出席しないかということですが、現在会費は1万円にしています。数千円にしたこともあるのですが、来ない人は来ない。その代わり会を充実させた方がいいのではないかということで、写真も沢山撮って参加者にお配りしています。

小林　今回は誕生間もない支部長さんもいらっしゃっています。先輩の話を聞いていてこれは大変だなあというお気持ちになられたと思いますが…。

西里　皆さんのお話を聞いていて人集めということよりも同窓会の認知度を上げることができるのかどうかということが気になります。幸い沖縄には若い人たちの名簿が揃っていますので、そこでなんとか繋がりを持たせたいなと思っています。

同窓会というと古いイメージだけが先走りますが、若い人たちにも楽しめる同窓会ができればいいのかなあということと、これまで縁もゆかりもなかったが、大学という一つの繋がりでそれぞれの人生にプラスになるような情報が共有できれば、年に1回か2回くらい行ってみたいなと思わせることができたらいいかなと思ってはいるのですが…。じゃあ具体的にどうしたらいいのかということをこれから考えなくてはいけません。

藤田　会員が1,300名いますが、各支部では毎回案内状を全員の方に出しておられるようですが、当会のように1,300名もいたら毎回案内状を出していたら補助金が殆どなくなっちゃうのですよ（笑）今回の結成時の案内で出欠の返事をもらった方だけに次回から案内を出しますという一文を入れました。それだったら次回から参加者が増えないという懸念もありますが、

アンケートを出すことも一つの方法だと思っています。

1,300名からの参加通知が返って来ない場合はハガキ代がもったいないので料金受け取り払い扱いにしています。

小林　最後に同窓会、大学に対して物申したいというご意見をお伺いしたいのですが…。

田安　授業料が安いとか無借金経営を続けているとか、他の大学と差別化ができるようなことを知らせることができないかと思います。私自身のことで恐縮ですが、なぜ大経大を受験したかというと、親に負担をかけたくないということで、納付金などが安いところを調べて大経大に入学しました。今の子どもたちもそういう意識を持っているのじゃないかと思いますね。そういうことをもう少し宣伝するという努力をしていただきたいですね。

小林　同窓会に対してはどうですか

田安　同窓会に対してはこれっていうことは思っていませんが、一人ひとりが同窓会の意識を高めてもらえれば大学の価値も上がってくるのではないかと思います。いまから入学してくる子どもたちにそういうことを知ってもらえる努力とPRを大学にしてもらえればと思っています。

小林　最近の雑誌などの資料によると偏差値も産近甲龍（※京都産業大、近畿大、甲南大、龍谷大）と同等に着実に上がっています。受験者も定員の10倍を上回っていますが、そのほとんどが大阪、兵庫など近畿圏に集中している現実からすると、もう少し地方からの受験者を増やす努力をしてほしいと思いますね。

田安　福井の場合を申し上げますと、合格者は19名で入学したのは8名しかいない。おそらく他大学に受かったから大経大に入らないということが起こっているのではないかと思います。でもどうしても大経大に入学したいという理由があると地方からの数は増えるであろうと思います。それは申し上げたように授業料を安くするとか、そういう努力をしてもらえると結果的にいい学生が来てくれるということになるのではないでしょうか。

池田　物申す資格もないのですが（笑）、私は大経大へ入れていただいてそれは有り難かったですね。私は2部で京都から通っていたのですが、奨学金ももらって教職単位も取ったのですが、昼間の授業も受講させていただいて、これは他大学ではできないことだと思っています。私は大学や同窓会の組織資料をみているだけでもこれだけきめ細かくやっていただいてすごいなと思っています。こんな大学があるのだろうかと驚いている状況ですね。いまも夜間もやっているし、恵まれている社会とはいえ、まだまだこんなに門戸を開いている大学ということを知らせたいなと思っています。

二宮　先輩からも言っているのですが、たまに優秀なスポーツ選手が出たりするのですが、そうした選手のために推薦枠を設けて欲しいというお願いはできないものでしょうか?

小林　小野元愛媛支部長からは支部長からの推薦枠を設けて欲しいとのお話をされていましたけれども、徳永前学長が即座に「ダメです」と一喝されてポシャッタことがありましたね（笑）。

スポーツ枠はあるのですが、なかなか増やしていただけないようですね。

二宮　やはり学業と両立してくれるような学生だったらいいのでしょうけどね。

香川、徳島、高知、愛媛の合格者はかなりあるのですが、入学率が低いですね。手元にある名簿では実際にそこにいるのかどうか分からない。アンケートを取っても700通出しても130通しか返らないような状況ですから、地域、地域でお世話をする人に名簿を渡して確認をして増やしていく方法しかないのかなぁと思っています。今年も会員の名簿を整理しているのですが、今後の通知を出すことに了解するという人と了解しないという人がいます。了解しないという人には今後総会案内は遠慮させていただきますとか、今後2年間の音信不通の場合は同様にさせていただきますと書いて出しているんですけど、このアンケート自体が返って来ないのです。今後はメール、ショートメールなどを活用していかなければと思っているのですけどね。

小林　不安な門出でしょうがよろしくお願いいたします。

西里　何の実績もなくて物申すなんておこがましいのですが、沖縄に帰って20年、30年大阪の母校に来たことがないという方が結構いると思うので、できれば「澱江」もそうですが、DVDにして現在の大学の状況や同窓生の活躍状況を送ってもらえれば「我が母校も頑張っている。大経大卒業でよかったなあ」と思えるのではないかと思います。将来的には、経済界、産業界のOB連携（大経大のネットワーク）ができれば、さらなる活性化が図れるのではないかと思います。

藤田　今回支部を立ち上げた中で同窓会本部に対しての不満は別にないのですが、大阪に住んでいますとどうしても関関同立のネームバリューが高いですね、それも一朝一夕でできることではないのですが、ネームバリューを上げることで入学者もどんどん増えてくると思いますね

小林　皆さんの母校を思う気持ちは十二分に理解できたと思いますが、ただ同窓会総会への出席率の悪さはどの支部も共通した悩みです。これを解決する王道というものはありませんが、かと言ってこのままでいい訳ではなく、地道にこの難問に向けてお互いに努力するしかないと思います。長時間にわたりましてありがとうございました。

学長インタビュー

「創発」を旗印に
―多様な価値観が新たな成果を生む時代

2019年4月に、大阪経済大学学長に就任された山本俊一郎教授に
これからの教学の運営方針や同窓会とのかかわりについてお伺いしました。

※このインタビューは2019年9月26日本学で実施したものです。

小林　学長は全国的にみても若く、本学の先生の中でも年齢的に学生に近い存在だと思いますが、お若い学長から見て大経大の学生はどんな感じですか?

学長　2005年に本学に着任した時の印象と今とは少し変化している気がします。14年前はもっとやんちゃな学生が多くて、勉強に熱心に取り組むというよりは、課外活動やイベントになると積極的に参加し、力を発揮するといった学生が多かった印象があります。年配の方とも物怖じせずコミュニケーションを図るような学生が多い印象を持っていました。

私自身はゼミ活動の中で商店街でイベントをしたり、企業の方と一緒になって問題を解決していくプログラムを行っていますので、学外での活動に積極的に取り組む学生に期待する面が大きいです。地域の人と交わっていくとなると、おとなしい学生はしゃべらないと何も生まれないので。

例えばこの前も大学の近くの町内会でお祭りが開かれたのですが、神輿の担ぎ手の若者がいないので学生8人にお願いしたいとの依頼がありました。アルバイトでお金もいただけるのですが、それでも積極的に参加しない。お祭りに出て、地域の人たちとワイワイやるのを楽しんでくれる学生が、今のコミュニティの活性化には必要だと思うのですが、そういうのは面倒くさいとか、そこに楽しみを感じない学生が増えているのではないかと感じることはあります。

その他に、近年では不本意入学といいますか、本学は滑り止めで受験し、第一志望は違う大学だったという学生が増えていますので、その学生たちに対して、もっと可能性を伸ばし、自分の殻を破ることができるようなサポートを充実させ、本学に入学してよかったと満足してもらうことが、これからの大経大の課題の一つだと思っています。

小林　学長が常に言っていらっしゃいます「創発」という言葉ですが、わかりやすく言うとどういうことですか?

学長　入学式などでお伝えしているのですが、皆様にはあまり馴染みがない言葉ですし、「創造」や「イノベーション」という言葉に比べて、よくわからないと思われて当然だと思います。

「創発」という言葉は、何が生み出されるのかわからないけど、何か新しいものが生み出されるというイメージです。大学教育に当てはめれば、「自分の芯となる意見を持った自立した人たちが集まって、多様な環境の中で個をぶつけあい、意見を交わしながら他人の意見を認め合う。一度、他人の考えを受け入れて、自分の中の芯の部分と融合させていると、これまで個だけなら生まれてこなかった新しい考え方、価値観が出てくるというか、湧き出てくるというようなイメージです。

「創造」や「イノベーション」はもっとこういうものを開発していこうだとか、目的に向かってみんなが新しいものを見出していくイメージなのですが、「創発」は、バラバラな価値観の中で一緒に行動することによって、良いか悪いか何かわからないけど予期せぬ新しいものが生まれるイメージです。

小林　「創発」は新語ではないのですね。

学長　そうですね。昔からある言葉で、生物学や情報工学の分野では常に使われています。それでもまだ一般的には馴染みがないと思います。

小林　全国でも若い学長ということで、プレッシャーみたいなものはないですか?

学長　学長就任が決まった後、4月になるまではあまり感じてなかったです。ただ、就任最初の4月1日の入学式で式辞を話す時になって実感が湧いたのか、これからはしっかりと自分の考えで大学を引っ張っていかなければならないと強く思いました。

リーダーシップにもいろいろなタイプがあると思いますが、私自身は「俺についてこい」というグイグイ組織を引っ張って統率するようなタイプではないと思っています。どちらかといえば、皆さんの意見を聴いて、最適と考える方向に舵をきっていく調整型のタイプだと思います。どちらが現在の混沌とした時代に必要なリーダー像であるのか、答えは結果でしかわかりませんが、反対意見に耳を傾けながらも、ベストな解を示して前に進んでいかなければならないと、日々プレッシャーを感じながら業務にあたっています。

小林　最近、組織改革をされましたね。

学長　昨年度から決まっていたことですが、まず教育学習支援センターを立ち上げました。

近年、文部科学省をはじめとして、多方面から大学の教学マネジメントを構築し、教育の質を向上させ、その成果を可視化することが強く求められています。「学生が受講してきた科目や経験を分析するとこのような成果が出た。そのため、来年度からはより良い成果があがるように、このカリキュラムや教育方法を実践していこう」というような教学におけるPDCA（Plan→Do→Check→Action）サイクルを構築することが必要です。教授会はもちろん、上記のセンターなど全学一丸となって日々の教育改善に取り組んでいるところです。

小林　大学の創立100周年に向けてのお考えはどうですか?

学長　昨年から教育体制検討委員会という組織が立ち上がり、最適な入学定員数や学部再編の是非について議論が進んでいます。

小林　学部増設はどうなのですか?

学長　入学定員を増やすにしても、文科省に申請する際にはなぜ増やすのかという明確な理由が必要となります。そのようななか、例えば大幅に入学定員数を増やさなければならないとなれば、新規に学部を創設するということも選択肢の一つになるかもしれませ

ん。まだ議論の最中でありますので、まずは入学定員を基準内に抑えることが大切です。基準が達成できないと文科省に申請もできません。学部再編を行うにしても早くても2022年からになります。

小林　学生数が8,000人までが中規模大学で、それを超えると大規模校になるということですが、大経大はどのくらいですか。

学長　現在は、約7,500名です。

小林　大経大も大規模校にしたいというお考えはあるのですか?

学長　結論は出ておりませんが、私の個人的な考えでは8,000人の中規模を維持していくのが良い選択肢だろうと考えています。これから20年後になると、関西圏の大学受験志願者数と関西の国公立大、私学偏差値上位8大学の入学定員が同じ数になると予測されています。そのため、大阪経済大学はそこに食い込んでおかないと受験生は志願してくれません。そういった厳しい受験環境のなかで、大規模に入学定員を増やして、それを確保するのは非常に厳しいと考えます。それよりも、8,000人の規模を維持し、現在の倍率を確保しながら、教育環境を充実させていくことが良いのではないかと思います。

小林　女子学生も増えると校内が華やかになりますよね。

学長　経済学部はまだまだ女子学生が少ないですし、経営学部も他大学と比較すれば、まだ女子比率は低いということもあり、今後、どのように女子の志願者にアピールしていくのか新たな方策を考えていく必要があります。

小林　同窓会と大学は両輪であると考えているのですが、学長は同窓会をどうご覧になっていますか。

学長　まだまだ私も関われていないところもあるのですが、昨年まで日本拳法部の部長を務めていたこともあり、同窓会では、クラブのOBの方たちの組織がしっかりとしていて、縦のつながりが強いというイメージを持っていました。ゼミでも縦のつながりはありますが、クラブほど強くないですね。

このように、クラブを中心につながっている組織かと思っていたのですが、支部総会に参加させていただく機会も増え、年輩の方々のつながりは、クラブというよりは大学卒業生としてのつながりも強いということがわかりました。多様なつながりの軸をつくることが同窓会活動の活性化には重要なのではないかと思います。ただ、同窓会総会などに参加させていただきますと、活動に参加されている方は年輩の方が多く、今後、若い人たちにどうやって参加してもらうかということを、私たち大学も真剣に考えていく必要があると思っております。

小林　同窓会と大学は車の両輪にあたるわけですから、大学としても同窓会へご理解をいただければと思っています。

学長　私も協力しあうことは当然だと思っていますし、「四国友の会」のように支部の方たちと一緒にイベントをして、現役の学生と同窓会の方とが顔見知りになるような活動が増えればいいですね。大学としても在学生と同窓会をつなぐ協力体制を一緒になって進めることができればいいと思います。

小林　長時間にわたりありがとうございました。

山本俊一郎学長のプロフィール

1974年11月18日香川県小豆島生まれ。45歳。小豆島土庄高校(現在は小豆島中央高校)出身。1992年、埼玉大学へ入学。同大学大学院教育研究科から東北大学大学院へ。2003年同大学で博士号を取得。東北学院大学附属中高で地理を教えながら論文を執筆。2005年、本学経済学部講師として着任。高校時代はバンドに熱中、将来は音楽の道に進むことも真剣に考えたこともあるという。ちなみに奥さまは幼稚園からの同級生。

2019
大樟会総会、
盛大に開催

まもなく
卒業生総数10万人の新時代に!

秋晴れのもと学園祭が行われるなか、令和になって初めての大樟会総会が11月3日（日・祝）11時、母校D館21教室で開催された。北は北海道、南は沖縄から338人の同窓生らが参加、総会・講演会の後、学生会館で懇親会が開かれ、大いに盛り上がった。

式辞（田村正晴会長）

祝辞（藤本二郎理事長）

祝辞（山本俊一郎学長）

当日は、大樟祭も開催

司会（小林眞人副会長）

学歌斉唱（グリークラブ）

感謝状贈呈
前鳥取支部長　秋口政俊様（39回）

懇親会

鏡開き（左から、田村会長、藤本理事長、山本学長）

乾杯（山本学長）

学歌・逍遥歌（下石元応援団長）

万歳三唱（安田大樟体育会副会長）

閉会挨拶
（大河内副会長）

2019年大樟会総会会長挨拶（要旨）

大阪経済大学大樟会
会長　田村　正晴

●皆さんお帰りなさい！　今日は年に一度卒業生が母校に「里帰りする日」です。

残念ながら大学主催のホームカミングデーが中止されましたので、今回は大樟会主催のホームカミングデーとなりました。この決定に対して卒業生としては失望感を持たざるを得ません。

「中止する」「やめる」ということは、一番簡単な選択肢ですが、「中止する」で終わりとするのではなく、「つながる力 №1」を掲げる大学らしく、もっとウェルカムな卒業生施策を再構築していただくことを期待いたします。

●ところで、本学の卒業生総数は大学発表でこの9月で9万8,919人となり、2020年春には10万人の大台を超えることが確実となりました。これは同窓会はもとより大学にとっても大きな節目となります。10万人の卒業生が母校の看板を背負い全国津々浦々で活躍しています。その実績が母校の社会的評価と持続的発展を促すことにもなります。

大学には、我々卒業生の母校への帰属意識がさらに高まるような大学の将来像、ビジョンと経営施策をお示しいただくよう、切にお願い申し上げます。

●おかげさまで、大学の発展とともに同窓会組織も年々拡がりを見せてまいりました。

2019年6月には南大阪支部、沖縄支部が設立され、全国56支部となりました。曲がりなりにも北は北海道から南は沖縄まで大樟会の旗が掲げられました。

もちろんその間には空白地域もありますし、維持存続が困難な既存組織もありますが、地道に一つずつ掘り起こし、立て直してまいります。大学100周年には、すでにある同期会やクラブOB会を含めて100を超える組織を設立し、最大の大学のサポーターとしての使命を果たしてまいります。

新しい学長を迎え、100周年に向け発進

小林眞人副会長（32回）の司会による開会宣言で総会が始まった。物故者への黙祷、グリークラブと会場全員の学歌斉唱のあと、まず田村正晴大樟会会長が式辞（上記）を述べた。

続いて藤本二郎理事長が祝辞を述べ、「少子高齢化の社会に“残される”大学を目指さなければならない。若い新しい風となる山本学長を迎え、学生第一に考え、小異を捨て一丸となって、大学改革を推し進めたい」と表明した。

さらに4月に就任した山本俊一郎学長は「昨年、本学のミッションとして『生き続ける学びが創発する場となり、商都大阪から、社会に貢献する“人財”を輩出する』を打ち出した。つまり、100周年を迎える2032年には、本学を知識あふれ出る場所とし、また、商都大阪の活性化に貢献する学生を育成する。『創発』をキーワードに邁進したい」と抱負を述べた。

続いて永年にわたり母校並びに大樟会発展に尽力し、このほど退任された秋口政俊前鳥取支部長（39回）に感謝状が贈られた。

最後に本学幹部出席者が紹介され、セレモニーはつつがなく終了。引き続いて平野幸夫氏による講演会（別掲）が行われた。

旧交を温め、来年の再会を誓う懇親会開催

会場を学生会館2階に移して、13時から大樟会懇親会が開催された。小林副会長の挨拶でスタート、広島・賀茂泉酒造の菰樽で鏡開きが行われた。

続いて、山本学長が「先の見えない時代、『創発』をキーワードに、次世代の価値を生み出す大学にしたい」と語り、乾杯の発声。会場は華やかな雰囲気に包まれた。

終盤にはビンゴゲーム大会が開かれ、1等（カタログギフト）に山本岩雄様（33回）、島岡喜洋様（38回）、木村文世様（42回）の3名様が当選。以下、2等（経大ネクタイ×3本）、3等（経大紅茶×3本）、4等（万年筆・ミニノート・紅茶セット×5本）、5等（タオル・ブランケットセット×5本）、6等（経大紅茶×8本）および重田吉庸様（38回）寄贈の特別賞（越乃寒梅×5本）が贈られた。

最後に、下石秀男元応援団長（37回）がエールを切り、学歌を全員で斉唱、安田太大樟体育会副会長（46回）の音頭で万歳三唱。閉会の挨拶では、大河内徹心副会長（39回）が「2022年の90周年、2025年の大阪万博も、共に盛り上げていきたい」と述べた。参加者は、互いに来年の再会を誓い合い、懇親会は閉幕した。

2019
大樟会総会
記念講演

テーマ
「最新の政経事情」

講師 **平野 幸夫** 氏
元毎日新聞論説委員、関西学院大学非常勤講師

総会終了後、平野幸夫氏（元毎日新聞論説委員、関西学院大学総合政策学部非常勤講師・現代ジャーナリズムなど）による記念講演を開催。①世界情勢（米中貿易戦争）、②日本経済（縮みゆくイリュージョン国家）、③教育とネット、負の相関という3つの内容で展開し、会場は熱心に耳を傾けた。（以下は、講演内容の要旨）

世界情勢

米国トランプ大統領の出現前後で世界情勢は激変した。ジャーナリズムの見地では脱真実の時代と呼べる。世の中にフェイクニュースがまん延する危うい時代だ。米国ではトランプ大統領の移民排除、米国ファーストが支持される一方、オバマ政権時代を懐かしみ、格差ない社会を目指す若い世代、低所得層などは不満を募らせている。民主党の大統領候補が誰に統一されるかで情勢は大きく変わるだろう。

「ウクライナ疑惑」が気掛かりなトランプ大統領は、中国に対して貿易戦争を仕掛け、中西部の農業権益を持つ国民の支持を伸ばそうとしている。その貿易交渉における得意技は「恫喝と手打ち」。対日本にもその手法が取られており、食料自給率の大幅な低下が懸念される。

国際経済においても中国の影響は非常に大きい。習近平国家主席は、建国100年に当たる2049年の「中華強国」を掲げ、強権的な専制政治を目指している。中でも特に注目されるのがEUとの関係だ。数年前から「中央班列」という大陸横断鉄道の路線を整備、中国40都市とEU圏内106都市を結び、年間1万3000本の列車が大量の物品を運ぶ。また、インド洋・太平洋の港湾の権益を念頭に置いて、スリランカ・パキスタン・アフリカなどに多額の貸し付けを行っている。米中対立はエンドレスで続き、20年、30年後には米国と中国のG2時代が来るというのが、大半のエコノミストの見解となっている。

縮みゆく日本のイリュージョン

2019年秋に亡くなった元国連難民高等弁務官、緒方貞子さんの言葉「今、国際情勢が平和だというのはイリュージョン（幻影）」は有名。引用して、日本が先進国という意識はイリュージョンだと述べたい。その経済指標を紹介する。

実質賃金が連続8カ月ダウンという最悪のタイミングで消費税率が引き上げられた。2018年の平均賃金は経済協力開発機構（OECD）加盟国の中で17位。労働生産性は先進7カ国中、最下位。そして、1人あたりのGDPは18位（日本の最高位は1995年の10位）。世界競争力ランキングは30位だ。最も深刻なのは、教育に対する公的支出のGDP比が43カ国中40位であること。基礎科学の研究費はどんどんカットされており、この5年先、10年先に、日本人のノーベル賞受賞は難しいのではないかと、危機感が広がっている。こうした指標を見て、日本が総中流社会とは言い難い。

ますます非正規労働者は増大。株価維持のために年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の年金が運用されている。ジャーナリズムは、体制や組織の監視を担わなければならない。

教育とネット、負の相関

ネット依存が国際的に問題となっている。2019年、世界保健機関（WHO）が「ゲーム障害」を疾病として認定した国際疾病分類を承認。私は、2000年代の初めからこの問題を取材の大きなテーマとしてきた。

長時間、スマホやパソコンに接していると脳の働きが衰え、場合によっては、凶悪な犯罪を起こす可能性がある。異常行動に走らせるのは幼少期のネット環境、つまりパソコンやゲームと過度に接している環境だという専門家の研究もある。神戸大学医学部附属病院に「ネット・ゲーム依存外来」が開設され、香川県ではネット・ゲーム依存症対策に関する全国初の条例制定が検討されている。

ネット・ゲームで成績が落ちるという統計もある。高校2年でネットの使いすぎによる成績低下53%、居眠り50%と想像以上に顕著だ。3歳から10歳の脳は可塑性が高く、より注意が必要。子どもが「寝ない」「食べない」「動かない」というのが初期症状とされ、周囲は気をつけたい。ネット依存になると、語彙が乏しく、豊かな会話ができない、キレやすい、凶暴になりやすい傾向がある。本や新聞を読み、豊かな語彙を身につけて、人間としての豊かな素養を育んでほしい。

（講演内容は2019年11月3日現在）

各支部・同期会の皆さん（懇親会会場にて）

順不同

CBS文化放送局OB会の皆さん

47期生の皆さん

南大阪支部の皆さん

北河内支部の皆さん

英文タイプOB会の皆さん

40期生の皆さん

税理士大樟会の皆さん

静岡支部の皆さん

21期、22期、23期の皆さん

社労士大樟会の皆さん

39期生の皆さん

懇親会後別会場にて

37期生の皆さん

とりあえず34期会の皆さん

大学院大樟会の皆さん

32期生の皆さん

29期生の皆さん（ひでよしにて）

30期生の皆さん（ひでよしにて）

全国各地で、地域のあり方を見つめ直そうという機運がますます高まってきたように思われます。
そこで、全国各支部に依頼し、「これぞ、わがまちのイチオシ」というものや
「ふるさとで自慢できるもの」などを自由にお書きいただきました。

2019年NHK朝ドラ前半 「なつぞら」の舞台、十勝

北海道支部

皆さんが、この文章を読まれる頃は、この連続ドラマは終了していることでしょう。私はロケ地になった清水町の一員でもあり、当初から繰り返し視聴するほど熱中しています。今後の成り行きも興味がありますが、登場人物のひとりを紹介します。

奥原なつが十勝の酪農家に里子として、幼少から高校まで育ちました。近所に住む幼なじみ山田天陽は、農民画家「神田日勝」をモデルにしています。日勝一家は、東京から戦火を避けるため十勝の鹿追に疎開しました。日勝は、畑仕事をしながらベニヤ板に油絵を描き続け、未完成の馬の画は、32歳の若さで病死した最後の作品です。力強い生き様が現れていて、訪れるたびにしばらく見入ってしまうほどです。

酪農家の生活、銘菓、農業高校、北海道弁、風景など、京都から移り住んで40数年、「なつぞら」ブームで十勝を再発見しています。

支部長　池田正勝（34回）

福井は「お餅」県？

福井支部

福井は餅の消費量が全国トップクラス。平成29年には福井市の餅の年間消費量が全国一位（総務省調査）になったこともあります。

福井には餅の専門店が多くあるのも特徴で、農家が生産したもち米を持ち込んで餅を作るように依頼したことから多くの餅屋が生れたと言われております。

餅にまつわる風習は今も残っており、福井県の北部では「半夏生（はんげしょう）」と「土用」には黒蜜に浸してから、きな粉をまぶした「あべかわ餅」を、夏バテを防ぐ食物として食しています。

餅屋や菓子店には大福餅などの餅菓子の種類も豊富で、特に「大吉餅」様は江戸時代から続く老舗として本物の餅にこだわり、朝つきの餅をその日のうちに売る考え方を貫いています。福井県産のもち米（カグラモチ、タンチョウモチ）と福井県産の大豆から作ったきな粉、それに沖縄・多良間島産の黒糖を煮詰めた黒蜜で作る「あべかわ餅」は、ほっぺのような弾力ある餅と絡んで満足のいく一品です。

「大吉餅」様はJR福井駅から徒歩15分、旧北国街道沿いにあり福井の歴史を訪ねながら、一度訪ねられてみてはどうでしょうか。

店主は39回卒の森 眞一郎氏です。　事務局長　中嶋閲一（43回）

女王・卑弥呼 縁の古墳「安満宮山古墳（あまみややまこふん）」

北摂支部

安満宮山古墳は、高槻市に数多く存在する古墳群のうちでも一番古く、西暦200年前後の古墳で、平安時代からは春日神社（現在は磐手杜神社）の神域として守られてきた聖なる山です。

平成9年、この山の中腹を発掘調査したところ、長大な木棺を収めた古墳が出てきました。棺内には青銅鏡、ガラス玉をつづった装飾品や刀・斧などの鉄製品が副葬され、並々ならぬ人物が埋葬されていたと思われます。

中でも注目すべきは、中国・魏から女王卑弥呼が入手した「銅鏡百枚」のうち3面が出土したことです。邪馬台国の重要な外交ルートである淀川を一望する安満宮山古墳。ここに眠る人物は、眼下に広がる安満遺跡を拠点とするこの地の王で、使節団の有力な一員として活躍し、これらの貴重な鏡を女王・卑弥呼から授けられたのでしょう。

事務局長　梶村貞男（37回）

百舌鳥古市古墳群が令和初の 世界文化遺産に指定

南大阪支部

白鳥陵古墳

2019年（令和元年）6月「百舌鳥古市古墳群」が令和初の世界文化遺産に指定されました。特に羽曳野市と藤井寺市に位置する「古市古墳群」の大部分が南大阪支部の活動範囲に位置しております。その昔、藤井寺市は南河内郡御陵町（みささぎちょう）と呼ばれ、古墳群が町名の由来となっております。

このたびの世界文化遺産指定は、日本の古代史を語るうえで注目を浴びることとなりました。興味をお持ちの方がおられましたら、ぜひこの地を訪ねられ、古き良き時代に思いを馳せてみるのもいいのではないでしょうか。アクティブで、開かれた支部を目指す南大阪支部は、おもてなしの精神で皆さんをお迎えいたします。

支部長　藤田鉄夫（40回）

荒牧バラ公園

伊丹支部

今回は「荒牧バラ公園」を紹介します。伊丹市観光スポットランキングトップ10の第6位、因みに第1位は大阪国際空港沿いの「伊丹スカイパーク」です。

昨年、支部活動の市内散策で訪れました。市民からは気軽に行けるので、誰からも愛される公園です。250種類、1万本のバラ園は、満開時には鮮やかな色彩と甘い香りで一杯になります。市内、近隣都市から、最近では海外からも多くの方が鑑賞に来られます。

バラの花言葉は「愛」「美」。また、バラの花には色による花言葉も沢山あります。例えば、赤色は「あなたを愛してます」「愛情」、青色は「夢かなう」「奇跡」です。

バラの見頃には是非伊丹の荒牧バラ公園にお越しください。帰りは改装された伊丹国際空港ビルのレストランで、飛行機を見ながらお食事でもいかがでしょう!!

市の広報を見ますと、バラの見頃は春バラが5～6月、秋バラが10～11月です。営業時間9:00～17:00、休園は火曜日(ただし5～6月、10～11月開園)

支部長　竹中　亨(32回)

庭園日本一の美術館

島根支部

島根県は国宝松江城、世界遺産の石見銀山、出雲大社など著名な場所が多数ありますが、今回の我が支部のイチオシは安来市の郊外にある「足立美術館」です。横山大観をはじめとする近代日本画を中心に1500点を所蔵しているほか、5万坪の日本庭園は米国の庭園専門誌のランキングで16年連続して庭園日本一に選ばれ、毎年国内外から多くの人が訪れています。創設者・足立全康氏が日本庭園を通して四季の自然の美を感じてもらい、その感動もって大観などの作品に触れることで、日本画の魅力を理解してもらおうと考え、庭園造りに情熱を注いだそうです。館内に入ると「枯山水庭」や、「白砂青松庭」など6つの美しい庭園が広がっており、四季折々にその姿を変え来館者を魅了しています。

また、近隣には戦国武将尼子氏が本拠を構えた月山冨田城跡など見所が満載です。

是非皆様のお越しをお待ちしております。

支部長　山本篤治(42回)

けん玉

広島支部

けん玉は江戸時代に長崎から伝えられました。当時は剣と玉の部分しかない玩具でした。現在、「けん玉」と言われて想像する形になったのは、大正7年に広島県呉市の江草濵次(えぐさはまじ)が「日月(にちげつ)ボール」というけん玉を考案したことに始まります。

木工ろくろ技術と木工玩具の生産地として有名な広島県廿日市市を訪れ、当時の「本郷木工所」に製造を依頼し、以後廿日市市で作られた多くのけん玉が、けん玉文化をつくりあげてきました。

平成26年(2014年)以降、けん玉の世界大会「けん玉ワールドカップ」が市内で開催され、世界からけん玉プレーヤーが来場しています。けん玉の材料には、桜、ブナの木が使われています。

支部長　陰山秀明(44回)

日本最大の海事都市『今治』

愛媛支部

『今治』は世界に類を見ない造船業、海運業、舶用産業などの海事関連事業の一大集積地。その企業数は500社以上、およそ10,000人もの人たちが働いています。私が勤務している今治造船グループをはじめ、今治市の造船所の数は14社。コンテナ船、ばら積み運搬船、ケミカルタンカー、自動車運搬船など用途に合わせた様々な種類、大きさの船舶を建造しています。今治市の年間新造船竣工隻数は約80隻。国内で建造された約500隻の16%を占めています。また、今治市に本社や拠点を置いている造船会社全体では日本の約30%を超える船舶を建造しています。参考までに、今治造船グループ全体では日本のシェア約31%、世界では約7.8%を占め日本一、世界でも3位～5位の建造量を誇っています。今治市の外航海運会社は約70社。日本外航商船隊2,458隻の内1/3以上の約1,000隻を所有し、内航海運会社は約200社。日本内航商船隊5,223隻の約5%にあたる約250隻を所有しています。

支部長　二宮克郎(40回)

世界文化遺産『首里城』に込める想い ＜沖縄の不屈の魂＞

沖縄支部

近年全国的に大規模な自然災害が発生し、国民の心を痛めています。

我が沖縄県においても、琉球王朝の象徴であり、歴史と文化の心に彩られた首里城が火災により焼失するという誰も予想だにしなかった事故が起きてしまい、県民の多くが言葉に言い表すことのできない喪失感に包まれています。

しかしながら、そのような状況下で沖縄県民は全国からの温かい応援・心のこもった励ましに助けられ、明るい未来を信じて立ち上がろうとしています。

琉球王国の中心だった首里城は琉球の三山時代の1400 年ごろ、中山の拠点が移って以降、今回を含め火災や沖縄戦で5回焼失しております。1992年に主な施設が復元され、2000年に世界文化遺産に登録され、沖縄県民の心の拠り所となっておりました。その首里城を復元すべく多くの県民・企業および県外の有志の方々の温かい寄付により資金が集まっております。

何回倒されても、その度に立ち上がり、逞しくなっていく沖縄県民の精神(こころ)を今一度発揮すべく、一致結束して取り組んでいる沖縄県民をこれまで同様温かく見守ってください。

これからも、よろしくお願いいたします。

支部長　西里喜明(48回)

クラブ活動紹介

体育会

剣道部

私たち剣道部は男子35名、女子6名、計41名の部員で活動しています。部員はインターハイ経験者から初心者まで幅広くいますが、皆各々目標を持ち、OBの先輩方の胸を借りながら週5回の練習に励んでいます。

今年は学校や、OBの先輩方の応援もあり、目標の全日本剣道優勝大会出場を達成することができました。このような結果になったのも、大学の方々や同窓会の方々のご支援、ご声援のお陰です。これからも個人、団体の全日本アベック出場、また全日本でもさらに上を目指して頑張りたいと思います。

硬式野球部

硬式野球部は、関西六大学野球連盟に所属しており、全日本大学野球選手権大会・神宮大会への出場を目標に日々練習を行っています。2月には高知県でキャンプ、3月には愛知リーグとの対抗戦、8月にはオリックスバファローズとのオープン戦なども行っています。また、ボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、小学校の祭りのボランティアや野球教室などの活動を行っています。元プロ野球選手でもある監督の指導の下で優勝を目指し臨んだ2019年シーズンでしたが、春秋共に第2位に終わり、あと一歩で優勝を逃すという悔しい結果に終わりました。来年こそは悲願の優勝を目指し、チーム一丸となり頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

自転車部

私たち自転車部は今年度で創部61周年を迎えます。現在の部員数は男子22名、女子12名で活動しており、レース班では2019年度ロード・トラックともにインカレに出場し、特にトラックではチーム種目で昨年より順位を上げ、部記録を更新することができました。

これからもインカレの舞台など全国の高いレベルに挑むべく、日々練習に励み、目の前の試合に集中して臨みます。サッカー班では2019年度春季リーグ優勝、関西インカレ1位・3位、新人戦3位、学生対校リーグ1位となり、昨年に引き続き良い結果を残すことができました。

このような結果を残せたのは大学の方々やOB・OGの方々、顧問・監督・コーチの方々のご支援、ご声援のおかげです。

少林寺拳法部

私たち少林寺拳法部は数年前廃部の危機にありました。今では部員数も徐々に増えてきておりますが、まだまだ駆け出しの部活です。そのため、今は体制を整えている状況であり、そして基礎を固めるために日々修練に励んでいます。少林寺拳法部は、創部50年以上の部活です。しかしこのように、紆余曲折を経てもなお、50年以上の歴史を紡いで来られたのはOBの各先輩方のご支援があったからこそだと思います。今後とも私たちは大阪経済大学体育会のクラブ学生として、頑張ってまいります。そしてOBの各先輩方はもちろん、学校関係者の皆様方には暖かく見守っていただければと思います。今後とも少林寺拳法部をよろしくお願いいたします。

芸術会

マンドリンクラブ

私たちマンドリンクラブは月水金、演奏会前は土曜日にも活動しております。マンドリンとはイタリア発祥の弦楽器です。私たちの部にはマンドリン以外にもマンドラテノール、マンドチェロ、クラシックギター、コントラバスのパートもあり、これらの楽器でオーケストラを組んで演奏しています。また、他クラブや関西圏に留まらず他大学との交流も積極的に行っております。私たちは毎年定期演奏会を行っており、この演奏会を最終目標に掲げ、日々の練習に一生懸命取り組んでいます。10月に今年度の定期演奏会を終え、新体制での活動が始まりました。これからは来年の第55回定期演奏会に向けてより一層励んで行きますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

茶道部

私共、大阪経済大学茶道部和経会は、「和敬静寂」を大事にし、日々活動をしております。年間を通して、他大学と協力して、お茶会を催したり、地域の方々にお茶を提供したりと、学外での活動や地域の方々との触れ合いを大事にして、日々活動しています。また、毎年11月末ごろには、単独茶会も催しており、自分たちの力だけで茶会を行い、日々の練習の成果を出せるよう練習しています。部員のほとんどが、大学に入ってから茶道を始めた者ばかりですが、みんなで教え合いながら活動し、部員全員が茶道を好きになるよう、日々稽古に励んでおります。まだまだ未熟な部員一同ですが、今後とも見守っていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

クラブ活動紹介

芸術会

演劇研究部

私たち演劇研究部は、新入生の勧誘を目的とした新入生歓迎公演、映画研究部と落語研究部と合同で行う「ごくつぶしの夕べ」、学祭に1回生のみで行う新人公演、12月に行われる3回生の引退公演となる定期公演と、年4回ほど公演を行っています。他にも夏休みや春休みに有志公演も行っています。普段は月曜日・水曜日・金曜日の18:30～21:30に活動しています。各公演の一週間前になると普段は活動していない火曜日・木曜日・土曜日・日曜日にも練習を行います。一つの劇を作りあげる際に、演出・役者・音響・照明・大道具・小道具・衣装と様々な役割がありますが、観に来てくださるお客様に満足していただけるよう全部員一丸となって取り組んでいます。

学術会

パソコン部

大経大パソコン部では2つの活動を行っています。1つ目は資格班で、主にIT系の資格取得に力を入れています。過去にMOSはもちろん、国家資格であるITパスポートや基本情報技術者の合格者もいます。国家資格では簿記も問われるので、今年度では簿記にも注力しました。2つ目はゲーム班で、大樟祭に展示するためのゲーム作成を行っており、毎年多くの部員が多種多様なゲームを作成し、ゲームを展示しています。今年度から新しく「バ美肉」というVTuberのようなキャラクター作成と、それを用いた動画編集を行いました。部員には資格取得によって就活で有利に戦ってもらいたいことと、大樟祭を他部とともに盛り上げたいという思いで、これからも活動していきます。

総部会（Ⅱ部）

Ⅱ部軽音楽部

私達Ⅱ部軽音楽部は毎年3回行う定期演奏会と経大祭でおこなう経大祭ライブに向けて50名以上の部員が技術の向上のため日々練習に励んでおります。楽器の技術の向上だけでなく部員同士の繋がりにも力を入れており、毎年8月に2泊3日の夏合宿、年に3回行うフットサル大会などを企画し、部員同士が深く話し合える時間や協力しあえる場を作っております。

年々、部員の演奏意欲が高まっており、今年の経大祭ライブでは驚異の19バンドが出演しました。その出演バンド数の多さもさることながら、どの出演バンドもハイクオリティな演奏で経大祭ライブを盛り上げました。この勢いのまま、Ⅱ部軽音楽部だけでなく、大阪経済大学そのものを盛り上げていきたいと思います。

全クラブ一覧（2019年11月現在）

●体育会
- 合氣道部
- アイススケート部（スピード・フィギュア）
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部（男子・女子）
- 競技スキー部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 自転車部（レース・サイクルサッカー）
- 自動車部
- 柔道部
- 重量挙部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- ソフトボール部
- 卓球部
- チアリーダー部
- 日本拳法部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- ボクシング部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラクロス部（男子・女子）
- ラグビー部
- 陸上競技部

●芸術会
- 映画研究部
- 演劇研究部
- ギタークラブ
- グリークラブ
- 軽音楽部
- 茶道部
- 写真部
- 邦楽部
- マンドリンクラブ
- 落語研究部

●学術会
- E.S.S部
- 将棋部
- 証券研究部
- パソコン部
- 文芸部
- 簿記会計研究部
- ボランティアクラブ
- ユースホステルクラブ

●独立総部
- アルバム委員会
- CBS文化放送局
- 吹奏楽総部
- ワンダーフォーゲル部

●総部会（Ⅱ部）
- 会計学研究部
- Ⅱ部軽音楽部
- Ⅱ部バスケットボール部
- フットサル部

大樟会の奨学金制度について

同窓会設立80周年記念事業の一つとして、2016年度の大樟会理事会で承認された大学の奨学金制度の支援が、2017年度から実施に移されました。大学の奨学金制度のうち、「緊急修学援助奨学金制度」と「遠隔地学生奨学金制度」について、大学枠とは別に同窓会枠を設け、援助しています。（2019年12月現在）

○同窓会緊急修学援助奨学金

学費負担者の死亡、失職等、家計が急変した学生、および経済困窮家庭の学生を対象とした給付奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
家計急変者 経済困窮者	1年生　5名 2～4年生　10名	一学期授業料の半額 一部　177,500円 二部　87,500円	1年生　7月 2～4年生　4月	家計基準 成績基準（修得単位数）

○同窓会遠隔地学生奨学金

遠隔地（近畿圏以外、または近畿圏で通学に3時間以上を要する地域）からの入学者を対象とした給付奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
遠隔地からの入学者	新入生　10名	一部生　20万円 二部生　10万円	6月	家計基準 成績基準（修得単位数）

▼2019年度奨学金を給付した学生のうち、4名の学生からのお礼のことばを紹介します。

●同窓会遠隔地学生奨学金

この度は、遠隔地学生奨学金に採用いただき、ありがとうございます。いただきました奨学金は、学費やクラブ活動費として大切に使わせていただきます。今後は勉学とクラブ活動を両立しながら、それぞれ優秀な成績が収められるように精進していきたいと考えています。そして、大学生活を通して立派な社会人になれるように努力していきたいです。

（経済学部　1年　男　香川県出身）

■同窓会緊急修学援助奨学金

この度は、緊急修学援助奨学金に採用していただき、ありがとうございます。昨年の7月に起きました西日本豪雨災害の際に、実家が被災をし、家が全壊しました。家の再建、家財、自家用車などの多額な費用が必要となったときに、この奨学金の金銭的援助はとても大きく、お蔭さまで資格取得に取り組むことや、普段の勉学、部活動共に全力で取り組むことができています。

（経済学部　2年　男）

●同窓会遠隔地学生奨学金

この度は遠隔地学生奨学金に採用していただき、ありがとうございます。ご支援いただけたことで、いっそう勉学に励み資格取得に向けて少しでも恩返しができるように頑張ります。いただいた奨学金は学費として大切に使わせていただきます。大学生活では様々なことに挑戦して、誰かの役に立てるような人間になるために日々精進していきたいと思います。

（経営学部　1年　女　岡山県出身）

■同窓会緊急修学援助奨学金

この度は、緊急修学援助奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は大阪経済大学に入学して多くの方に支えられて、成長することができました。大学生活ではボランティア活動などを通して、社会貢献をしました。こうして様々な経験ができたのも、奨学金採用をしていただいたからであります。来年から社会人として、この大阪経済大学で学んだ知識を生かして、社会貢献をしていきたいです。

（経営学部　4年　女）

★大樟会の奨学金制度を末永く続けるため、同窓生からのご寄付をお願いします。（同封の振込票をご覧ください）

このページは、全国各地の同窓生からのお便りを掲載します。また、次号も同窓生の方の楽しいお便りを募集いたします。

近況等を400字程度にまとめていただき、ご住所、お名前、卒業年度、電話番号を明記の上、原稿にふさわしい写真あるいは顔写真を添付してお送りください。

・締め切り　2020年7月末必着
・送 付 先　〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8
大阪経済大学大樟会「北から南から」係　宛
・eメール　okusu@osaka-ue-denko.com

戦中・戦後・今を生きて

小駒（おごま）　葉子（13回）

1941年12月、日米開戦の時悲惨な敗北を予感したのは国民大半ではなかったろうか。

女学校卒で進学しない者は女子挺身隊入りが決められていた当時、父は優れた教授陣の学校だからと大阪女子経済専門学校（当大学の前身）を勧め、私は受験し入学した。そこで出会えたのが黒正校長と久野収先生たちだった。お蔭でミーハー娘も少しはものを考える大人になれたと感謝している。戦中勤労動員され、御堂筋での空襲では炎上のビル、人の焼死体に目を覆う。

敗戦後卒業して上京。市民団体日曜クラブに就職。社会性ある問題をテーマに講師から話を聴く集いで、企画設定、会報発行が仕事。学習院大講師だった久野先生にも何度もお越し願い、これが滅法愉しかった。年々参加者が増え、のめり込み、気がつけば63年が経っていた。やがて会員の大多数が高齢化し、2015年11月、やむなく惜しまれつつの幕引きとなった。

クラブをやめて5年になるが、未だに引き寄せられるのは報道関係の記事と番組である。そしていつも思う。唯一の原子爆弾被爆国日本には、反核と平和を世界に率先して唱える使命があるのではないかと。

東京都新宿区

経済大学の思い出

吉田　叡（20回）

澱江の「北から南から」の突然の原稿依頼があり戸惑っています。何か書かなければと思い筆をとりました。

私は昭和25年の苦しい時代に入学し、学生時代を送りました。先ず印象に残っていることは想像もつかなかった素晴らしい講義、先生との出合いは言葉では言い得ないものがありました。このとき、私の人生観が作られたことを思うとき、感謝々々の言葉が真っ先に出ます。

卒業後は故郷に帰り、商業高校での教員生活を送りましたが、経大で人生の生き方を学んだ喜びを今も噛み締めています。

定年後は自分の育った地域での郷土史関係の世話をしていますが、毎日生き甲斐のある生活を送っています。

経大での学生生活は私にとって生涯の宝として今後共大切にしながら、残された人生100年時代を歩み続けたいと思います。

思いつくまま乱筆となりましたがお許しください。　福井県鯖江市

期待する陸上競技部とパソコン教室

船引　洋生（30回）

卒業は昭和39年3月（1964年）、最初の東京オリンピックの年でした。あれから半世紀を経て、今年には2回目の五輪を観戦できる喜びがあります。陸上競技部に所属していたので関心は大。2008年北京五輪の男子陸上長距離代表の「竹沢健介」さんが、昨春ヘッドコーチに就任されました。彼は報徳高から早大へ、箱根駅伝で3年連続区間賞を獲得した学生のトップランナーです。3・4年先の全国大学駅伝の優勝を期待しています。

毎年9月に母校で開催されるパソコン教室。すでに10年は続いているのではないでしょうか!?　学生の自主運営で1日8時間の授業。入門編から参加して昨年9月にはExcel発展コースにスキルアップしました。テキストも手作りでわかりやすく、お陰様でパソコンとの対面が趣味となり、退屈しない充実した日々を過ごせています。今夏には80歳。昨夏運転免許証更新時の認知症検査では88点で正常。まさしくパソコンが貢献しているものと確信しています。いつまでもご指導に与かり、感謝!!感謝!!です。

大阪府高槻市

私の人生を顧みて

濱口　吉弘（32回）

この度、大樟会広報部より当方の近況報告との依頼を受け、どうして私に依頼があったか少々戸惑っています。しかし有難いことと思い、今年で喜寿を迎えたこの機会に自身の歩みを振り返ってみます。

昭和41年3月に本学を卒業し、38年間生物製剤の営業に携わって62歳で退職しました。少しのんびりしようと思っていた矢先、同級生の親友から民生委員を引き受けてほしいとの依頼を受け、15年間務めました。幸い民生委員も定年で何とかこの11月で身を引くことができました。今日、地域福祉が叫ばれ、私が民生委員を引き受けた頃と違い益々多忙となり、後任を引き受けてくれる人がなくなっています。

私はもう一つボランティアとして自治会の会長もしており、役員も含め16年間務めましたが、当年度末にて交代することになりました。

今、私の一服の清涼剤となっていますのが児童の登下校の見守りで、一、二年生の学童は可愛い挨拶を交わしてくれます。

終りに大学と大樟会の益々の発展をお祈り申しあげます。

大阪府摂津市

私の履歴書

加貫　順三（33回）

経済学部を1967年に卒業いたしました。就職は父の会社（株）加貫ローラ製作所に入社、印刷機はじめ産業用機械に組み込まれているゴムローラーの製造販売の会社です。もの作り会社なので製造部から経験し、その後、営業、技術、総務と各部署を巡りました。気がつけば1989年（平成元年）5月、44歳で代表取締役社長に就任していました。決して順風満帆の社長業人生ではありませんでしたが、経常利益で赤字期を一度も経験することなく、2015年（平成27年）70歳で息子にバトンを渡すことができました。そして私は会長職に。

今もゼミ仲間とのメール交換や、芸術会写真部に所属していた連中とは飲み会や旅行したりと・・・、学生時代にタイムスリップして若返りを図っています。

また会社には卒業生が求人のエントリーシートを沢山送ってきてくれる様になりました。

日頃は業界誌や経済、産業、工業系の新聞に目を通し、気になるニュースは切り抜いて、社長はじめ幹部社員に送信したりしています。

私的には老々介護と孫の子守りに・・・。空きを見て甲子園球場へ弱い阪神タイガースの応援に行っている今日この頃であります。

大阪市中央区

母校の思い出

古川　久次(34回)

大阪経済大学大樟会石川支部総会並びに懇親会を能登地区にて開催しています。先輩の方々のお陰で時折、出席させていただいています。

卒業してから、母校の大阪経済大学に寄ることはできないのですが、私が学校に入学したのは昭和39年でした。39年10月に東京と大阪間に新幹線が走り、また、東京オリンピックが開催されました。そんな時に大学校舎の屋上から、詩吟の声が聞こえてきました。クラブに入る勇気もなく、笠間孝一さんを含め、能登支部の方が練習していたということを知りました。

私は大学を卒業して七尾市役所に勤務する様になり、詩吟会に入会し、少しずつ練習するようになり、自分の会派の方との発表会や他流会派の大会や発表会に出演させていただいています。石川支部総会の幕間で、詩吟「九月十三夜陣中の作」(上杉謙信作)を吟じさせていただいています。元気や物忘れ防止に役立っています。

これからも石川支部総会に一人でも多く参加していただきますよう、努力させていただきます。

石川県七尾市

人生は人とのふれあい

中西　彰 (34回)

澱江を愛読の皆さん、そして昭和43年度卒業の皆さん、お元気ですか。

平成17年の春に定年を迎え、転勤の多かった生活を踏まえて人生の区切りのつもりで、終の棲家を川西市に求めて移住、早13年が過ぎ、元号も令和となり、来年は、いよいよ後期高齢者の仲間入りとなります。

川西市へ来て、すぐに母校の同窓会(川西・川辺支部)設立の話が持ち上がり、設立発起人に名前を連ねたことから、大樟会川西・川辺支部の各行事には積極参加を心掛けております。ハイキング、ゴルフ、酒席へのお誘い、と目的は千差万別ですが欠かさず参加を心掛け、様々な人々との出会いの中から、残りの人生を楽しく、有意義なものとさせていただいています。

2019年6月、大樟会川西・川辺支部の総会を母校で開催、母校の理事長の講演を拝聴、その後酒席でも親しく懇談させていただく機会を得ました。この学校、知名度は今一つながら、末永く続く学校に間違いないと確信をした次第です。

兵庫県川西市

私の近況

山岡　昭男(35回)

私は現在、健康な72歳を満喫しています。特に医師より注意指摘なし。「飲酒は控え目に」で診察終了。今日は晴れ!これからシニア仲間とゴルフをラウンドして参ります。

1965年4月大阪経済大学入学。井高野の寮へ「第五期生」として入寮。この「第五期寮友会」は毎年総会を開催。会員の出身地を主に巡る楽しみな集いです。本年は10回目でもあり、新入寮時全員で訪れた「熱海温泉」再訪です。角野迪彦会長の配慮でしょうか。

2019年10月27日(日)18:00開宴です。会の次第は物故者黙祷から開始するので、今回新仏さんがなければよいがと思う。出席者はいつものカナデン元社長佐田憲彦君、富山県元出納長塚原鐵二君も大いに盛り上げてくれることでしょう。

いつも本会出席時には、同郷のよしみで私を引率してくれる山本弘道君(倉吉市)が手を携えてくれる正に珍道中です。

本当にありがとう。(合掌)

鳥取県鳥取市

一人カラオケ

小島　保則(36回)

入学してすぐに、ある教授から「当大学はセールスマン製造販売会社の様なもの」と言われたのが、今になっても鮮明に覚えている。

案の定、大阪万博が始まる年の春に就職し、セールスマンになった。今思えばブラック企業である。残業手当はなし、土日出勤を強要されることもあった。当時はそれがあたりまえの風潮であったような気がする。1年足らずで退職し、公務員になった。

無事定年まで勤め、今は先祖からの畑をしながら年金暮らし、昨年末家内を亡くし息子と二人で住んでいる。朝息子を会社に送り出してから、夜「おかえり」というまで、電話や来客がない日は一日誰とも話すことのない日がある。

今まで家内と話をし、たまにはケンカしたりしてそれなりの刺激があった。このままでは痴呆になってしまいそうなので、今はやりの「一人カラオケ」で脳を活性化しょうと思い通販でセットを購入した。2カ月前である。家内がいつも利用していた「ジャパネットたかた」で。(2019年9月寄稿)

大阪府堺市

支部ハイキングを担当して

城島　末明(36回)

母校を卒業して早や50年になります。また、池田支部にお世話になって10年になり、現在副支部長として年1回の支部交流ハイキングを担当しています。昨年度は、池田の西国街道をめぐるコースを、近隣支部の協力を得て参加者15名で実施しました。当日は大先輩の藤川玲子さん(14回卒)にも参加いただき、完歩されました。コースは阪急石橋駅から商店街を通り石橋村高札場から街道を西へ。亀之森住吉神社で宮司さんから宝物殿に安置されている神輿等を見せていただき、参加者は大感激です。駒の森十二神社、桂春団治之碑のある受楽寺を経て、下河原緑地(写真)で、空港から飛び立つ飛行機を間近に見ました。ここで時間を取りすぎたので、ダイハツヒューモビリティワールドの入館時刻に間に合わず、残念ながら見ることができませんでしたが、今後も楽しいハイキングをやって行きたいと思います。

大阪府池田市

税理士とは良き仕事なり

南中　平八郎(37回)

私は、学校の恩師の縁により高校就学中、20歳で税理士資格を取得しましたが、今年ではや56年経過しました。私の子息や後輩によく言ったものですが、「学生は勉強が仕事だからその時を大事に励みなさい」と、いまだに現役で税理士業務をやれていることに感謝しています。それには先ず身体が健康であること、読

書好きで常にたくさんの本を読んで脳に刺激を与えているせいでしょうか、元気でやれています。しかし最近は物忘れが多くなったなと感じる今日この頃です。

我が税理士大樟会も皆様の協力の下、今日まで長きにわたり発展、成長を遂げ、組織も維持充実できたことも大変喜ばしいことです。私も税理士大樟会発足時より関わってきましたが、皆様の頑張りで益々強固な団体となりました。

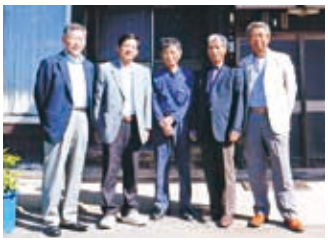
私の人生で税理士となったいきさつは、大変貧乏で、夜間高校の先生より税理士への道へ教えを乞い、一生懸命勉強して良かったと思っています。今でも学校の先生には感謝しています。その恩があるので各時代の同窓会には必ず出席しています。良き友人を求め、また後輩の世話もしたいと考えており、今後も参加し続けたいと思っています。

母校の発展と繁栄を切に願ってやみません。私の今日の雑感です。

大阪府箕面市

良き友との出会いに感謝

加藤　幹夫（37回）



大学卒業から48年、70歳になりました。卒業後3年間大阪で勤めた後、25歳で故郷へ帰りました。故郷我が街は「出雲大社」を有する出雲市大社町です。名物としては出雲そば、しまね和牛などが全国的に知られております。

地元で就職して45年。70歳になるのを契機に社長を退任しましたが、現在も会長として現役で働き続けています。

大学時代には学業はもとより、自転車競技部の一員として青春を謳歌してまいりました。一番の思い出は島根県代表として福井国体と長崎国体に出場したことです。我が青春の最高の思い出となっております。今も自転車競技部の同窓生とは旧交を温め合い、近頃では数年に一度、同窓生の出身地めぐりを行っています。2019年10月には我が街出雲市での開催を予定しており、おもてなしの心で迎えたいと思っています。大学で同じ目標に向かってペダルをこぎ合った仲間です。今後も交流を続けていきます。（2019年9月寄稿）

島根県出雲市

最近の情況

大倉　等（37回）

大樟会会員の皆さま、お元気にお過ごしのことと存じます。今般記念すべき大樟会の情報誌「澱江第55号」への投稿依頼をいただき誠に有難うございます。

私は、昭和46年（第37回生）に卒業しました。当時を思い出すと学生運動が非常に激しく、よく休講になったことを懐かしく思い出しました。

金融機関に就職しましたが、在学中にもっと簿記学、手形小切手法など知識を増やしていればと思いました。64歳半ばまで勤務しました。在職中には自治会を発足させ、現在会長職を承っています。私たちの地域では水害は少ないものの、今後予想される南海地震に対応すべく上部の自治連合会の研修会に参加し、不測の事態に対応できるよう注力しています。

数年前から「ホームカミングデー」には毎年参加しています。はつらつとした在校生、新校舎を見るにつけ、大学が増々大きく、強固なものとなり安心しています。

今後とも更なる発展をお祈りしております。

奈良県奈良市

人生活路の原点、大経大時代とその後

中山　正明（40回）

高校時代（音楽大学受験準備期）に交通事故による長期入院で挫折し、就職内定の頃、大経大の友人に勧められて、第二部経済学部に入学。軽音楽部に入部すると、部員の多くが（国・府・市）の職員だった影響から、公務員を志望し、兵庫県職員採用試験に合格。

卒業後、大阪府と兵庫県小学校教員採用試験に合格し、西宮市採用。特別支援担当・学級担当・音楽専科を歴任。養護学校では音楽主任。中学校では社会科教員（吹奏楽部と卓球部顧問）。リカレント教育を実践→仏教大（通信・教職課程終了）、大音大（聴講履修）、大教大（教育学科卒業）、武庫川女子大（大学院臨床教育科終了）。

退職後NPO法人設立。小学校非常勤講師続行中。軽音楽部仲間とバンド活動続行中。

大経大時代に培った生活リズムが幸いしています。現在、大樟教育研究会に所属し、時折、教職課程学生の教職採用試験対策講座の講師を務めさせていただいております。

ささやかな恩返しのつもりです。

兵庫県宝塚市

「キョウヨウ」と「キョウイク」

中原　文雄（40回）

1974年（昭和49年）に卒業してから45年たちました。地元金融機関へ入行し、二度の出向を経験し、二度目の出向先へ55歳で転籍、63歳で退職し、現在は役員として籍を置いております。

10年前に老々介護で実家へ帰り、2年前に母を看取り、妻と愛猫「トラ」と田舎暮らしを満喫しております。

無子高齢化地域の世話役や、3年前より始めた市の「竹細工教室」へ通っており、地域行事への出席や秋祭りの準備、11月の作品展出品準備等で「今日行く所」や「今日用がある」結構忙しい日々を送っております。

大学とのつながりは同窓会山口支部の監事を十数年来務めさせていただいており、年一回ではありますが、支部総会での大学や同窓会本部の方の近況報告と、諸先輩の話や後輩の活躍状況等楽しみにしております。支部長や事務局長も代わられており、願わくは総会出席者が増加することを望んでいます。

山口県山口市

私の近況と母校への期待

松原　和範（42回）

卒業して43年の月日が過ぎましたが、送られてくる「澱江」を見るたびに、姫路から電車を乗り継ぎ片道2時間30分かけて通学し、友人や光沢ゼミの仲間と過ごした時間をなつかしく思い返しています。

私は現在66歳ですが60歳で定年後も契約社員として、65歳からはアルバイト社員として引き続き元気に勤めております。しかし最近は健康に関する話が話題になることが多くなり、自分自身もそういう年齢になったのだと実感しております。そして今後も健康と安全に十分注意して、70歳を目標に現役を続けたいと思っております。

最後に今回この様な機会を与えていただいたことに感謝申し上げると共に、我が大阪経済大学が全国区の大学に、そして経済系専門大学として存在感のある大学にますます発展されます様、改革をさらに進めていただきたく思います。

兵庫県姫路市

町内会活動とカープ観戦

門田　誠司（43回）

私は、本学在学時に、応援団に所属していました。3年毎にその仲間と同窓会をしております。

卒業と同時に地元の小さな信用組合に就職し30数年間勤務するとともに、消防団や体育会活動、子供会では3年間野球の監督もしました。現在は、地元町内会（300軒）の町内会長をしております。農業（米・野菜づくり）をしながら、町内会活動をしております。また、私の趣味は、釣とカープ観戦です。

10年前に現在のマツダ球場ができてから、毎年80～100枚程度チケットを確保し、町内会の会員を中心にバスをチャーターし、4～5試合カープ観戦を企画しております。今年もすでに4試合観戦（カープの2勝2敗）しました。写真は、昨年カープが3連覇した時の祝賀会のものです。前列真中の背番号38が私です。今年も4連覇を期待しておりますが、現時点（2019年8/20）では難しいかも？　今後も地元町内会で明るい住みよい町づくりをしていきたいと思っております。

広島県福山市

私の近況報告

小川　俊伸（44回）

私は、島根県は出雲大社のお膝元で生まれ育ち、1978年3月に経大卒業後Uターンし、地元信用組合に就職後二度の合併を経験するも、3年前に無事定年を迎えました。現在は定年前の出向先で水道関連資材機器等販売会社に嘱託として再就職、セカンドキャリアをスタートしました。

仕事は総務経理ですが、全くの異業種ですので苦労もしましたが、少しずつ慣れて今ではやりがいのある仕事だと思っています。

仕事以外では地元町内の仲間とロックバンドを結成、いわゆる“親父バンド”ですが、今年で10年になります。メンバーは9名で、皆近所に住まいし、月に2～3回集まり練習を楽しんでいます。発表の場は市内近郊のお祭りのステージや年に1回程度ですが、ライブハウスにも呼ばれて演奏しています。なかなか上達しないのが悩みですが、レパートリーも少しずつ増えてきました。

リタイアにはまだ早いので、音楽やスポーツでストレスを溜めないようにしながらもう少し頑張ろうと思っています。

島根県出雲市

レッツゴー！！　経大

森山　剛正（47回）

1977年度入学P組の皆様元気でお過ごしでしょうか。卒業以来37年以上の月日が流れ、還暦も過ぎてしまいました。心臓の大病を患いながらも何とか生きています。

勤務先の㈱オートバックスセブンでは大阪、東京、東北、名古屋、大阪と勤務地を移り、主に商品仕入の仕事に携わってきました。現在は地元大阪で賃貸業を営んでおります。

学生時代は硬式野球部の所属でした。4年生時の春季に入替戦に勝利し、旧関西六大学リーグ昇格、秋季には昇格優勝し、明治神宮野球大会に駒を進めました。負けましたが、プロ予備軍の選手を多数擁した法政大学と五分の対戦をしたことを覚えています。大阪に経大ありと言われ、スター選手の関東一極集中や、関関同立のエリート意識を睨んだ当時の体育会各部の気概を懐かしく思い出します。当時、応援いただいた同窓生や学校関係の皆様にあらためてお礼申し上げます。学問にスポーツに「レッツゴー!!　経大」

※写真は硬式野球部同期の還暦会にて

大阪市都島区

「春　祈る」

石井　克明（48回）

40年余り昔「教壇に立ちたい」と思った。すでに公務員として働いていたが、この思いは強まるばかりだった。働きながら受験勉強を始め、経営学部第二部に合格できた。夜勤や宿直勤務があるなか、4年間で教員免許状を取得できたのは、教職員の方々のおかげだ。教員採用試験を受けるが、狭き門でなかなか合格できない。大学の教務部や教職課程担当に相談すると、教員になっている先輩を紹介してくれた。アドバイスをもらえ、教壇へ立つことができた。

兵庫県立高校の教員生活35年。そして現在、再任用2年目になる。卒業式で、生徒達に次のような話をしている。「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。私達は今を生きている。だから、今から始めれば自分と未来は変わる。自分の思いを叶えよう」と。教職を目指す後輩達へ、「一年に　一度の試験　春祈る」と伝えたい。十代後半の時に描いた思いを、経大が叶えてくれたおかげで、今の自分がある。感謝している。

大阪府寝屋川市

日本全国講演活動の日々

西野　義次（54回）

全国の同窓生の皆様、こんにちは。私は、1984年大阪経済大学経営学部へ入学し、苦学生のため、学費を稼ぐためにアルバイトの日々を送りながら日商簿記検定1級に合格しました。

大学卒業後、大原簿記専門学校大阪校へ就職し、日商簿記・税理士試験・公認会計士の教員として、多数の合格者を輩出しました。教員の傍ら以前から興味のあったお笑い芸人（漫才師）として活躍したく、2001年～スタートした「M-1グランプリ」に漫才コンビを結成し参戦、テレビの出演も果たしました。

現在は、フリーとなりお笑い活動時代に知り合った吉本興業プロデューサー（現役員）が開発した「よしもと流コミュニケーション」講師として、全国の企業・学校を講演活動で忙しく巡る日々を送っております。講演では、自己紹介で必ず母校の紹介をしております。

京都府木津川市

人生、二毛作中

橋詰　雄三（74回・院）

経営学研究科を修了（経営学修士）から早や12年目を迎えます。税理士志望で大学に進学し、5科目合格ができず中断。卒業後、損害保険会社に入社、55歳の職位定年でサラリーマン生活を終了しました。札幌転勤時に父を亡くし、母も私の退職日に亡くなり、税理士になった現在のことを知りません。これが一番、悔やまれます。

大阪経済大学大学院に入学しましたのは、このまま年金生活に移行したくない思いからでした。若いゼミ生との交流と同年配の教授の熱心なご指導を受け、充実した時（とき）を持つことができました。2年後、修士学位を授かり、税理士事務所を自宅にて開業しました。60歳の税理士誕生です。

今日まで沢山の人々との出会いがありました。アカデミア発のベンチャー企業にも関与させていただき、今も刺激を受けています。諦めないで努力する、ご縁を大切にする、すべてが『継続』に収斂してきます。この2文字を心に刻み、ON・OFFを使い分け、今しばらく、二毛作を実践してまいります。

滋賀県大津市

支部だより

北海道支部

少子化時代にも選ばれる大学に

今年の北海道支部総会・懇親会は、2019年10月31日(木)、札幌ビューホテル大通公園にて大学から若吉浩二人間科学部長、大樟会から山本隆造常務理事と支部会員7名が参加して開催しました。

若吉先生からは、今後の少子化時代にも選ばれる大学となるための取組み、山本常務理事からは、運動部の応援に奔走されていることなど、楽しい話題で盛り上げていただきました。

母校の情報に触れることが少ない地区ですので、生の情報を届けていただけるこの機会に感謝しています。

幹事　鵜飼泰正(51回)

東京支部

人生の躍進のきっかけに大樟会の門戸を叩いてみては

2019年(令和元年)9月27日(金)、日本外国特派員協会で支部総会が開催され、大学からは藤本理事長、大樟会から田村会長、大河内副会長がご臨席されました。総勢45名となった東京支部総会は、平成30年卒の同窓生も参加し、世代や年代を問わない交流の場となりました。また、令和元年開催を記念し、本学卒業の風船王子こと井田聖二さんがバルーンパフォーマンスで総会を盛り上げました。

伝統ある本学の先輩方の活躍の場は多岐にわたり、「卒業生の主な就職先」というものでは知ることができないことを、身をもって知る貴重な機会となりました。大樟会は人生において、大きなきっかけになる可能性があります。私自身、卒業後、初参加でしたが、先輩たちの心遣いに助けていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。大樟会東京支部はいつでも卒業生の参加を心待ちにしています。同じ学び舎で学んだ者同士、年代や性別・仕事を問わず話をしてみませんか。東京にいらっしゃる方、是非一度人生をも変える大樟会東京支部総会にご参加ください。

初参加　岡村志穂(72回)

富山支部

様変わりした校舎の話に驚きの声

富山支部は2019年7月20日(土)午後4時より、高岡市の割烹「千鳥」(38回中村勝治さん経営)にて総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めることができました。

大樟会より竹中亨 事務局参与(32回卒)と大学より崎田洋一常務理事のご出席のもと、総勢17名の和やかな雰囲気で学園の現状と将来についての報告をいただきました。

総会では、近年新築された校舎についての説明をいただき、自分たちの学生時代と大きく様変わりした学生生活に驚きの声があがっていました。

懇親会では、その新しい校舎群と自分の学生時代の校舎との比較から、どのような学生時代を過ごしたかが、大きな話題となってたいへん盛り上がりました。

これからも多数の会員の皆様にご出席をお願いし、活発な総会になるようお願いします。

事務取扱　野田　満(48回)

石川支部

新規参加者交え支部総会・懇親会開催

2019年度石川支部総会が11月9日(土)午後6時より、秋色深まる金沢駅前のホテル日航金沢にて、大学より森経済学部長、大樟会本部より石橋組織部長、五十棲愛知支部長、川畑福井副支部長各位のご臨席を賜り、24名参加のもと開催されました。

総会は、鍛治支部長の挨拶の後、前年度決算の審議承認を終え、森経済学部長より大学の現況や弓道部など部活の活躍の様子、大樟会より奨学金の取組み等のご報告を受けました。

続いて、嵐副支部長の挨拶、愛知支部長様の乾杯で懇親会が始まり、「歌手 三輪一雄 歌謡ショー」では掛け声手拍子合わせて全員で楽しみ、恒例の自己紹介と近況報告、大学時代の思い出話など大いに盛り上がりました。大多副支部長の中締め後、全員が肩を組み、学歌逍遥歌を斉唱。大経大を愛する33～82回卒の面々が、新規参加者を交え世代を超えて楽しいひと時を過ごし、来年度につながる会となりました。

写真 寺井明夫(39回)　文 加藤正峰(39回)

福井支部

母校訪問の提案も

2019年度支部総会を6月29日(土)福井市内、桜の名所足羽川に近い、ホテルリバージュアケボノにて開催いたしました。大学より、横山 穣理事・財務部長、大樟会本部より、大河内徹心副会長をはじめ近隣の愛知、石川、京都の各支部長、滋賀から副支部長、岐阜から支部長代理、6月に新支部設立の南大阪支部長らが駆けつけてくださいました。

総会の前に大樟会落語会と称しまして、福井駅前寄席・きたまえ亭の瓢家萬月、瓢家萬緑さんによる落語を楽しみ、総会へと移りました。

総会では収支決算報告、事業計画、来賓挨拶、写真撮影があり、懇親会へと続き、今回、福井市議会議員選挙で初当選されました酒井良樹氏(52回)の当選御礼の挨拶がありました。福井支部からは、酒井氏を含め笹原幸信あわら市議(4期目・36回)、馬渕清和敦賀市議(4期目・59回)、の3名が各市議会で活躍されております。

田安新支部長から大樟会総会に合わせた母校訪問の提案があり、参加者を募ることになりました。中締め後、全員が肩を組み、笹原氏のリードによる、学歌・逍遥歌を熱唱し、お開きとなりました。

今後は「参加年齢層の幅の広さを深め、若年層の参加と多くの女性会員の参加」を目標に、絆を深める活動をしたいと考えております。

事務局長　中嶋閲一(43回)

岐阜支部

初の女性参加者も

2019年11月17日(日)岐阜キャッスルインホテルにて、支部総会を開催しました。今回から同伴出席を可能とし、本部や周辺の支部からもご臨席いただき、総勢15名での開催となりました。

総会では、大学から草薙信照情報社会学部長、大樟会本部からは竹中 亨事務局参与にお越しいただき、大学の現状や課題などもお話しいただきました。同窓生も10万人を超えようという中、支部としても大学の益々の発展に寄与できたらという思いを新たにしました。

懇親会では、45回卒木澤晃氏率いる5人組のバンド「チアーズ」によるボサノバやハワイアンの演奏が花を添え、それぞれの近況報告などで盛り上がりました。

本年度の支部総会は、比較的新しい卒回の新人も加わり、同伴者とはいえ初めて女性の参加者を加え、これまでにない活気ある総会となりました。さらに多くの参加者が増えるよう努めていきたいと思います。

支部長　山根一男(46回)

静岡支部

" 癒しのサロン "

2019年7月27日(土)、静岡駅南口のホテルセンチュリー静岡において、大学より草薙情報社会学部長、大樟会より渡辺常務理事をお迎えし、支部から6名(35回～51回)、愛知支部から三津副支部長(65回)の参加で支部総会を開催しました。

2年連続台風が接近するという中、天気も総会終了近くには回復し、無事開催できました。

例年通り、第一部では、大学および大樟会の近況報告と2018年度事業・決算報告および2019年度計画案の審議を満場一致で可決しました。第二部では、懇親会に移り、乾杯後、全員の自己紹介・近況報告や情報交換を和気藹々の中で行いました。

3年連続参加の草薙学部長から新学長の誕生秘話や、愛知支部から参加の三津さんから他支部の状況や若手との交流を図っている等、貴重なお話も聞けました。出席者からは、年1回の総会ですが、職場と違ってホッとできる " 癒しのサロン " と言われていました。コンパクトな支部ですが、これからもこの雰囲気を続けていけるようにしたいと思います。

卒業生の皆様、一度このサロンを覗いてみてはいかがですか?

2020年度開催日時は未定のため、追ってご連絡いたします。

事務局長　河本陽介(51回)

愛知支部

SNSを活用して同窓生の連携を

2019年10月20日(日)、名鉄ニューグランドホテル扇の間にて支部総会を開催いたしました。来賓として大学からは横山財務部長、大樟会より田村会長、渡辺常務理事、近県の支部長(石川、福井、滋賀、岐阜、京都、三重)のご臨席をいただき、総勢22名の参加となりました。総会では、五十棲支部長、横山財務部長、田村大樟会会長にご挨拶いただきまして、平成30年度の会計収支報告を行いました。また懇親会では、一人ひとりの近況報告や大樟会の活性化に結びつけるための意見交換を行いました。

日本は今、人口は減少傾向にありますが、愛知県は全国で数少ない増加傾向にある都道府県です。FacebookをはじめとするSNSを活用し、地元に戻っている卒業生や、転勤で愛知県内に住んでいる卒業生との繋がりを広げてまいります。

私は愛知支部総会に3回の参加経験しかございませんが、先輩の皆様の期待に応え、今後の愛知支部を盛り上げていけるよう尽力していきたいと思っております。次回は2020年10月25日(日)、同会場にて開催いたしますので、ぜひご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

副支部長　三津辰雄(65回)

支部だより

三重支部

三重支部初の女性役員誕生

三重支部総会を2019年10月19日(土)松阪市内の「和田金」において開催しました。当日、大学より藤本理事長、大樟会本部より山本常務理事、愛知支部から五十棲支部長、三津副支部長のご出席を賜り、来賓を含め総勢32名での開催となりました。

藤本理事長から来年3月には、卒業生が10万人を超えること、経大の入学志願者が7年連続で増加しており、また就職率もリーマンショック前に回復していること等の近況報告を受けました。そして何よりも理事長自身がトップセールスとして自らが既に200社以上の企業を経大生採用の御礼等に訪問されたということに驚かされた次第です。

また、任期満了による役員改選の結果、当支部発足以来、初の女性役員として田中章子事務局長(76回卒)が、これまで空席ポストであった幹事に松田金幸幹事(67回卒)が選任されました。今回、若手が2人も役員になってくれたことは、今後の支部活動に弾みがつくものと思っています。

今年は、伊勢路を疾走する全日本大学駅伝駅には、惜しくも出場を逃がしてしまいましたが、来年の出場を信じ、その時はまた支部活動の一つとして支部の力を結集し応援したいと思います。

支部長　池山英典(57回)

京都支部

“つながる力”を意識できた総会

京都支部総会を2019年11月9日(土)、ホテル京阪京都グランデにて開催しました。初参加7名を含め総勢59名ご参加いただきました。

大学からは藤本理事長、経営学部北村教授、井形教授、黒正部長、大樟会から大河内副会長、近隣支部より愛知・岐阜・福井・滋賀各支部長(副支部長)にお越しいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

今回はグリークラブの学生さんをゲストに迎え、コンサートをお願いしました。グリーのOB会長、OBの方もご参加いただき和やかな雰囲気で美しい歌声に皆さん感嘆されていました。まさに、学生とOBとのつながる力であったと思います。

また、本年卒業の社会人1年生も参加されましたが、積極的に交流を深めていたのが印象的であり、宴席も今まで以上に盛り上がり活気にあふれた総会となりました。大学とOB、学生とOB、OBとOBのつながる力を意識し、今後も支部活動をしていきたいと考えております。

支部長　柴田俊彦(50回)

大阪市淀川支部

第3回支部総会開催

2019年7月13日(土)、第3回大阪市淀川支部総会をホテルプラザオーサカにて開催しました。来賓として草薙情報社会学部長、上田大樟会常務理事、梶村北摂支部事務局長、山本大阪市住吉支部長、小原大阪市北支部長、吉川大阪市南支部長ご臨席のもと、12名の会員のご出席をいただきました。

総会は草薙情報社会学部長、上田常務理事のご挨拶をいただき、青木支部長よりこの一年間の振り返りと今後の展開について資料を交えて報告がありました。

総会終了後に開催された懇親会では、山本大阪市住吉支部長から乾杯のご発声をいただき、ひとりひとりが自己紹介を行い、お互いの親睦を深めることができ、和気藹々と会を進めることができました。

今回の総会が3回目と同窓会運営はまだまだ手探り状態ですが、ボウリング大会開催等、年間行事に力を入れており、同窓会会員様の交流の場を設け、親睦をより深めていきたいと思っております。同窓会会員の皆様のご参加をお待ちしております。

事務局長　森村信治(49回)

大阪市北支部・大阪市南支部

合同総会を開催

2019年4月28日(日)、新しい元号「令和」の幕開けを前に合同総会を開催。今回は新しいメンバーの参加を得て36名の参加をいただき、一年間の取り組みの成果を示すことができました。総会には、ご多忙の中、ご来賓として経済学部長 森詩恵先生、大樟会監事 廣野義直様、同じく評議員大樟会常務理事 渡辺美幸様、他三名の皆様がご参加くださいました。ご来賓を代表して森先生よりご祝辞をいただきました。

総会では、大阪市北・南両支部の会計部長より2018年度会計報告、2019年度予算案並びに活動方針の報告の後、記念講演「心斎橋の不思議(御堂筋編)」と題して「長堀21世紀計画の会」元・理事長 春木洋次様から興味深い大阪の中心街の歴史と苦労話の紹介をいただきました。そのあと、会場を移し「交流懇親会」を行い、参加者の皆様と有意義な懇親を行い、再会を約しました。

北支部長　小原宏夫(38回)
南支部長　吉川　進(41回)

大阪市住吉支部

再スタート３年目を祝って

住吉支部は皆様方からの励ましにより、創設後３回目の支部総会を開催できることとなり、2019年５月26日(日)、母校のＥ館７階の会議室で総会を、その後の懇親会を「大樟ラウンジ」で開催しました。

総会では、2018年度の活動報告や決算報告、2019年度の活動案と予算案などが順調に承認されました。自己紹介では、49年ぶりに母校に来たが、すっかり綺麗な校舎となり驚いている、また、42回(昭和51年)卒生からは、大学に入学したらロックアウトで学年末試験がすべてレポート試験になり、なんとか単位がとれた、など在学当時の紹介もありました。

総会終了後は、「大樟ラウンジ」に移動し、大阪市淀川支部長の青木正道氏による乾杯のご発声から懇親会をスタートしました。準備していた料理や飲み物がすごい勢いで参加者の胃袋に収まり、参加者の皆さんの健啖家ぶりに感心しました。少し早めの締めは、元大阪市支部長の春木洋次氏の「大阪締め」で散会しました。

今回の総会には、総勢21名の方にご参加いただきました。また、総会案内への返信も増えており、今後も大樟会事務局をはじめ皆さま方のご指導・ご鞭撻、ご協力をいただきながら、活動を進めてまいります。

支部長　山本岩雄(33回)

北大阪支部

「なぜ、人類は月を目指すのか」をテーマに講演会

第９回支部総会は2019年６月15日(土)、ホテル阪急エキスポパークにおいて会員25名、来賓７名の計32名のご出席をいただき開催しました。当日は大学から崎田洋一常務理事、大樟会から大山寿久常務理事のほか、近隣の豊中、北河内、箕面・豊能、北摂の各支部長、副支部長にご出席をいただきました。崎田常務理事から全国で２番目に若い学長に就任、大学の受験者数・就職率等のお話があり、大山常務理事からは新しい支部設立等、同窓会の動向が紹介されました。

総会は、藤井事務局長が議長となり１号議案の活動報告・会計・監査報告、２号議案の活動計画・予算案、３号議案の役員の一部改選は全て承認されました。

総会終了後、佐伯和人大阪大学准教授に「なぜ、人類は月を目指すのか」をテーマに講演いただきました。先生はJAXA月探査計画「かぐや」、月着陸計画「SLIM」等、月探査計画に参加されています。

講演終了後、23回卒の井上 剛氏の乾杯発声で懇親会が始まり、近隣４支部から挨拶・エールを頂戴しました。和やかな雰囲気の中、近況を語りながら学歌・逍遥歌を合唱し、35回卒の近藤氏の一丁締めでお開きとなりました。

支部長　角野　力(41回)

北摂支部

現役学生の漫才に拍手喝采

2019年３月２日(土)午前11時から北摂支部総会を、高槻市民会館錦松鶴で、総勢38名のご参加をいただき開催いたしました。大学から横山穣理事・財務部長、大樟会から内田敏雄事務局長、近隣３支部４名を来賓としてお迎えいたしました。

横山財務部長から①2022年度からの学部再編、②今年も順調な入試状況、③鈴木大地長官を迎え、スポーツ文化センター創設等のお話をいただきました。内田事務局長からは①徳永光俊学長が３月末退任、４月から山本俊一郎教授が新学長に就任、②堺支部、南九州支部の分割などの話がありました。近隣支部からは各支部の活動状況と北摂支部への激励をしていただきました。

ゲストには母校の落語研究部から４名に参加していただき、漫才２題を披露していただきました。話術も長けており、なかなか好評でした。今後Ｍ－１グランプリを目指して欲しいものです。

懇親会では、カラオケクラブの皆さんが自慢のノドを披露、最後はプロ歌手38回卒の和気多賀司さんの指導で学歌・逍遥歌を全員で斉唱いたしました。

北摂支部はハイキング、カラオケ教室など盛りだくさんの行事を用意しております。

事務局長　梶村貞男(37回)

箕面・豊能支部

第８回支部総会は藤本理事長をお迎えして！！

2019年３月３日(日)、支部総会が「明治の森 箕面 音羽山荘」にて例年のごとく開催いたしました。

来賓として、大学からは藤本二郎理事長、大樟会本部から角庵勝巳・田中伸治両常務理事をお迎えし、31名の参加となりました。

藤本理事長からは大学の今後の方針等についてお話をいただきました。次期学長の経済学部・山本俊一郎教授(44歳)は、全国で二番目に若い学長で、頑張ってほしいとエールを送られました。経済学部では初めて女性の学部長が誕生。学生に関しては、バイタリティがあり、相手の気持ちがわかるセンシビリティのある人間性豊かな学生を育てたいとのことでした。田中常務理事からは、新支部として沖縄支部や南大阪支部が立ち上がるという報告をいただきました。

続いて、吉仲支部長により議事進行が滞りなく行われ、昨年の行事・決算も満場一致で承認され、今期の計画・予算も承認されました。

懇親会は、プロジャズマン２名による約２時間の心和む曲の生バンド演奏を聴きながら、和気あいあいの楽しいひと時を過ごしました。

副支部長　小林克巳(34回)

支部だより

北河内支部

令和元年度第12回北河内支部総会を開催

令和元年度支部総会を2019年5月12日(日)「がんこ寝屋川店」で開催しました。

初めに花岡支部長から、元号が「平成」から「令和」に変わり、少しでも良い年になるよう願っているとの挨拶がありました。

来賓として、大学からは、若吉人間科学部長、大樟会本部から内田事務局長、さらに近隣支部から角野北大阪支部長、湯村北大阪支部幹事、細井北摂支部副支部長にご出席いただきました。

ご来賓の方々からは、それぞれの立場で近況報告などのお話をしていただきました。

また、講演会では、本学卒業生である硬式野球部の山本和作監督をお招きして、プロ野球読売ジャイアンツへの入団からオリックスへの移籍の話や現在の大阪経済大学の野球部の話など、私たちの興味をそそる話をしていただきました。

出席者23名とそれほど多くはなかったですが、総会も回を重ね、今回初めて出席された方や久しぶりに出席したという方もおられ、地道に支部活動を続けていくことの意義を感じました。

懇親会には、山本監督も出席していただき、和やかに時が流れ、会員相互の親睦を広げる懇親会になりました。

事務局長　山西喜久(44回)

豊中支部

いつのまにか「支部設立35周年記念総会」

2019年6月15日(土)午前11時より千里阪急ホテルにて第35回記念支部総会を開催いたしました。出席者は、ご来賓を含めて30名でした。

はじめに、昨年度に引き続いて生演奏を楽しみ、美空ひばり歌謡ほかを合唱しました。

総会に入り、支部長が挨拶で、1985年7月に故筒井英夫様(11回・初代支部長)ほか17名の方々が発起人になり結成され、35年の節目を迎えました。当時の支部会員が490名で、現在は、997名と報告されました。来賓の藤本理事長からは、これまでのご経歴を生かし、本学からの就職先を開拓すべく百社以上の会社への訪問を精力的にこなされているとのこと。学内では、経費節減を推し進めて行くと熱意のあるお話をお聞きしました。また、田中伸治大樟会常務理事からは、同窓会(大樟会)の動向が紹介されました。

つづいて、議事に入り、(1)2018年度の活動報告と会計報告。(2)2019年度の活動計画と収支予算案が各々承認されました。この後、上野満里子様(14回卒)の乾杯音頭により懇親会に入り、近隣支部のご来賓からエールを受け、出席者からの近況が報告されました。

おわりに、学歌および逍遥歌を斉唱して、万歳三唱でお開きとなりました。

支部長　田中功一(42回)

池田支部

近隣支部との連携、連帯の強化を確認

2019年6月22日(土)、池田の老舗「音羽」にて支部総会を開催しました。大学より横山穣財務部長(理事)、大樟会から川口正義監事、吉仲美智子常務理事(箕面・豊能支部長)、石元佳代常務理事(神戸副支部長)、近隣支部幹部のご臨席を賜わり総勢25名のご出席です。まず、松田今朝男池田支部長から開会の挨拶がありました。

総会は松田支部長が議長を務め、活動報告、会計報告の各議案、斎藤義和氏の監事勇退と道前幸三氏の監事就任が満場一致で承認されました。

次いで、横山財務部長に「大阪経済大学の近況報告」と題してご講演いただきました。山本俊一郎新学長就任、大学の志願者数の増加、防災歩道クールロードのお披露目、弓道部、準硬式野球部等の活躍、公認会計士試験現役合格者輩出のお話を伺いました。

懇親会は、来賓の皆様方からのご挨拶に続き、参加者の自己紹介では皆様のご活躍ぶりのお話、愉快なお話が続出しました。

最後は、山形輝三相談役の中締めの挨拶に続き、竹本川西・川辺支部長の参加者へのエール、そして学歌の斉唱が行われ、近隣支部との連携、連帯の強化を約し、お開きとなりました。

副支部長　今村武司(43回)

泉南支部

楽しく活発にやってます

泉南支部総会、2年に一度の開催ですが、今回は2019年6月23日(日)開催いたしました。関西国際空港直近りんくうタウンのエアポートワシントンホテルです。つい最近に立ち上げた南大阪支部長も来賓で参加いただきました。

メンバーも少しずつ入れ替わり、「初めての参加です」というニューフェイスも何人かいらっしゃいました。ニューフェイスと言っても参加者は2名を除いて、全て60歳オーバーです。他の支部もこんなものかも。でも60歳といっても昔の60歳とはちょっと違います。みんな青年のように元気で活発に懇親会も終わりました。

最後は6ヵ月後に選挙を迎える泉南郡熊取町長がエールをきって終了いたしました。また次回を楽しみに。次回はもっと参加者を増やして盛り上げるぞ。

支部長　塩谷善一郎(39回)

南大阪支部

大樟会55番目の支部が誕生しました

2019年6月2日(日)、41名の参加を得て、大樟会南大阪支部設立総会がバリタワー大阪天王寺で開かれました。総会には大樟会本部より田村会長はじめ石橋組織部長、内田事務局長、大学より加藤経営企画部長、近隣支部より塩谷泉南支部長、吉仲箕面・豊能支部長のご臨席をいただき、ご挨拶と力強いお言葉をいただきました。

南大阪支部は藤井寺市・羽曳野市・松原市・大阪狭山市・富田林市・河内長野市・河南町・太子町・千早赤阪村の6市2町1村の会員数1,300名から構成される支部です。総会では、藤田支部長の挨拶に引き続き、会則、役員の選出、事業計画の提案があり、満場一致で承認されました。

今後は母校と連携しながら、スケールメリットを生かしつつ、アクティブで明るく開かれた支部を目指し活動してまいりますので各支部のご指導ご鞭撻をお願いいたします。　　支部長　藤田鉄夫(40回)

伊丹支部

山本新学長を迎え、令和最初の総会開催

2019年6月22日(土)午後6時より、伊丹シティホテル2階「朱雀の間」において令和最初の伊丹支部総会を開催しました。

今回の総会では、大学の山本俊一郎新学長にご出席いただいたほか、同窓会、近隣の各支部からのご来賓10名の方と合わせて31名の出席となりました。

竹中支部長の開会挨拶のあと、来賓紹介と来賓を代表して山本学長と大樟会常務理事の石元様からご挨拶をいただき、総会の議事に入り、各議案とも原案通り承認されました。

その後は山本新学長に「教学の課題と2019年度の運営基本方針」と題した記念講演を行っていただきました。講演では山本学長の自己紹介にはじまり、学長就任にあたっての所信表明、大学の現状と来るべき創立100周年に向けての取り組みなどについて、時折ユーモアも加えながら、学長の思いのこもった興味深いお話をしていただきました。

総会のあとは川西・川辺支部長の竹本様の乾杯のご発声で懇親会がスタート、恒例のビンゴゲーム大会で盛り上がった後、恒例の学歌斉唱、伊丹支部の鈴木幹事の閉会の挨拶をもって無事お開きとなりました。

幹事　岡田隆義(54回)

川西・川辺支部

母校に集う！

2019年6月16日(日)、梅雨のはじめ、曇天の中でしたが、兵庫県川西市・川辺郡猪名川町から県境を越え、大挙して母校に里帰りいたしました。

50年ぶり60年ぶりに母校の土を踏み、ここにA館が、ここに体育館が建っていたはずとの思いの中、先ず新しい校舎群に目を見張りました。当時は木造校舎もあり、まだ戦後復興の匂いを残していた時代でありました。今日は、校地の門の辺りには日曜日のためか漢字検定の若い男女学生とおぼしき人たちがいて、穏やかながら華やかな雰囲気を醸し出していました。

総会では特にお願いして、藤本二郎理事長にご挨拶と、ご講演をいただきました。ご講演は、『ツキ半分、努力半分の経営―親父苦労して、息子楽しく、孫乞食になる様な経営をしない―』と題して、理事長の現役時代、代表取締役を務められたホーチキ株式会社の会社経営についてのお話をいただきました。「投資と収益」はリンクする。「特に広告宣伝費に力を注ぎ会社の知名度を上げる」と言ったお話は心に残りました。懇親会の前に本学出身のマジシャン「ジョン道阪」氏のマジックを楽しみました。懇親会では現役時代の話題に話が弾み、最後のビンゴゲームで、ビンゴゲームのカードが行方不明といったトラブルを乗り越えて大いに楽しみました。　　支部長　竹本　勇(35回)

尼崎支部

新支部長に松浦雄一郎副支部長

2019年2月14日(木)、尼崎商工会議所会議室にて支部総会を開催いたしました。

これまで尼崎支部の運営に多大なるご尽力とご貢献をいただいた久保太郎支部長、藤縄健一事務局長が相次いでお亡くなりになり、総会の開催が危ぶまれましたが、関係各位の協力により挙行することができました。

大学から山下理事・総務部長、大樟会より竹中事務局参与、角脇総務部長、大山常務理事、近隣4支部より4名の方に来賓としてご出席いただき、大学と大樟会の近況報告並びに支部活動への激励をしていただきました。

議事では、会計報告のほか故久保太郎支部長の後任に、松浦雄一郎副支部長の就任が承認されました。38歳の新支部長の活躍が大いに期待されます。

懇親会では美味しい食事とお酒を楽しみながら、和やかに交流を図ることができ、最後は学歌と逍遙歌を参加者で斉唱、閉会となりました。

副支部長　福島裕規(65回)

支部だより

阪神支部

チアリーダー部演技に一同元気をもらう

2019年6月1日(土)、宝塚ホテルにおいて阪神支部総会が行いました。大学からは小谷副学長、大樟会本部から竹中事務局参与兼伊丹支部長と天野常務理事を、近隣支部から石元神戸支部副支部長をお迎えしました。

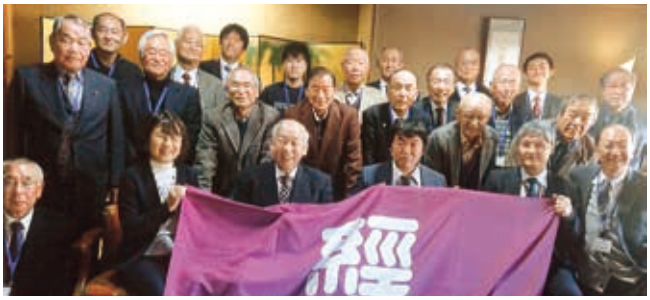
活動報告、決算報告で議事を終了し、小谷副学長による講演が行われました。演題は「三洋証券倒産と再建構想」で、当時の生々しい動きを興味深く説明いただきました。その後、懇親会に移り、天野常務理事による乾杯の音頭の後、本日の目玉であるチアリーダー部の演技が行われ、出席者が現役学生時代では考えられないような華やかさ、まぶしさに一同目をぱちくり。

その後和気あいあいの雰囲気の中で、写真撮影、学歌斉唱が行われ、来年は移転新築された同ホテルでの再会とお互いの健康を誓い合い、一本締めの後、散会となりまた。

会計　大山寿久(41回)

丹有支部

ぼたん鍋を囲み支部総会



2019年11月30日(土)丹波篠山市の料理旅館「高砂」で、丹有支部総会を開催しました。丹有支部は、三田市と丹波篠山市と丹波市の高等学校を終えて母校を卒業した者、また母校を卒業して、丹有地域に勤務や居住する者を会員としております。総会開催地は持ち回りで本年度は丹波篠山市が当番であります。昨年度に続き今回も現役4回生1名を含む22名で総会を開きました。

大学より情報社会学部の宮武記章教授と、大樟会より石元佳代常務理事の、ご出席をいただきご来賓のお二人より大学、大樟会の近況をお聞きしました。

第二部の懇親会では、女性4名のHOTシスターズによるアトラクションです。

ハーモニカ演奏を聞いたりして、最後は丹波篠山市の定番のデカンショ節を太鼓と三味線のお囃子で大きな声で歌いました。食事は創業嘉永元年の「高砂」さんのぼたん鍋を美味しくいただきました。最後のメの雑炊も格別でした。

最後は恒例の藤林君による逍遥歌斉唱で閉会とし、次年度の丹波市地区当番での再会を約束しました。学生時代に戻り丹有支部会員の先輩諸氏との会話の中で、絆を深め、繋がる大阪経済大学を感じる同窓会でありました。

支部長　足立徳太郎(36回)

神戸支部

令和元年度、神戸支部総会

令和元年度神戸支部総会は、2019年10月6日(日)12時より、神戸・元町南側神戸旧居留地にあるレストラン「レニージョエル」において開催しました。

今年も総会前に、元毎日新聞論説委員でジャーナリストの平野幸夫様に「最近の政経事情」と題して、ご講演をしていただき、その後、総会には、大学から山下一佳総務部長、大樟会から内田敏雄事務局長、そして、近隣支部からもご臨席を賜り、来賓の皆様から大樟会の活動状況など、心温まるご挨拶をいただき、出席者48名で幕が開かれました。

今年の神戸支部総会には10名が初参加ということで誠に嬉しい幕開けとなりました。また、大先輩であります御年93歳で現役の税理士として、また全国女性税理士連盟相談役として活躍されている13回生の大城戸武子様から武勇伝を聴かせていただき力をいただきました。そして、総会中ほどでは、ピアノとアルトサックスの生演奏と素晴らしい歌を披露していただき、その後、恒例の抽選会も行い、予定の2時間半も、あっと言う間に過ぎました

来年も引き続き、総会サブタイトルに『神戸で出逢おう』を掲げて、実行委員会を立ち上げ、開催日時、会場、内容等、お知らせしたいと考えております。

支部長　正岡健二(36回)

北播磨支部

新学長のビジョン推進の報告に安堵

創設13年目となった北播磨支部の令和元年度総会を、2019年12月20日(金)に小野市内の「京風料理　魚司」さんで開催しました。出席者は8名でした。当日は、大学より崎田洋一常務理事と大樟会本部から天野康弘常務理事にご出席いただき、最近の大学の様子や同窓会活動などをご報告いただきました。

母校も学長に45歳というお若い山本俊一郎先生が就任されて、2032年の創立百周年を見据えて4つのビジョンを推進され、商都大阪から社会に貢献する人材輩出を目指されているとのこと。国際交流にも傾注され、全て英語による授業を開講されたり、海外学生の受け入れにも積極的に取り組まれているとの報告を受け、心強く感じた次第です。受験者数も就職率も高い数値を維持されており、大学の財務状況も良好であるとの報告に安堵しました。

当支部も結成10年余となり、中だるみの感がありますので、若年層の参加者を増やすべく、種々事業を展開して行きたいと考えているところです。恒例の関西大学・関西学院大学・甲南大学・近畿大学の関西地区大学小野支部同窓会とのゴルフ交流戦も3月に予定しています。　幹事　横山種機(45回)

東播磨支部

総会レポート・支部長交代！

2019年10月26日(土)加古川プラザホテル4F「東京田村」にて開催しました。大学より家近特別招聘教授、同窓会本部より内田事務局長、近隣支部より明石支部の池上支部長、淡路島支部の榎本事務局長に出席していただきました。

総会は、福田支部長の挨拶、来賓紹介、議事はそれぞれ承認され、役員改選の年度で新支部長に宮崎副支部長(43回卒)が昇格し少し若返りました。2期4年福田支部長お疲れ様でした。終了後、家近先生より「西郷隆盛」について講演していただき、先生独自の人物像について興味深い内容となりました。先生の講演聴講目的の参加者もありました。

懇親会は来賓の方々より祝辞をいただき、恒例の森本幹事の剣舞「瞼の母」で盛り上がり、参加者全員18名(初参加3名)の自己紹介と近況報告で更に盛り上がり、最後に応援団OBの福田前支部長と江口さんの演舞で逍遥歌・学歌を斉唱して散会しました。

来年は再建10年目の節目の年、ご支援お願いします。

支部長　宮崎善人(43回)

姫路支部

姫路支部1400名同窓生の縁と絆を深めたい

2019年度姫路支部総会は、10月26日(土)午後6時より姫路キャッスルグランヴィリオホテルにて36名の参加者で開催いたしました。来賓として大学より藤本理事長、大樟会より石元常務理事にご出席いただきました。

藤本理事長からは、少子化の時代の中で44歳の新学長と共に学部再編への取組やひとの心の痛みの分かるひとづくりなど、存在価値、存在意義のある大学を目指して大学改革に取り組んでいること。そして全国的にも珍しい、受験者数が7年連続で増加していることや就職率も良いこと。また、関西六大学野球秋季リーグ戦で準優勝したこと等々、うれしい報告がなされ参加者一同深く聴き入っていました。

その後、懇親会に入り31回卒～84回卒までのメンバーで自己紹介などを通じて大いに盛り上がりました。最後に全員で学歌、逍遥歌を合唱し、旧交を温めあった時間は瞬く間に過ぎましたが、来年度の再会を誓い合いながら一本締めで散会しました。

なお、懇親会の様子のごく一部をユーチューブにも投稿しました。

支部長　上野隆裕(40回)

淡路島支部

佐藤前大樟会会長も出席

2019年9月28日(土)、関西の奥座敷として名を馳せている、洲本市「夢海游・淡路島」において、第29回支部総会が29名の出席のもと盛大に開催されました。

赤松支部長の挨拶のあと、小谷融副学長、大樟会常務理事の石元佳代様からご祝辞並びに大学の近況報告をいただいた後、議案審議に入りました。その後、全ての議案について可決承認され無事終了。

恒例の研修会では、今回趣きを変えて、本学第76期卒業生でマジシャンの、ジョン道阪氏を迎え、素晴らしいマジックショーに喝采をおくりました。その後記念写真、懇親会乾杯のご発声を、ご来賓で大学理事の佐藤武司様(前大樟会会長)からいただき、宴たけなわの中、大樟会旗のもと、全員で逍遥歌・学歌の大合唱、盛会のうちに閉会となりました。

事務局長　榎本輝夫(47回)

奈良支部

令和最初の支部総会を開催

秋日和のもと2019年10月6日(日)午前11時より、令和最初の支部総会が、ホテル日航奈良「天空の間」で31名が参加して開かれました。大学から崎田洋一常務理事、大樟会本部から竹中亨事務局参与にご臨席賜りました。

毎年10月初旬、皆さまのお元気なお姿を拝見し、各方面においてご活躍されているお話を聞かせていただくことを楽しみにしております。

今回は大樟教育研究会奈良支部の発足に伴い、諸先輩方から母校の発展を願う闊達なご意見を伺うことができました。

また、懇親会ではより和やかな雰囲気の中、一流ホテルの美味しい料理をいただき、楽しい同窓会となりました。

今後、様々なイベントを取り入れ、より多くの若い同窓生に出席していただけるよう、新しい企画を工夫していきたいと思います。是非ご参加ください。

事務局　八田耕治(45回)

支部だより

鳥取支部

役員改選で半数が新役員に

令和最初の支部総会を2019年7月6日(土)午後6時より倉吉シティホテルで23名の参加を得て開催しました。

総会前の1時間、グラウンドゴルフ発祥の地・湯梨浜町で、井高野チームと上新庄チームに別れプレーを楽しみました。景品には味と粒の大きさで知られる東郷池の鬼シジミを用意し、参加者に喜んでいただきました。

総会来賓に藤澤経営学部長、角脇大樟会総務部長と島根支部役員2名をお招きし、議事を進行。役員改選では半数が新役員となり、昭和50年から平成の卒業生が大半を占める体制となり、鳥取支部を盛り上げることを確認。

毎年6月の第2土曜日に支部総会を開催し、鳥取県在住のOB約500名の1割に当たる50名を集めるために、組織強化と鳥取出身で全国で活躍している卒業生の招聘等を企画しています。

総会参加者のほとんどが二次会にも参加し、夜遅くまで大いに盛り上がりました。

次回は2020年6月13日(土)に開催予定!

支部長　本庄克則(46回)

島根支部

支部再興3年目を乗り切る

2019年年9月28日(土)、支部総会を松江エクセルホテル東急にて開催しました。大学から藤澤経営学部長、大樟会本部から小林副会長、隣県の鳥取支部から本庄支部長、梅林副支部長をお迎えし、総勢21名で島根支部再興3年目を乗り切ることができました。

総会では母校の近況について報告があり、その後の懇親会では参加者の自己紹介や情報交換等で和気藹々と語り合い、大いに親睦を深めることができました。

最後に全員で学歌を斉唱し、来年の再会を約束し盛会裏に会を終えました。

母校大阪経済大学での青春時代の縁(えにし)を大切にしながら、今後も毎年定期的に開催していきたいと思います。

今回参加できなかった皆さん、是非来年お会いできること楽しみにしています。

支部長　山本篤治(42回)

岡山支部

幅広い世代から51名が参加

7月6日(土)、2019年度大樟会岡山支部総会を例年通り岡山プラザホテルで開催いたしました。数日前から梅雨空が続き「昨年の二の舞になったらどうしよう」と心配していましたが、当日は晴れ間ものぞく絶好の同窓会日和になりました。

大学からは草薙情報社会学部長、黒正部長、大樟会から天野常務理事、津山支部から竹本前支部長、藤井副支部長がご出席くださり総勢51名が集まりました。

ご来賓の草薙情報社会学部長から大学の現状、創立100周年に向けた取り組みを説明いただき、天野常務理事から大樟会の取り組みをお聞きしました。

その後第1部の総会を行い審議事項の事業計画、決算報告が全会一致で承認され、来年の支部総会を7月4日(土)に開催することを決めました。

続いて第2部の懇親会に入りました。24回から77回まで幅広い年代の出席があり、今年初めて参加した4名の同窓生から一言自己紹介をしていただきました。毎年数名の初参加者があります。

最後にグリークラブOB4名による指揮のもと全員で肩を組み、学歌、逍遥歌を歌い、経大エールを行い絆を深めました。

来年は7月4日(土)岡山プラザホテルで開催しますので是非ご参加ください。

支部長　松永清彦(41回)

津山支部

新支部長に藤井治則氏を承認

2019年8月24日(土)、津山市内の「四季の味 日和」にて支部総会・懇親会が開催されました。この20数年間利用していた会場が時代の流れもあり歴史を閉じていく中、今年は初めてお世話になる会場での開催となりました。お店も我々も勝手のわからぬ中、ご来賓の方々にはご不便をお掛けいたしました。

今回の総会では大学より森詩恵経済学部長様と大樟会より田中伸治常務理事様がお越しくださり、お話を拝聴いたしました。津山支部の役員改選もあり、46回卒の藤井治則氏が新支部長として承認されました。総勢19名と例年より若干少ない参加者でしたが、最後の全員での学歌斉唱まで予想以上の盛り上がりをみせ、惜しまれながらの閉会。年に一度ですが、皆楽しみにしてくださっていることが感じられる楽しい会となりました。いつもご参加くださる大学、大樟会、そして敬愛する岡山支部の松永清彦支部長様、ありがとうございました。

副支部長　橋本隆一郎(60回)

備後支部

新支部名は「福山支部」に、支部長交代も

2019年11月24日(日)午前11時半より、福山ニューキャッスルホテルにて、第13回支部総会を開催しました。大樟会本部から石橋隆夫組織部長、大学よりは小谷融副学長(41回卒)、広島支部よりは陰山秀明支部長にお越しいただき、各々に、近況等のご報告をいただきました。当日の主題は支部名称変更と支部長交代の件でした。広島県東部に位置する我々の支部は、旧国名の『備後(びんご)』が相応しいのですが、本部での会合等で、『どのあたりですか?』と聞かれることが多く、今回『福山(ふくやま)』に変更することにしました。

私は昭和45年頃より、昭和高商の先輩方の命で、同窓会活動に関与し、2代目支部長を受けて早や28年を迎えました。次期支部長には37回卒の岡崎正廣君を指名しました。

今総会では、2名の若手会員の出席がありました。1名は瀬戸大智君(82回卒)で、SMBC日興証券福山支店勤務、もうお一方は志田拓磨君(85回卒)で、大和ハウス工業㈱広島支社勤務で、わざわざ広島から出席してくれました。当支部会員もかなり高齢化しておりますので、若手会員の参加を望むところです。約2時間の歓談の後、最後は私の(応援団出身)エールで締めました。今後、幾世代にわたって、当支部が存続することを願います。

支部長　小池勝章(32回)

広島支部

「若手会員交流会」開催を報告

2019年10月26日(土)、午後4時よりリーガロイヤルホテル広島にて大学から崎田洋一常務理事、大樟会から大河内徹心副会長をお招きして、会員20名で第77回総会を開催しました。

ご両氏から大学・大樟会の近況も含め情報提供をいただき、支部長から会員活性化のため、試みとして「若手会員交流会」を企画開催した結果報告をいただきました。今後も開催を継続し、少しずつ成果を上げていきたいとの意思表明でした。ご出席の全会員から近況報告をお話いただき、広島支部会員の親睦を深めました。

最後に学歌、逍遥歌を全員で合唱し、散会しました。その後二次会で先輩・後輩酒会と変貌したようです。

副支部長　飯田　徹(57回)

山口支部

卒業生10万人に向けて

心配していた台風も直撃を免れた2019年10月5日(土)、山口市で支部総会を開きました。大学からは崎田常務理事、大樟会からは田村会長、さらに広島支部から陰山支部長、熊本支部から坂本支部長を迎え賑やかな会になりました。

大学からは新学長の紹介、9月の卒業式、本学の看板でもある中小企業経営研究所による中小企業の後継者についての新たな取り組み、地域にも貢献する防災ウォークの開催、運動部の活躍状況の報告を受けました。大樟会からは沖縄にも支部ができ、職域、職種の支部を加えて約100支部を目指すこと、近く卒業生が10万人を超える大きな組織になるが、大学にとって最大最強のサポーターになろうとの決意が述べられました。

今回は会場に大学や周辺の写真を用意しましたが、出席者は在学時とのギャップにおどろいていました。次回の総会案内には会員の情報も同封するなど、いろんな工夫も検討したいと思います。

支部長　藤原俊明(37回)

徳島支部

徳島支部2018年度総会報告書

2018年度徳島支部総会が2019年1月19日(土)午後6時30分からホテルクレメント徳島で総勢28名(来賓2名)の出席者で開催、大阪経済大学総務部長　山下一佳様、大樟会副会長　小林眞人様よりご挨拶をいただきました。

◆2018年度事業報告　・2018年1月21日(日)　後藤眞人氏(35回卒)㈱エンドレスイドム会長による第5回講演会(出席者31名)・2018年10月27日ホームカミングデー参加(参加者5名)、懇親会会場で愛媛・高知支部と交流会　・ゴルフコンペ55回 6月2日(土)(参加者8名)56回 12月1日(土)(参加者9名)徳島CC月の宮コースで開催。島村與志和氏(35回卒)、尾上通孝氏(66回卒)がそれぞれ優勝。

◆2019年度事業として、第6回講演会を総会の1時間前に実施、㈱ファーブリック相談役　野々宮充造氏(37回卒)に「私の人生を語らせていただきます」の講演をしていただきました。今回の総会司会を十川幸利氏(42回卒)が担当、また懇親会のビンゴゲームの司会を三原克哉氏(73回卒)、多田達也氏(75回卒)の若手が担当し、たいへん盛り上がりました。わが支部の人材の豊富さをあらためて確認いたしました。

事務局　川真田博敏(42回)

支部だより

香川支部

歓喜溢れる香川支部

元号が令和に変わり最初の香川支部総会が2019年7月13日(土)ルポール讃岐において開催。

大学より4月に学長に就任されたばかりの山本俊一郎学長、梅原猛教務部・教務一課長、大樟会本部からは大山寿久常務理事、また愛媛支部より二宮克郎支部長をお迎えし、総勢33名で和やかな雰囲気の中、総会が行われました。今回、新学長に就任された山本学長は第14代目になり、わが香川県小豆島のご出身です。また徳永光俊前学長は松山のご出身であり、奇遇にも私が在学当時の学長であった藤田敬三先生も香川県の三豊市のご出身です。

すでに愛媛支部では前年10月27日に大学見学ツアーを実施し「四国はひとつ」のスローガンのもと、奮闘しております。

いよいよ来年2020年には卒業生が10万人を突破！　また、2022年には大学創立90周年の佳節を迎えます。決して母校の将来を憂うことなく、我々支部会員ひとり一人が経大に対する強い愛校精神と熱い経大プライドを持って、各々の支部発展のために知恵を絞り、地道な努力を重ねて行くべきだと思います。そして創立100周年を迎える2032年には歓喜に満ちた元気な姿で祝賀の宴に参加したいものです。

支部長　鈴木澄夫(36回)

愛媛支部

次回は南予地区で開催

2019年7月27日(土)、今治国際ホテルにおいて、ご来賓として大学から山下一佳理事・総務部長、大樟会から小林眞人副会長、香川支部から鈴木澄夫支部長、高知支部から南宏道支部長のご臨席をいただき、愛媛支部会員29名の参加のもと開催いたしました。

安藤志朗事務局長(48回)の司会進行により、総会の冒頭に、昨年逝去された初代支部長の小野茂樹様(26回)および副支部長の宮脇増彦様に黙祷を捧げました。

総会は二宮支部長(40回)の挨拶の後、愛媛支部の昨年度の事業活動・会計報告に続き、今年の活動計画として、①『大樟会』総会開催日に計画する『第2回大経大見学ツアー2019』への参加呼びかけ②東予・中予・南予に地区会の設立計画などについて協議しました。

総会後の懇親会は越智敏夫顧問(27回)の乾杯で始まり、自己紹介と大学時代の思い出などを語っていただき、吉岡通伸幹事(48回)が学生時代さながらの応援団演舞を披露し、全員が肩を組み合い、学歌・逍遥歌の大合唱で最高潮となりました。国西良昌顧問(29回)の閉会挨拶、南予地区で開催される次回総会での再会を誓って大盛会のうちに名残惜しい総会を締めくくりました。

支部長　二宮克郎(40回)

高知支部

若返った学長の舵取りに期待

2019年11月9日(土)午後6時30分より、郷土料理"土佐ノ國二十四万石"にて高知支部総会を開催いたしました。

本学からは、藤澤宏樹経営学部長、大樟会からは竹中亨事務局参与に出席いただきました。

総会を無事終了後は朝倉南郵便局長藤井さんの乾杯の音頭にて宴会が始まり、自己紹介など、いつもの高知のお客となりました。

宴席の締めくくりは、学歌を斉唱、また恒例になりました、井上さんの見事なエールで終了しました。

大学については、学長が若返りこれからの大阪経済大の発展、舵取りを期待しています。

来年も多数の同窓生の参加を楽しみにしています。よろしくお願いします。

なお、総会に先立って第2回目となる、親睦ゴルフコンペを南国市のパシフィックゴルフ場にて行いました。今年は3組の参加者で、風もなく、天気もよく、言い訳のできない環境でした。優勝は愛媛支部の二宮支部長でした。

支部長　南　宏道(52回)

北九州支部

令和元年北九州支部同窓会

支部同窓会を、2019年10月26日(土)開催しました。恒例の38回卒同窓生河野さんが率いるバンドに演奏いただき、心地よい雰囲気を演出した同窓会となりました。

ご多忙の中、大樟会から小林副会長、大学より山下総務部長が出席され、大樟会の取組み、大学の近況をご報告いただきました。本学所在地から遠方に位置し、大学名を聞く機会がない北九州支部の同窓生にとって、話を聞くことができたことはたいへん喜ばしいことです。

また今回も近隣の熊本支部から坂本支部長、大分から寒田支部長、阿南様がご出席され、支部および同窓生報告、さらに出席者の先輩後輩の話も交え盛況でした。母校愛を体感できるこの機会を、同窓会に参加されていない会員の方々に感じていただきたいと思っています。

いつもご参加いただいている同窓生に感謝申し上げます。参加される方を増やし、活力のある同窓会となるよう頑張ります。同窓生の皆様、ご参加お待ちしております。

支部長　植田達三(52回)

大分支部

今回は湯布院で

年号も新しく「令和」になり、初めての支部総会を支部会員の黄 梅雄氏(37回卒)が湯布院にオープンしたホテル「シャン・ジュエル」にて、梅雨入りしたばかりの2019年6月29日(土)、大樟会小林副会長と大学から崎田常務理事をお迎えし、北九州支部、熊本支部からの参加をいただき、雨の中ですが和やかな雰囲気の中開催しました。

最初に小林副会長の大樟会に沖縄支部など新しい支部が発足したとの報告があり、大学の崎田常務理事からは新学長の紹介がありました。その後、食事をしながらの懇親会と楽しい時を過ごすことができました。

今回は3人が都合が悪く出席できませんでしたが、北九州支部から57回卒の木村浩二氏、大分支部からも幸野 寛氏(68回卒)が参加してくれました。木村氏は会社の支社に東京から来ているそうです。お二人は、大分支部や熊本支部の会員の紹介で本総会に参加したとのことです。大分支部のことを知ってもらい、会員を増やすことができることを期待した次第です。

支部長　寒田　陽(40回)

熊本支部

震災被害からの復興は道半ば

2019年6月1日(土)、復旧が進む熊本城を見上げる「KKRホテル熊本」において、大学から人間科学部長 若吉教授と大樟会から小林副会長とをお迎えして熊本支部総会を開催しました。隣県の北九州支部と大分支部からの参加をいただき、総勢15名と少数ながらも和気あいあいの雰囲気の中、活発に意見交換ができました。

熊本地震から3年が経過し、特に被害が甚大であった観光地阿蘇地域の寸断されたアクセス道路も徐々に復旧が進み、多くの観光客が戻っています。しかしながら幹線道路や橋の一部が完成しておらず、また住宅環境や小規模事業者の業績など、いまだに震災の影響が残っており、本格的復興はまだ道半ばという状況です。

総会・懇親会後は熊本県民の復興のシンボルであるライトアップされた熊本城を見上げつつ、散策しながら二次会の場に足を運び親交を深めました。

高齢化が進む中、新規会員の参加促進と次回の再会を期して閉会しました。

支部長　坂本純夫(39回)

宮崎支部

地方支部の課題に取り組み

2019年11月9日(土)、第17回宮崎支部総会を、ホテルメリージュ宮崎にて開催いたしました。参加者は、他の記念行事への参加や健康問題等での欠席があり、来賓を含めて12名でした。大学からは若吉人間科学部長、大樟会からは大山常務理事をご来賓にお迎えして、大学の近況や将来のビジョン(卒業生10万人体制・世の中に生かされる大学・世間から認められる大学等)についてご報告いただきました。次に、議案の審議に入りましたが、いずれも異議なく承認されました。

引き続き記念撮影と懇親会になりましたが、その中で、支部の課題であります高齢化と若年層の支部会員の参加が少ないという流れの中で、支部の組織化・充実と宮崎から大経大への受験生増のためのサポート等についての意見交換を行いました。今年はハーモニカ演奏はできませんでしたが、和やかな雰囲気の中で盛会のうちに閉会となりました。

今後も新元号(令和)を迎え、色々と情報交換を図りながら組織の強化・充実に努めてまいります。

支部長　堀内健一(35回)

南九州支部

最後の支部総会

昭和47年(1972年)に県人会からの移行で始まった会合は、当初、鹿児島県支部のつもりが渡辺達好さん(元同窓会会長)の肝入りで、荒牧九州支部長さんの快諾を得て南九州支部と名乗りました。昨年6月に沖縄支部が発足したのを機に「鹿児島支部」に。奇しくも47年振りに本来の「鹿児島」を翳(かざ)し仰(あお)ぐことになりました。紆余曲折を経て今の姿に。昨年11月16日(土)、最後の南九州支部の総会となった本総会では近況を報告し合い、健康や諸事情により参加できなかった方々の消息を気遣いながらの2時間でした。

大学より崎田常務理事、大樟会より天野常務理事が参加され、同級生の横枕氏との再会、久々の参加の諸兄諸氏の年相応の経験談に慶賀の至りでした。

行く先の大学への思いは、入手する情報に多少の差はありましたが、大学栄えて維持して欲しいとの思いは合致するところでありました。少子社会を理由に暗い話に終始しないで、発展する大学と後退する大学があるということを肝に銘じて運営をお願いするとの全員の願いでありました。爆発的要望。桜島

支部長　前薗博隆(34回)

支部だより

沖縄支部

沖縄支部設立総会を開催

2019年6月23日(日)、ホテルロイヤルオリオンにおいて大樟会沖縄支部設立総会を開催し、大樟会56番目の支部として、沖縄支部が誕生しました。

総会には、理事長 藤本二郎様、大樟会会長 田村正晴様、副学長 小谷融様、大樟会事務局長 内田敏雄様、情報社会学部 教授　難波孝志様、南九州支部長 前薗博隆様にご出席いただき、沖縄支部設立に際し、お祝いのお言葉を頂戴いたしました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

また、難波先生から「軍用地跡地利用」をテーマにドイツの事例をご紹介いただきながら本土、沖縄の現状を比較したご講演をいただきました。沖縄支部会員にとって関心の高いテーマであり、ご講演後も多数の質問が寄せられ懇親会の場でも活発に意見交換がなされておりました。

小さい支部ではございますが、今後大きく育っていくように沖縄支部役員をはじめ会員一丸となり、大樟会のますますの発展に貢献できるよう、活動を進めてまいります。　事務局長　島袋朝也(78回)

部　会

大樟春秋会

「大学を通じベンチャーを育てよう」と森田会長 副会長に㈱ハブ社長の太田剛氏を承認

2019年5月14日(火)午後6時から大阪キャッスルホテルにおいて2019年度の大樟春秋会総会が開催されました。出席者は会員11名のほか大学から来賓として藤本理事長、山本学長、崎田常務理事ほか、大樟会から田村会長ほかの計20名でした。

議長に指名された森田俊作大樟春秋会会長(大和リース株式会社社長)は「就職担当部から就職をよろしくお願いしますと頼まれるだけの春秋会であってはいけない」と述べられました。

続いて志水事務局長から会務報告があり、2019年度の役員人事として副会長に株式会社ハブ社長の太田剛氏、顧問には株式会社京都西川元相談役の大河内徹心氏の選任が承認されました。この後、前副会長の大河内氏より「4月4日に大学および大樟会の事務局と懇談の機会をもったが、春秋会会員有志による春秋会初の寄付講座等の仕組みを大学から提案できないかといった具体的な話が出てきている」などの報告をされました。

この後、懇親会に入り、4月に就任した山本新学長は「今後、大学の100周年のあるべき姿を示したビジョン達成のため、これからの3年間、皆様とともに全力を尽くしたい」と学長就任の抱負を述べられました。最後は、佐藤武司前理事長の一本締めで散会しました。

大樟会事務局長　内田敏雄(39回)

大樟体育会

令和初の総会を開催

第19回大樟体育会総会が、2019年6月29日(土)正午から本学E館7階 会議室において開催されました。

開会に当たり、昨年亡くなられた方々に全員で黙祷を捧げました。山本隆造大樟体育会会長は、冒頭の挨拶で「自らの仕事を持ちながらOB会役員、監督、コーチとしてご活躍いただいていることで各クラブが存続している。皆様の情熱、大阪経済大学を愛する心、クラブ、後輩を思う心があってこそ、ここまで来ることができた」と感謝の意を表されました。

続いて、この日欠席された藤本二郎理事長の挨拶が代読されました。そこで、「クラブ活動を通じて良い学生を育てることが、大阪経済大学が社会に貢献することだと信じている。今後、大学としてできることは実現に向けて努力したい」と述べられました。

さらに2019年4月、学長に就任された山本俊一郎学長は、「今後は大学全体のクラブ活動の発展に向けて努力していきたい。クラブ活動を通して、クラブ生、他の学生関係なく応援、支援する母校愛を形成していくことが最終目的だ」と述べられました。

また、田村正晴大樟会長は、「皆様方、手弁当で母校の後輩のためにご尽力いただき、一卒業生として心から感謝申し上げたい。大事なことはパフォーマンスではなく、より具体的に本学は何を進めていくのかということだ」と思いを述べられました。

続いて、志水顧問より本日の本会議は総会成立の会員68名中44名が出席、よって本会は成立したとの報告があり、山本会長が議長に選任され、以下の審議に入りました。

(1)大樟体育会役員紹介および業務分担(2)2018年度活動報告(3)2018年度決算報告(4)2019年度活動方針(案)(5)2019年度収支予算(案)

議長より各議題について承認を求め、出席者全員の拍手をもって承認されました。

次に大樟体育会20周年に向けて、ラグビー部よりタイマーと得点版購入の提案、要望があり、今後検討することになりました。

また、斉藤学生部長よりスポーツ・文化振興課からのお知らせ、大樟体育会田島幹事よりマナーアップキャンペーンについての報告があり、成績優秀者特別表彰者授与式では、以下の方に表彰状が授与されました。

【功労者特別表彰】　サッカー部顧問　宋　仁守　様
　　柔道部OB会長　安田　太　様
【優秀クラブ・選手】　硬式野球部　大村　凌　様
　　日本拳法部(女子)　若林　千夏　様

この後、懇親会に移り、和やかな雰囲気の中、歓談が行われ、最後は、與世田正雄空手道部総監督の指揮の下、学歌斉唱・万歳三唱で散会となりました。　事務局長　岡本圭秀(72回)

池田泉州銀行大樟会

新会員4名を迎え、さらに勢いを増す

2019年度池田泉州銀行大樟会総会を8月2日(金)、ホテル日航大阪にて開催いたしました。来賓として大学から山本学長、大樟会から田村会長をお迎えし、総勢53名(会員数151名)の参加となりました。

総会は能多会長(池田駅前支店長・57回卒)の開会の辞でスタート。続いてご来賓の山本学長、田村会長よりご祝辞を頂戴し、大学の近況や大樟会の動向について拝聴しました。

平尾副会長(名塩支店長・58回卒)の音頭で乾杯の後、懇親会となり、世代を超えた同窓生の各職場での奮闘ぶりに相互に刺激を受け、交流を深めました。

その後、昨年に続き本年も新会員として4名が入行し、挨拶のために壇上に立ち、自己紹介・今後の意気込み等の発表で新たな息吹をもたらしてくれました。さらに豪華景品が当たる抽選会でも盛況を呈する中、名残惜しさを感じつつ、山中副会長(和泉支店・58回卒)による閉会挨拶でお開きとなり、今年度総会も盛会裏に終えました。

事務局長 大野博和(諏訪森支店長・59回)

日立大樟会

「令和」最初の総会を開催

2019年(令和元年)9月14日(土)、第33回日立大樟会を、昨年と同様、大阪西梅田のガーデンシティークラブOSAKAで、会員11名、ご来賓2名の計13名で開催しました。

学校からは、ご来賓として今年4月に学長に就任された山本学長、大樟会からは田村会長にご出席いただきました。学長からは13年後に迎える大学創立100周年に向けたビジョンを作成されたことや、大経大が商都大阪発展の原動力となる人材を輩出していきたい･･･等、また、田村会長からは2020年に同窓生が10万人を超えること、同窓会も今までの延長線上ではなく、構成員の増加や多様化に見合った組織運営と活動を展開をしていく必要がある・・・とのお話をいただきました。さらに、第8代同窓会会長の田中大先輩からは、初代学長の黒正巖博士の謦咳に触れられた生の思い出話や、黒正博士の門下生であった会社時代の上司や、お付き合いのあった企業の経営トップの方々の黒正評について貴重なお話をいただきました。

その後、各自近況報告を行い、最後は恒例になっている元・応援団の小坂さんによるエールと、逍遥歌の斉唱でお開きにいたしました。

会長　山下徹男(37回)

税理士大樟会

前会長の路線を継ぎ、会員増強を推進

2019年7月4日(木)午後5時10分より、大阪新阪急ホテル2階月の間で、元号が令和に改まって初めてとなる第28回定期総会が開催されました。松下史生総務部長の司会の元、中坪健治会長のご挨拶があり、前会長である檜垣典仁先生の路線を継ぎ、今後も会員増強やフラットな組織運営を進めていくとのお話がありました。

議長は檜垣典仁前会長により松下史生総務部長が指名され、議事に入りました。第1号議案は平成30年度事業報告と、総務部を始め各部からそれぞれ議案が報告されました。平成30年度収支報告では、挙手にて1/2以上の賛成があり、原案通り可決承認されました。

第2号議案では、山本肇志専務理事が令和元年度事業計画案と共に、ご自身の病状についてお話されました。そのようなご体調の中でも税理士大樟会のことを考えられ、組織は数が力であると語られるお姿が印象的でした。中秀義組織部長に連絡すればすぐに動いてくださるので、是非会員増強に向けご協力いただきたいとのお願いがありました。

その後研修部、組織部、広報部と報告が続き、厚生部からは、最近の各企画への参加率は高くないが、同窓生との親睦を図るために今後も引き続き開催していくというお話がありました。

次に令和元年度収支予算案が平岡彰信事務局長より報告され、質疑を募ったところ「異議なし」との声があがり、そのまま採決に入り、原案通り承認可決されました。

最後にご来賓の紹介とご挨拶を頂戴し、堀田治副会長の閉会のことばで午後6時に定期総会が閉会となりました。

松永慎司(近畿会東支部)

←挨拶をする中坪会長

余興タイムのフラダンスショー

社労士大樟会

社労士大樟会第12回定期総会　江島由裕経営学部教授による記念講演会開催

2019年7月13日(土)、社労士大樟会第12回定期総会を本学E館7階会議室で開催いたしました。当日は広島県、岡山県や高知県からも会員の方々に駆けつけていただき、たいへん充実した総会を開催することができました。

ご来賓として大学より江島由裕経営学部教授、大樟会本部より田村正晴会長・竹中亨事務局参与・内田敏雄事務局長、税理士大樟会より西川孫市組織副会長・福田重実広報副会長・服部正博研修副会長のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

総会に先立ち、社労士大樟会飯田政信会長より、会員数の増加に努め、関係各位との連携を強めていきたい、加えて税理士大樟会との連携で地域の活性化に資する取組みを模索していきたいとの挨拶がありました。

総会では議長に飯田会長が就き、議事録署名人に古池浩二郎氏、山内淳子氏を指名し、審議を開始いたしました。そして、第1号議案：平成30年度事業報告並びに平成30年度収支決算および監査報告承認に関する件、第2号議案:令和元年度事業計画(案)並びに令和元年度収支予算(案)承認に関する件、第3号議案:会則変更に関する件が、それぞれ審議され、満場一致で承認されました。また、新会員として、総会初参加の市川房嗣氏、堀内賢司氏の紹介と社労士志望の経営学部ビジネス法学科3年中村翔氏の総会オブザーバー参加が紹介され、大きな拍手で歓迎させていただきました。

引き続き行われた記念講演では、大阪経済大学経営学部教授　江島由裕先生より『中小企業の成長の実態～明暗の鍵とは～』と題してご講義いただきました。「スタートアップ企業の生存率は、通常考えられている因果性志向(市場調査・差別化・目標設定・経営資源集積)ではなく、遂行性志向(手段手動・コントロール可能な活動・パートナー作り・偶然をてこにする)をとった方が高くなる。「守りではなく攻め」「分析より行動」「既存より新規」「行動の正確さよりスピード」を本質とする企業化志向(EO)が成長する鍵になる」というたいへん示唆に富んだお話を頂戴いたしました。

記念講演終了後、大樟ラウンジにて江島先生にもご参加いただき懇親会が開催されました。まず、飯田会長より御礼の言葉、そして田村正晴大樟会会長からご挨拶を頂戴し、次いで税理士大樟会の西川組織副会長の高らかな乾杯の発声でスタートです。

和気藹々の雰囲気の中、同窓の親睦を深め、大学と同窓会の将来に思いを馳せているうちに時は過ぎ、竹中事務局参与の先導で、学歌が斉唱される中、お開きを迎えました。

社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方は、下記までご連絡ください。

〒599-0212　大阪府阪南市自然田1915-37　西平労務事務所
TEL 072(472)2297　FAX 072(471)7226
mail:ayata@silver.ocn.ne.jp

事務局長　西平綾太(48回)

大樟教育研究会

2019年度　第19回大樟教育研究会　報告

2019年11月16日(土)午後、今年度の本会全体会・分科会を大阪経済大学E館にて開催いたしました。大学関係者・学生諸君・同窓生合わせて72名の参加者でした。

今年度の全体会では、「教師のやり甲斐とは」と題して、パネルディスカッションを行いました。小学校・中学校・高等学校・支援学校の代表者が学校現場の課題やその対策について話し合いました。また、教育委員会や教員養成系大学の立場から助言をいただきました。事前にお聞きした教職志望の学生諸君の疑問にも少しは答えられたかなと思います。

また、分科会では、小・中・高・支それぞれに、教職を希望する学生達との質疑応答等を中心に、充実した時間を過ごすことができました。

全体会・分科会ともに、積極的に質疑に参加する学生の姿や、分科会の学生による報告など経大生の力量に確かな大学教育の成果を感じることができ、経大卒業生で良かったと実感しました。

懇親会では、同窓生と学生たちの全員で歌った学歌も、良い思い出となりました。

今年度も、お世話になりました大学教職員の方々のご支援・ご指導に、感謝申し上げます。大樟会事務局の皆様にも大変お世話になりました。今後ともご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

会長　西村幸雄(43回)

大学院大樟会

大学院大樟会の潜在力を引き出そう

大経大同窓会の大学院部門としての大学院大樟会。6月には役員一同でこれからのあり方を相談し、11月3日の総会でも参加者は14名でしたが、自己紹介と近況報告に続いて、どんな大樟会にすべきか率直に意見交換しました。

目指すところは、同窓のつながりを広げ、知見を深め、仕事に生活に役立つ大樟会です。

近年の特徴は社会人大学院の卒業者が増え、それだけに多様な経歴を積んだ人が多くなっていること。また、研究や高度な資格を活かして、多方面で活躍しています。これは大樟会の潜在的な大きな力です。この潜在力を引き出し、活かす運営の仕方を編み出すことが大切との意見で一致しました。

これを具体化する道はまだ見えておりません。役員一同、努力を続けてまいりますが、同窓会の皆様からの各種のご提案、ご希望をお寄せくださいますようお願いいたします。

副会長　山田文明(40回)

大樟樟政会

全役員留任を承認

2019年8月31日(土)正午より、大阪天満橋の大阪キャッスルホテルで2018年度の総会が開催されました。大樟樟政会は、政治に携わる同窓生の交流会であり、現在の会員数は46名です。この日、集った議員は大阪、兵庫、福井などの地方議員8名にとどまりましたが、大学からは藤本理事長、大樟会からは田村会長のほか事務局が参加、計12名で会議は進められました。

まず、司会を務めた大樟樟政会の志水事務局長は、「今回は、前年5月12日以来1年3ヵ月振りの会議である。年1回ではなく2回は開催したいところだが、なかなか会員の皆さんの日程調整がつかなかった」と挨拶。続いて2018年度の収支決算報告があり、全員異議なく承認されました。さらに志水事務局長から「本年は役員改選期に当たっているが、全員留任としたい」との提案があり、了承されました。また、西恵司会長(大阪府議会議員)から、「現在、副会長を務めている東大阪市議会議員の上野欽示氏は、今期で引退されるということなので、9月いっぱいで、次の方に代わってもらってはどうか」との提案があったが、志水事務局長から「役員で相談して決めたい」ということで了承されました。

続いて、藤本理事長から、大学の現状について報告があり、この後、上野欽示副会長の発声で乾杯を行い、歓談に入り、情報交換を行った。

大樟会事務局長　内田敏雄(39回)

●卒業回数・卒業年 早見表

※ 70 回以降は、春学期と秋学期があります。

卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)	卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)	卒業回数	卒業年月(西暦)	卒業年月(和暦)
1	1935.3	昭和　10.3	30	1964.3	昭和　39.3	59	1993.3	平成　5.3
2	1936.3	11.3	31	1965.3	40.3	60	1994.3	6.3
3	1937.3	12.3	32	1966.3	41.3	61	1995.3	7.3
4	1938.3	13.3	33	1967.3	42.3	62	1996.3	8.3
5	1939.3	14.3	34	1968.3	43.3	63	1997.3	9.3
6	1940.3	15.3	35	1969.3	44.3	64	1998.3	10.3
7	1941.3	16.3	36	1970.3	45.3	65	1999.3	11.3
8	1941.12	16.12	37	1971.3	46.3	66	2000.3	12.3
9	1942.9	17.9	38	1972.3	47.3	67	2001.3	13.3
10	1943.9	18.9	39	1973.3	48.3	68	2002.3	14.3
11	1944.9	19.9	40	1974.3	49.3	69	2003.3	15.3
12	1945.9	20.9	41	1975.3	50.3	70	2003.9 / 2004.3	15.9 / 16.3
13	1947.3	22.3	42	1976.3	51.3	71	2004.9 / 2005.3	16.9 / 17.3
14	1948.3	23.3	43	1977.3	52.3	72	2005.9 / 2006.3	17.9 / 18.3
15	1949.3	24.3	44	1978.3	53.3	73	2006.9 / 2007.3	18.9 / 19.3
16	1950.3	25.3	45	1979.3	54.3	74	2007.9 / 2008.3	19.9 / 20.3
17	1951.3	26.3	46	1980.3	55.3	75	2008.9 / 2009.3	20.9 / 21.3
18	1952.3	27.3	47	1981.3	56.3	76	2009.9 / 2010.3	21.9 / 22.3
19	1953.3	28.3	48	1982.3	57.3	77	2010.9 / 2011.3	22.9 / 23.3
20	1954.3	29.3	49	1983.3	58.3	78	2011.9 / 2012.3	23.9 / 24.3
21	1955.3	30.3	50	1984.3	59.3	79	2012.9 / 2013.3	24.9 / 25.3
22	1956.3	31.3	51	1985.3	60.3	80	2013.9 / 2014.3	25.9 / 26.3
23	1957.3	32.3	52	1986.3	61.3	81	2014.9 / 2015.3	26.9 / 27.3
24	1958.3	33.3	53	1987.3	62.3	82	2015.9 / 2016.3	27.9 / 28.3
25	1959.3	34.3	54	1988.3	63.3	83	2016.9 / 2017.3	28.9 / 29.3
26	1960.3	35.3	55	1989.3	平成　1.3	84	2017.9 / 2018.3	29.9 / 30.3
27	1961.3	36.3	56	1990.3	2.3	85	2018.9 / 2019.3	30.9 / 31.3
28	1962.3	37.3	57	1991.3	3.3	86	2019.9	令和 1.9
29	1963.3	38.3	58	1992.3	4.3			

23期生の集い
23期生会

毎年２月の第３日曜日を「23 期生の集い」開催の日と決めて十数年。今年も 2019 年２月 17 日（日）正午から同期生 11 名の出席のもと、大学から山下理事・総務部長、大樟会から竹中事務局参与を迎えて、本学Ｅ館７階会議室にて開催されました。

85 歳の意気盛んな会となり「年はとっても花は咲く」、「老いてこそ人生」と、老春をエンジョイしている報告が各人からありました。

予定の２時間半もアッと言う間に過ぎ、来年も元気で会おう、と固い握手を交わし、お開きとなりました。

この会が開催できますのも大樟会事務局のバックアップがあってこそと感謝申し上げます。　　幹事　志水利通（23 回）

会長および監督が交代
柔道部OB会

2019 年３月９日（土）、本学Ｅ館７階会議室において、OB 会員 14 名参加のもと、柔道部ＯＢ会総会を開催し、議案の審議および報告を行いました。事業報告、会計報告、事業計画、予算案等が審議され、いずれも承認されました。また報告事項では、会長および監督が交代、植村 亮介会長の後任には安田 太氏、安田監督の後任には桂 剛氏が選出され、承認されました。

2018 年度をもって３名が卒業・卒部、2019 年度新入部員４名、また 2018 年中に亡くなられた物故者３名の報告がありました。

総会の後、大樟ラウンジにおいて、OB 会員 14 名、現役学生 18 名が集い、歓送迎会を開催しました。

歓送迎会では、植村前会長、安田新会長、桂新監督他佐々、上地各 OB 会員からはなむけや激励の挨拶、卒業部員、新入部員の挨拶、今村主将から部員紹介のほか、永年監督を務め柔道部の発展に尽力した安田監督に萩原賞を授与、最後に万歳三唱で閉会しました。

なお、翌日出場した "第 15 回 KOBE 自他共栄カップ学生大会" では、激励に応えて、決勝で芦屋大学を破り、１年振りに優勝を果たしました。　事務局長　天野康弘（46 回）

神仙閣でOB総会開催
硬式野球部OB会

2019 年３月９日（土）神仙閣大阪店にて、2019 年度硬式野球部 OB 会総会を開催しました。

深谷事務局長の開会宣言と司会で議事進行に入る。木岡会長が議長に選出され、議事に入り、河野幹事長より 2018 年度事業報告、内海会計より会計報告、岡崎会計監査より監査報告があり、出席者全員に承認されました。

続いて、2019 年役員改選に入り、木岡会長、松崎副会長、岡本副会長の留任が、また会計に岡崎会計、会計監査に内海会計監査が決定。そして、2019 年度事業報告が河野幹事長、会計予算案が岡崎会計より説明があり原案通り承認された。

親睦会では山本監督、大村キャプテンより今シーズンにかける熱い想いを語っていただき、日々猛練習に励んでいる報告を受けました。OB 会としても、この歴史ある硬式野球部の益々の発展と現部への支援体制強化、また OB 会員の交流、親睦をより一層深めることを誓い、大場相談役の締めで幕を閉じました。　　会長　木岡良郎（36 回）

邦楽部創部55周年記念祝賀会
邦楽部OB会

2019 年６月 29 日（土）午後５時より「邦楽部創部 55 周年記念祝賀会」が JR 新大阪駅前の新大阪ワシントンホテルプラザにて開催されました。

出席人数は OB・OG15 名と現役４名の合計 19 名の小人数ではありましたが創部 55 周年をみなさんで楽しくお祝いすることができました。

祝賀会冒頭恒例の尺八演奏は OB6 名と現役４名の合計 10 名でありました。そして邦楽部創設者であり邦楽部 OB 会終身名誉会長の住田和士先輩より「邦楽部創部 100 周年記念祝賀会までみんなで頑張ろう」と力強い挨拶がありました。その後、出席者一人一人の楽しく懐かしい一言コメントがあり、最後は尺八伴奏の学歌と逍遥歌を大合唱し次回の再会を約束し閉会しました。

会長　尾上眞己（36 回）

傘寿を迎え、ますます盛ん
澱江27期会

2019 年４月 19 日(金)午前 11 時 30 分、澱江 27 期会のメンバーは、本年も大阪キタのホテルモントレー大阪に集った。開催日直前に体調不良や急用で２名の欠席者が出たが、それでも前年より１名多い６名が参加。今回は、全員が傘寿（80 歳）を迎えている。

司会は恒例となった角田喬計氏（阪南市）が務め、開会に当って鴨田博司氏（堺市）が、「毎回、神代憲治氏（尼崎市）の献身的なお世話で今回も 27 期会を開催することができたことに感謝したい」と挨拶。続いて大樟会事務局から同窓会と大学の近況が報告された。乾杯の発声は、具合が悪かった足の血管にステントを入れる手術を受け普通に歩けるようになり、７年振りに参加したという夏原拓治氏（彦根市）も元気一杯である。

懇親会は、毎回出席の角本喜八郎氏（池田市）や久し振りの出席となった永田健治氏（豊中市）も加えてスタート。学生時代の思い出話はもちろん、大学の今後のあり方や、少子高齢化に伴う厳しい経営環境をいかに乗り越えるかなど談論風発。「体育会系のクラブに頑張ってもらい、大学の知名度を上げてほしい」、「先生方にもっとマスコミに登場してもらいたい」など、各氏の "母校愛" 溢れる発言に圧倒されるほど議論は白熱した。

その後、角本氏の閉会の挨拶があり、次回は 2020 年４月 17 日（金）11 時 30 分から同じ会場で再会することを約し、記念写真を撮影してお開きとなった。

大樟会事務局長　内田　敏雄（39 回）

黒正巌本学初代学長のお墓にお参り
35期生

大阪経済大学 35 期生岡山会員８名の内７名は、桜が満開の 2019 年４月２日（火）、岡山市東区大多羅駅（岡山駅から JR 赤穂線で 15 分）すぐ近くの宝泉寺に眠る岡山県出身の黒正巌本学初代学長（昭和 24 年９月３日没、享年 54 歳）のお墓にお参りしました。駅からは徒歩が便利ですが、急な石段が長く続き危険なためタクシー（およそ５分）を利用しました。

卒業生・在校生の皆さん一度お参りしてはいかがでしょう。私たちはこれからも年に一度、この時期にお参りすることを約束しました。　　広末　修（35 回）

1969年卒業（第35回）園田ゼミ（32名）地域巡回同窓会"城崎温泉編"

園田ゼミ（樟々真情会）

平成の終わりを見届け、令和の始めを見定め、未だ経大の襟章を懐かしむ昭和の仲間戦友。5月18日、「樟々真情会」は、この日から1年が始まります。今回は、仕事の調整がつかず柴崎氏、体調の点で塩尻氏、前日奥さんが骨折で入院手術のため、小路氏の3氏が休場。しかし元気に伊住氏が参加してくれて、城崎駅に集合しました。

今回の先導役は、当ゼミ一番の駄洒落大師匠の木築氏ですが、果たしてどうなることやら?

先ずは、湯の香漂う市内を散策と思いきや、大きな樽に入った豪華なカニ散らし寿司を賞味して乾杯。全員満腹のお腹をさすりながら市内散策に向かうも、世話役の責任重圧で師匠の駄洒落も不発気味。今日の宿の料理宿"ひだまり"で、のんびりほっこりしようと、円山川沿いの宿に向かいました。露天風呂に入浴後、待望の宴席となりました。今回は、当旅館シェフの当地では有名で和洋折衷の豪華な料理を堪能しました。

食後のカラオケ後は、部屋を移し、ようやく相田氏の令和の上皇様との皇居での出会いを、楽しく聞くことができました。

50名の愛媛の団体（ボランティア）を引率して皇居の清掃整頓等を行い、当時の両陛下から「愛媛県のミカンは甘い、今年はどうか」等のお言葉を賜り、また赤坂御苑では、現在の天皇・妃殿下にもお言葉を賜りました。

名物男2人目は、毎回健康志向のレクチャーをしてくれる金井氏です。「岩盤浴」に始まり「呼吸法」、今年は「きなこ」「にんにく」の効用を理論的かつ哲学的に語りました。

3人目は、津山のアーティスト粉川氏です。教室も3カ所に増え、孫さんも3人になり絶好調でした。伊住氏の年季の入った薬の話も含蓄があり引き込まれ、皆楽しい一夜を過ごしました。

令和2年の巡回シリーズのアンカーを飾るのは、予定ぎっしりの議員手帳を見せてくれ町会議員として地域の活性化に尽力する古株氏の番で、近江商人の発祥の地近江八幡での再会を楽しみにして各々城崎を後にしました。

なお、同窓会事務局のご援助協力で、32名中17名迄連絡がとれました。私の記憶に残る50年前の青年の船「さくら丸」で台湾、香港、マカオへの海外ゼミに参加してくれた馬場君、木村君、長野君、もし澱江を読んでおられたら同窓会事務局の方へご一報ください。　　代表幹事　門永久彦（35回）

2019年度空手道部OB総会開催

空手道部OB会

OB総会を2019年（平成31年）4月21日（日）午後1時から本学50周年記念館（E館）7階第2会議室において開催しました。

平成最後となるOB総会は鈴木隆夫元OB会長、佐藤武司前本学理事長出席のもと開催。開会に先立ち坂本勝宣空手道部OB会長の挨拶があり、現役学生諸君の練習に対する責任感、自覚等に関する部員としての心構え、マナー、学生としての資質向上に関する厳しいご指導がありました。

第1号議案の、2018年度活動報告・大会成績及び会計報告について宇陀武司監督会計より報告がされ、承認されました。

第2号議案の2019年度活動計画案、会計予算案が報告され、承認されました。

第3号議案のOB会会則一部見直しについては、OB会長の任期、期限に対する提案が承認されました。

第4号議案は今後の指導体制は基本と体力作りを中心に各種大会に臨むこと、若いOB諸先輩を中心に組織を構築することが確認されました。そして宇陀監督を核に指導体制を再編、見直し、主将幹部を中心に現役諸君が自ら考えて行動することが肝心であること、意思疎通を図り、上位入賞を目指すことなど確認されました。

総会終了後、大樟ラウンジでの懇親会に移りました。OBと孫のような現役が一緒になって歓談し、和やかな楽しいひと時になりました。

懇親会でも、部員確保の話題が中心となりました。また、今秋の10月に開催される第62回関西学生空手道選手権大会に一部昇格を目指すため、夏の合宿から体力づくり、強化練習を行い、二部上位入賞を目指して頑張るとの決意を確認しました。最後に学歌を全員で斉唱してお開きとなりました。

幹事長　與世田正雄（34回）

「澱江」購読料のお願い

「自らの購読料で『澱江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。
お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。

新部長に若吉人間科学部長

ラグビー部OB会

2019年6月23日（日）、本学E館7階会議室にてラグビー部OB総会が開催されました。今年度は部員との交流が目的で、部員が井高野Gでの練習後、リーダーおよび新入部員計8名が懇親会時に合流しました。

昨年はNZ短期留学希望者を募ったが、今年度の支援は部員が理解しやすい内容を推奨することになりました。一昨年から継続している「教育振興募金」は13名から83万円の寄付金が集まりました。

今年度から人間科学部長の若吉教授がラグビー部の新部長に就任され、副部長は学生部斉藤部長が代行していただくことになりました。

懇親会も盛況で、最後は常深俊昭（23回卒）の締め挨拶と全員で学歌斉唱して閉会となりました。　　幹事長　森岡良介（45回）

令和元年経翔会総会の記

経翔会（WVOB会）

2019年（令和元年）経翔会総会は、6月15日（土）から16日（日）にかけ、岡山県苫田温泉にて開催されました。参加者は例年よりやや多く、47名でした。

15日午後3時30分総会開始。牧田会長の挨拶の後、レジュメに従って1年間の活動報告、続いて下村副会長より会計報告がなされ、それぞれ満場一致で承認されました。

次の役員交代の議題では、次期会長に片岡康平君（37回）が現会長より指名され、これも満場一致で承認されました。

その他、現役部員の現状説明があり、OB会としての支援方法等について議論したが、結論には至りませんでした。その後、全員で記念撮影を行い、国西先輩（29回）の乾杯の音頭で懇親会に入りました。約2時間30分のカラオケもあり、大盛会の懇親会となりました。一本締めの後、各人部屋に戻り、二次会に興じた様です。

翌朝7時起床、8時朝食　9時30分現地にて解散。来年の再会を誓い、今回の総会も無事終了しました。　牧田征雄（31回）

（順不同）

現役と交流を図る創部60周年記念式典・新入生歓迎会

アイススケート部OB会

1959年（昭和34年）創部のアイススケート部が、今年60周年を迎え、6月15日（土）新入生歓迎会を兼ねて記念式典と懇親会が本学E館7階で盛大に開催された。

出席者はアイススケート部OB会長の吉本雅家さん（昭和41年卒32回生）はじめOB30名、現役部員40名、来賓として本学教授細井真人先生、大樟会からは角脇忠行常務理事、大樟体育会から森友通夫副会長、体育会本部からも二人ご参加いただき総勢75名で活気ある会になりました。

式典は幹事の井田実さん（昭和47年卒、38回生）の司会で始まり、物故者への黙とうの後、吉本OB会長から60年のアイススケート部の歴史、スピード部、フィギュア部の活躍、特に世界に羽ばたいた当校職員の上村大輔さん（平成22年卒、76回生）の活躍ぶりを中心に報告された（上村さんの主な戦績 アジア大会1000m-2位、ワールドカップアメリカ大会1000m-5位）。

来賓の細井先生からは、学長が徳永光俊先生から山本俊一郎先生に交代、スポーツ文化センターが創設され、課外活動の支援を積極的に推進していく。また、日本のスケート競技を活発にする目的で、日本氷上スポーツ学会が今年、創設されたことなどを説明された。

次いで大樟会角脇常務理事から、卒業生は99,000人を超え、10万人に到達が間近、また女子学生が25%を占めるようになった。この6月末には沖縄支部が誕生、大樟会も56支部に増加、北海道から沖縄まで日本全国に支部が存在する学校になった。大樟体育会の森友副会長からは、自身が所属しているハンドボール部でも日本学生選手権に毎年出場しているが3位が最高、日本学生で総合優勝したスケート部は凄いとお褒めの言葉をいただいた。

次に梶村貞男（昭和46年卒、37回生）副会長から平成30年度の事業報告、決算報告があり、最後に60年の歴史で際立った成績を上げた選手の紹介をした。

式典の締めくくりは、山口正憲OB会顧問の来賓等出席者への感謝と今後の70周年につなぐ呼びかけで閉会した。

続いて新入生歓迎会に入りました。部長の細井先生から新入生に熱烈歓迎の挨拶があった後、スピード部監督恩田慎太郎さん（平成19年卒、73回生）、フィギュア部監督桜井修吾さん（昭和56年卒、47回生）から選手への激励のメッセージと上級生達の紹介がなされた。最後に本日の主役、新入生15名が前に出て正面のアイススケート部部旗をバックに整列。スピード部門は森永晃季主将が、フィギュア部門は嘉祥美佑主将が一人ずつ丁寧に紹介。新鮮な空気が漂った。

懇親会に入り、日本スケート連盟の理事でもあった高橋一さん（昭和49年卒、40回生）の挨拶の中で、自身が計画立案したスケートリンクが泉佐野市で今年12月オープン、日本のナショナルセンターとして期待されている旨の説明があった。

乾杯の発声は渡久地政英OB会顧問（昭和44年卒、35回生）で、いつも通りの元気ある発声で会場を一気に和気あいあいとなり、静寂なムードは一転した。

宴半ば、世界で活躍した上村大輔さん、2011年インカレ総合優勝した時のエース吉川政志さん(平成26年卒、80回生)から「こなすだけの練習から奮起しなかったら今の僕はない」など当時の思い出を話していただいた。

最後に学歌、逍遥歌の斉唱があり、体育会本部のリードで全員がさわやかに歌い終えた。中締めは名誉OB会長の西岡興治さん（昭和38年卒、29回生）の大阪締めでお開きとなった。　副会長　梶村貞男（37回）

総会を開催 山本新学長が祝辞

グリークラブOB会

2019年6月15日（土）本学学生会館2階にてグリークラブOB会総会ならびに親睦会が行われました。親睦会では、来賓として山本俊一郎学長と田村正晴大樟会会長にご出席いただき、ご祝辞をいただきました。

その後、20代から70代までの幅広い年代のOBが、新旧編曲の違う学歌の歌い比べをしたり、愛唱歌を歌ったりしてグリークラブの歴史と伝統が感じられる親睦会になりました。後半、現役も参加し若い歌声とともに大いに盛り上がりました。最後に逍遥歌や経大グリークラブエールを歌い「経大グリーとして大切に歌い続けてほしい」と現役にエールを送り、会を終わりました。

来年は、もっと多くのOBの参加を期待しています。　会長　八尾英規（43回）

鈴木亨先生百壽お祝い

この度、元本学理事長兼学長の鈴木亨先生が令和元年7月22日で満100歳をお迎えになられました。

8月25日に長岡京市にあるご自宅にお祝いの記念品（金の漆の夫婦箸）とメロンをお持ちし、お祝いの言葉を申し上げました。先生はご承知の様に京都大学で西田哲学を継承され「存在者逆接空」なる根本原理を提唱された日本を代表する哲学者でございます。

小生は昭和45年から2年間経済哲学のゼミナールで先生の薫陶を受けました。当時は70年安保華やかなりし時で非常事態の中、先生はキルケゴールにおける実存哲学とマルクスの弁証法的唯物論の双方に真理性があると提唱され、これを統合された世界観「響存的世界」を学生に得々と諭されておられた姿を思い出します。小生はカトリックの立場で先生のお考えに深い感銘を受け、結婚の相談等公私にわたり生涯の師と仰いでまいりました。現在、学生時代に置き忘れた「人生の課題」を探求すべく明治大学大学院で西田哲学を始めハイデガーを学んでおります。

左から柳橋、楠、鈴木亨先生、喜多先生

今回のお祝いは今春「宗教哲学会」で先生の理論『鈴木亨の「存在者逆接空」の哲学とその構造―「行為の哲学」の構築の可能性』を発表された喜多源典氏（関西大学講師）と鈴木ゼミの柳橋和夫氏が同行されました。

楠啓次郎（38回）
（元株式会社きんでん理事、国際事業本部長）

同窓会ホームページもご覧ください！

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、ホームページを作成しています。年間行事予定などの掲示のほか、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。ご活用いただき、ご意見ご感想をお寄せください。

ホームページアドレス　http://www.osaka-ue-denko.com/

来年(2020年)は「喜寿の年」77人集まりましょう !!

32期同期会

第 11 回 32 期同期会は、2019 年 11 月 3 日（日・祝）の大樟会総会当日、今回は場所を変え D 館最上階 8 階 80 周年記念ホールで開催されました。

今回は例年になく少ない 26 人の集まりとなりました。当初、出欠葉書の返事では 32 人の出席予定でしたが、当日、体調不良などで 6 人が欠席。最初に黙祷を捧げ（1 年間で 3 人が永眠）、初出席者 3 人の自己紹介、久方振りに全員による自己紹介と近況報告で盛り上げを図りました。

最後は永年、税理士として活躍され 82 歳を迎えた植村祐三氏の著書出版のお話をお聞きました。今回の出版の目的は、①広島における被爆体験により平和への願い込めた語り部としての役割を担うため　②中小企業の皆さんのご愛顧に対し感謝の意を表すため　③税理士をめざす方々に情報を提供するため、以上 3 項目について綴った著作です。

来年、我々が迎える「喜寿の年」への計画に対するご協力、特に動員をお願いして散会しました。これから 1 年間皆さんと知恵を絞って思い出となる素晴らしい会にしたいと思います。

来年は東京オリンピックの年、32 期生の皆さん、健康管理に気をつけ、万全の体調で、元気に集まりましょう!!

日時：2020 年 11 月 3 日（火・祝）2 時ごろ

場所：大阪経済大学　D 館 8 階　80 周年記念ホール（予定）

世話役　竹中　亨（32 回）

第9回とりあえず34期会開催報告

とりあえず34期会

今年も楽しい、お待ちかねの「とりあえず 34 期会」、18 名が来てくれました。会長の開催の言葉に始まり、同期の藤本理事長から本学の方針説明がありました。その関連で二部制の廃止に関する質問があり、「私が理事長である間は絶対に二部制はなくしません。一人でも受験生がある限り受け入れ、誇りある経大生として教育し、立派に卒業してもらいます」とのこと。それが我々の責務であり、大阪経済大学の校是「道理は天地を貫く」に通じると思う。34 期生一同から、「賛成、頑張れ」のエール有り。

今回、ビッグニュースがありました。なんと同期の田中潤一君が世界 NO. 1 になりました。「28. 09. 2019. ロシア、ウラジオストックマラソン」大会でハーフマラソン 70 歳以上の部で見事世界 1 位でゴールされました（本学で世界 NO. 1 は（初））。本人は本学在学中は茶道部とのこと。マラソンのきっかけは怖い奥様から、「男は元気（夜?）で留守が良い」との一言とのことです・・・。

このほか、徳川家御三家の研究内容の発表が和歌山からの参加者からありました。そして、やはり健康のこと、ご両親の介護のこと等々、皆さん元気一杯で終活と闘っている姿を互いに確認しつつ、学歌、逍遥歌、万歳三唱後、また来年「とりあえず」で会いましょう。で散会。

世話人　廣野義直（34 回）

創部50周年記念式典を開催

少林寺拳法部OB樟拳会

合掌

2019 年 11 月 16 日(土)80 周年記念ホールにおいて、少林寺拳法部創部 50 周年式典を大樟会会長田村正晴様はじめ大学関係者の皆様、また関西学生少林寺拳法 OB 連盟、同友会役員の皆様のご臨席を賜り開催いたしました。

この日を迎えるまでの半世紀の道のりは、まさしく山あり谷ありの連続でした。部の存亡の危機もありましたが、関係各位の皆様のご支援、ご協力を賜り無事 50 周年記念式典を迎えられたことを心より感謝する次第であります。

今回の記念式典では学内の他部（体育会本部、CBS 文化放送局、チアリーダー部）の皆様にもご協力いただき、だんじり囃子に始まりオペラ歌手の祝歌、OB の懐かしい現役時代の合宿風景のスライドショー、現役学生の演武等バラエティに富んだ内容で、当日参加いただいた OB の皆様に大変喜んでいただけました。

少林寺拳法部は、昭和 42 年 10 月 25 日に愛好会として発足しました。武道部では後発のスタートで、厳しい環境のなか発足から 4 年で昇格することができ、今日まで先輩方の築き上げてきた少林寺拳法部の歴史を継続できたことに安堵するところです。

少林寺拳法は、「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」という理念のもと、信念を持って行動できる、リーダーシップのとれる人を一人でも多く育てる「人づくりの行」であります。

これからも大阪経済大学少林寺拳法部を通して社会に役立つ人が多く育っていくことを切に願っております。

結手

副会長　有住卓三（40 回）

出版のご案内

「花から学ぶ生きるヒント」

川口正義著

大樟会常務理事で大学院大樟会代表を務められた川口正義氏(41 回)が、このほど上記の本を出版されました。

四季それぞれの植物を取り上げ、その花の特徴、その花の名称にまつわる謂(いわ)れからエピソードも交えて氏の博学ぶりがうかがえる興味ある一冊です。

氏は、出版にあたり「若い人たちと接していて思うことがある。世の中には、うまくいかないことがたくさんある。そんなとき、愚かな行いに走ったり、自分自身を傷つける人がでてくる。でも、ある人は空の雲をみて立ち直り、別の人は花をみて回復していく。自然というのは、人に立ち直る力を与えてくれているのではないか」と述べています。

是非、一度手に取ってお読みください。

定価 1,600 円＋税

出版元:大阪市中央区内平野町２－３－11－202

澪標（みおつくし）

電話:06－6944－0869

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

（敬称略・順不同）

特任教授に就任しました

梅原　英治

2018年3月に定年退職し、同4月から特任教授に就任しました。講義（財政学）やゼミは現役時代と変わらず担当していますが、大学運営の仕事から解放されたので、教育と研究に専念できるようになりました。ゼミは学生達が楽しく運営してくれています。大学院では相変わらず税理士養成コースで租税論を担当し、19年3月に4人の院生が修士論文を完成させ卒業しました。修論完成前の1月中旬にインフルエンザにかかり、最後は大変でしたが、院生たちも頑張ってくれました。研究面では経済誌などに論文や書評をいろいろ発表しています。2021年3月の任期満了まで頑張ります。（経済学部教授）

今年度の教育と研究

杉本　俊介

ゼミは二期生が卒業し、三期生から五期生まで58人でビジネス倫理を中心に勉強しています。4年生は卒業論文の執筆に取り組んでいます。2、3年生は富士ゼロックスの人材育成「志プロジェクト」などに参加しています。教育者として彼らの学びをサポートできればと思います。研究者としては今年、米国ボストンで同時開催された経営学会とビジネス倫理学会に参加したり、台湾の国立中正大学で講演をしたり、世界に通じる研究を目指しています。また、『メタ倫理学の最前線』（勁草書房、2019年）など学術書から、『週刊ダイヤモンド』や『現代思想』など一般書まで、幅広い媒体を通して研究成果を社会に発信できればと考えています。（経営学部准教授）

4期生　結婚第１号

鵜飼　奈津子

卒業して、就職や大学院進学など、それぞれの道を歩んでいる皆さんですが、この度、ゼミ4期生の結婚第1号生が誕生しました。お祝いには、全員参加というわけにはいきませんでしたが、皆、大学生に戻った気分で、それぞれの思いを胸に、お祝いをすることができたと思います。

2019年度は、ゼミの8期生を迎えました。これからも、人生の節目には、こうして大学時代の友人と出会い、思い出とともにこれからの将来のことについても話し合えるような関係が続けられる、今後もそのようなゼミであり続けたいと思っています。（人間科学部教授）

研究成果を教育活動に活かすこと

相原　正道

相原ゼミは、主体性、協調性、競争性を柱にしております。今年のゼミ生は、大阪府における副首都構想や大阪市のIR推進局が主催する関西の研究発表会に参加し、大阪におけるスポーツ政策を研究しております。また、全国の大学が参加する笹川スポーツ財団主催のSports Policy for Japanに参加し、優勝を目指しております。これまでの最高順位は準優勝でした。今度こそはと精進を重ねております。

常日頃、研究を縦軸に、教育を横軸に捉え、私自身の研究成果を学生への教育活動に活かすことを心掛けております。そのため、研究という縦軸が伸びれば伸びるほど、教育という横軸を幅広くでき、三角形の面積がさらに広がっていくイメージで研究・教育を実践しています。

（人間科学部教授）

伊藤ゼミOBの皆様

伊藤　大一

こんにちは。卒業生のみんなは各地で活躍していると思います。私は、2016年9月にアメリカより帰国して3年が経ちました。この間、次女柚香（ユズカ）がうまれ、長女文音（アヤネ）は5歳になりました。私は、子育てに、教育に、研究に奮闘（ふりまわされて?）しています。

本学に来て、私も10年をこえ、中堅の教員になってきました。最初の卒業生達も30歳になり、結婚し、子どもが生まれたという連絡が来るようになりました。気がつけば、子どもの同級生の父親、母親達は、最初の教え子達と重なる年齢です。びっくりするばかりです。また、ホームカミングデーなどで皆と会える日を楽しみにしています。

（経済学部准教授）

グローバルビジネスを学ぼう

張　又心バーバラ

2019年度の秋学期に新たに20名の2年生を受け入れました。バーバラゼミの7期生になります。ますます大家族になってきました。いつか卒業生たちも招いてOB・OG会をやりたいですね!

今年度の夏合宿はベトナムのホーチミンで行いました。3年生の10名および4年生6名が参加しました。「小売業と外食産業の海外事業展開」を調査テーマとして、ゼミ生たちがベトナムに展開している日本の飲食店やショッピングモールのフィールドワークを行いました。また、街の中でベトナム人を対象にベトナム語のアンケート調査を実施しました。日本のサービス企業のグローバルビジネス戦略について深く考えることができました。

これから世界に活躍できるグローバル人材になるためには、語学力ももちろん重要ですが、実際にフィールドに出かけ、様々な国の人たちとの出会い、異文化を体験することも、とっても大事です。今後も一緒にフィールドワークを通じてグローバルビジネスについて学んでいきましょう。

（経営学部准教授）

フィールドワークを大切に

團　康晃

2017年度に本学に赴任し、もうすぐ3年が経つ。私は常勤として大学に勤めるのは本学がはじめてで、毎日が試行錯誤の連続だ。

ゼミでは、フィールドで実際に見て考えることを大切にしている。昨年の専門演習では、東京で路上観察のフィールドワークに行って冊子にまとめた。さらに今年度の専門演習では前年度の取り組みを発展させ、冊子を作るだけではなく文学フリマというイベントで冊子の頒布を行った。学生たちは自らの制作物を他人に手にとってもらえることの嬉しさを経験できたように思う。

私自身、学生の日々の学びに刺激を受けている。これからも研究で研鑽を積みつつ、刺激的なゼミ運営・講義ができるよう、引き続き努力していきたい。（人間科学部講師）

行政法学の魅力を伝えたい

福島　卓哉

2018年10月に赴任いたしました福島卓哉です。行政法を専門にしております。

行政法という無味乾燥とも評される（評されてきた）学問ではありますが、その学術的な色彩の濃さに魅了されつつ、これまで研究を進めてきました。

他方で、最近では、学生に（単なる公務員試験の一科目ではない）行政法学の魅力を伝える工夫をこらす必要を感じており、とくに政策法学との関係に注目しています。

演習では、これまで、入門書を用いて、行政法の基礎概念について、質疑応答を交えつつ、双方向の講義を試みてきました。今後も、学生の主体的な参加を重んじつつ、双方にとって実りある時間となるよう、努力していきたいと思います。（経営学部講師）

ぜひ、授業見学に。

城　達也

最近の学生さんたちは一昔前と違って授業によく出席します。平成初めくらいからですかね。しかし授業に興味を持つかというと、これがなかなか難しい。勉学意欲の問題というよりも、私は教員の伝える授業内容と学生の求める知識とのギャップだと考えます。

お忙しいでしょうが、是非一度、平日の昼間に母校に来て、ご遠慮なく授業に出てみてください。活気のあるクラスとともに、空気が凍りついた教室もあるでしょう。

いま学生時代を思い出して、この授業はよかった、あの授業はあまり役立たない、こういう授業があればよかったなど、率直なご意見をお聞かせいただければ助かります。

なお写真は最近の教室風景の一部です。（人間科学部教授）

後ろから詰まる。前は溝ができる。

教育と研究が両立するゼミ運営を目指して

芳賀　麻誉美

芳賀ゼミナールでは、「所属する学生と指導教員による価値共創」を目標に掲げ、活動を行っています。学生は教育の受給者であるのと同時に、大学という研究組織の大事な一員でもあります。ゼミ活動は学生の課題発見力、問題解決能力、論理的思考力等を高める「教育」であるのと同時に、学術研究を生み出し社会に還元する「研究活動」となることが理想だと考えています。本年度は、他大学ゼミとの交流会をしたほか、所属学生のうち6名4件の学会発表を行いました。来年度は所属学生全員が学会発表を行い、そのいくつかが学術論文として投稿できるレベルになるように指導して、最終的に教育と研究を両立する年間カリキュラムの作成を目指したいと考えています。（経営学部准教授）

夏休みのストーリー

北市　記子

秋学期の授業開始早々、ゼミの時間を利用して、3年生向けの就職ガイダンスが行われました。年々就職活動が早期化しており、3年生もその準備でこれから緊張感が増していくことでしょう。夏休みはそんな彼らにとって、“学生らしい”楽しい思い出をつくる貴重な時間となったようです。後日ゼミで近況報告をしてもらったところ、趣味のアウトドアに出かけたり、北海道一周の旅をしたり、インターンシップに参加したり、表現活動に打ち込んだり…といった様々なストーリーと出会うことができました。こうした経験を糧として、これから自身の未来を逞しく切り拓いていってほしいと願っています。（人間科学部准教授）

2018年度も1名の入賞者が出ました！

小川　貴之

皆様、お元気ですか。2018年度は学生奨学論文において、藤岡拓也さんが「ふるさと納税の要因分析」で佳作を受賞されました。ふるさと納税によって自治体が得る納税額は返礼品の有無にのみ依存すると思われがちですが、税の使途を市民が選択できる自治体か否かなども納税額の重要な決定要因であることを、データを用いた回帰分析によって明らかにされました。納税者は目先の利益のみで納税先を決めている訳じゃないってことですね!

（http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/thesis/）

2018年度の卒業生は男ばかりで大変楽しかったです。旅行に行けばお土産を買ってきてくれたり、非常に気の良いヤツラばかりで幸せでした。

（経済学部教授）

2018 年度卒業生と卒業式にて

お世話になった先生からのお元気なお便り

（敬称略・順不同）

未来の食糧危機

久保田　淳

退職後13年を経て、今や後期超高齢者とやらになりました。今でも少しづつ天文をやっています。宇宙の涯とか小惑星への着陸とか派出な話は山ほどありますが、私の天文は全く地味なものです。この10年ほどの間に、太陽面に現れる黒点の数が極度に少なくなりました。私の予想では、今から二百五十年前の黒点数超極少期に近づきつつある様に思えます。この超極少期には世界的な寒冷化で、日本では天明・天保の大飢饉の時にあたり、食糧不足で多くの餓死者を出しました。現在の温暖化も異常ですが、それに続く大寒冷化があるかも知れません。食糧自給率の低いわが国は、この大寒冷期にどう対処したらよいのでしょう。自然を甘く見てはなりません。

ご挨拶とご案内

山本　恒人

私も大変失礼ながら、終活の一環としていよいよ年賀状を年々削減し、全廃に向かっています。「山本恒人（中国経済論）ゼミ同窓会」は、大樟会総会の日に、元気でいる限りは開催しますので、覗いてみてください。

研究は「生涯」ですので、論文など書き物は定年退職以降の最多の年になりそうで、秋には千葉まで講演に出かけます。指定されたテーマは「建国70周年；中国は何を目指そうとしているのか」。皆さんの関心事でもありますよね。

「定年が見えてきました」と、第1期ゼミ・紅顔の美少年の言葉にびっくり。みなさん、どうか健康に留意し、長い人生楽しんでください。

精神の時代区分

六浦　英文

ゲーテは人類の歴史を、①詩の時代、②神学の時代、③哲学の時代、④散文の時代という四つの時期に分けて、考察している。ゲーテ自身は③に属し、④について暗い未来を予見していた。

④は「乏しき時代」（ヘルダーリーン）であり、神が「死んだ」（ニーチェ）時代であり、「価値崩壊」（H・ブロッホ）の時代であり、「中心の喪失」（ゼードルマイアー）した時代である。

実際、二十世紀は戦争と革命の嵐に翻弄された世紀であった。

二十一世紀はテロが横行し、民主主義を認めない独裁政権が、人民を弾圧し、世界の覇権を握ろうとしている、と言われる。

今、ゲーテが生きていたら、どう思うだろうか。

ほろ苦い思い出

藤本　周一

小生、在職中のあるとき、顔見知りの一人の学生が、自分の友人という学生を伴って、小生に相談に来ました。当の学生は、当時、「サラ金」での借金がかさんでいて、「両親に苦境を打ち明ければ、即退学だ」と言い、大学の所管部署に相談するにも、すぐ両親に知られると言って、ひどく怯えていました。そんな友人を連れてきた学生は、自分の定期預金を解約して助けてやりたいものの、それだけではカバーできないので、小生に支援を求めてきたのです。問題の切迫性から、小生、対応を余儀なくされました。結果として、当の学生は何とか卒業してくれましたが、貸借上の後始末にさらに腐心を強いられました。数十年を経た今でも、ほろ苦い思いと当時の状況が錯綜します。

みんな、元気ですか？

渡邉　泉

卒業生の皆さん変わりはありませんか。私のゼミ第1期生の諸君は、もう還暦も半ばを過ぎました。一緒にゼミ合宿やゼミ旅行に行ったときのことが懐かしく想い出されます。人生泡沫(うたかた)、あっという間です。私の方は、何とかやっています。先年、『会計学の誕生』（岩波新書、2017）を上梓し、そこで書き残した思いを『会計学者の責任』（森山書店、2019）で書き綴りました。前著の中国語訳が出版され、後著の訳も進行中です。どんな本になるのか楽しみです。さて、次は何をなすべきか、じっくりと考えることにします。そろそろ総決算、いいヒントが見つかればよいのですが。また昔に戻って、皆と会いたいものです。

ゼミ卒業生とのバンド活動

松岡　憲司

一番左のベースが筆者

松岡ゼミ卒業生の皆さま、ご無沙汰しております。お元気で活躍されていることと存じます。私、2019年3月に大学を定年退職しました。経大の前後の大学を合わせ、39年間の大学教員生活でした。

さて私、5年ほど前からロックバンドで演奏しております。そのバンドのリードギターとして、経大ゼミ1期生の西尾利弘さんに入ってもらっております。元々高齢者ばかりのバンドで、リードギターが不在でしたが、経大時代に軽音で活躍していた西尾さんに無理をお願いしてバンドに入ってもらいました。

その縁で今年の4月には、第1期ゼミ生が私の退職慰労会も開いてくれました。他の期のゼミ生にもまたどこかでお目にかかれたらと思います。

久しぶりの同期会

松原　和男

1979年卒のゼミ生諸君が、この秋、久しぶりに同期会を別府温泉で開きます。今年は、卒業後40年という節目の年に当たりますので、私も健康が許せば、ぜひ参加したいと思っています。自営業などの人を除けば、ほとんどの人が、再就職したり、悠々自適の生活をしているようです。どんな話が聞けるか楽しみです。

私の持病となった心臓病、とくに不整脈はときどき起きます。国立循環器病研究センターの不整脈の専門医からカテーテル・アブレーションは高齢者だからやめて、しばらくの間、薬で様子をみると言われたのはショックでした。ただ、今のところ、何とかやっていますので、同期会には参加したいと思っています。

与えられた人生の日々を有意義に

古宮　昇

ぼくは去年（2019年）の秋、大阪経済大学を退職しました。人生の大きな危険を冒すチャレンジでしたが、自分が本当にしたい心理カウンセリングおよび心理学のセミナーをメインに自営業をすることを選びました。来談者の方が、長年の心の重荷を解消して愛と感動の涙を流し、幸せになっていくのを目の当たりにしたり、ぼくのセミナー受講者の方々がどんどん望みをかなえて幸せになっている、たくさんのありがたい経験をさせていただいています。みなさんも、与えられた人生の日々を大切に有意義に過ごしてください。

朗読劇に思う

稲場　紀久雄

20年余り前のことだが、私はそれまでの5年余り、教養ゼミで毎年大樟祭の時に「環境劇場」を催し、ゼミ生創作の寸劇を上演していた。2019年5月23日憲政記念館で「水循環基本法を“動かす”シンポジウム」を開催し、朗読劇「“春の小川”を取り戻そう!」を上演した。何故か環境劇場を思い出し、無性にシナリオが書きたくなったのだ。朗読劇は、稽古時間が取れない場合、適切な方法だ。上演してみて、かなりの手応えがあった。後日、ある役をやった社長さんは、「芝居は、経営に役立ちますね。社員が好き勝手にやれば、目茶苦茶になる。社員研修会で話しましたよ」と言った。出演者間に何故か仲間意識が芽生えた。

2019年度パソコン教室を終えて

「Action」
思いを行動に移すということ

パソコン教室は学生が運営し、同窓会員並びに後援会員の皆様にパソコンの知識を提供する場であり、現在の大阪経済大学の現状を知っていただく場でもあります。この行事を通して少しでも皆様にパソコンの魅力を伝え、今の大経大の姿をお見せすることができたのであれば幸いです。

2019年度のパソコン教室では、受講者の皆様・学生スタッフ全員でパソコン教室を通して新たな行動を起こしていこうという思いを込め、「Action」というテーマにさせていただきました。私がパソコン教室に参加するのは今回で3回目だったのですが、初参加のきっかけになったのはエレベーターの中に貼られた小さなポスターでした。参加してみたいと思いポスターを写真に撮ったものの、「本当に自分にスタッフが務まるのだろうか？」という不安から、応募すると決めるまで数日かかりました。3年前のその決断が今年度運営スタッフの一員として参加することに繋がっていると考えると、改めて「気持ちに素直になって行動してみる」ということの大切さを実感します。

パソコン教室に参加したいという思いをもって応募してきてくれた学生スタッフはもちろん、大学・同窓会関係者、同窓会員、後援会員、その他の皆様の協力があったからこそ、無事にパソコン教室を終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。

私自身もパソコン教室を通して様々な経験をさせていただきました。パソコン教室で得られた経験や知識は必ず将来の糧になると思いますし、このような経験をさせてくれたパソコン教室に感謝しています。

来年度以降もより良いパソコン教室の開催ができるようスタッフ一同頑張りますので、是非、来年度もご参加いただけると幸いです。

本当にありがとうございました。

2019年度　大経大パソコン教室
学生実行委員会副委員長　小河駿太

魚歌水心

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長
喜多（きた）　肇一（せいいち）氏（48回）

2019年6月21日、喜多さんは、大手電設資材商社首位の因幡電機産業（東証1部）代表取締役社長に就任した。同年8月末、大阪市西区立売堀の同社本社に喜多さんを訪ねた。

社長ご就任おめでとうございます。少しは落ち着かれましたか?「いや～、まだまだですね。時間が足りません」と喜多さん。連結決算で年間売り上げが2,800億円に迫る規模の会社である。取引先も半端な数ではない。新聞等で同社の社長人事が発表されると、当然、新社長の出身学校も掲載される。「取引先の会社に挨拶回りをしていると、喜多さんは大経大の出身だそうですね。私も大経大の出身です、と何度か言われましたよ」と、笑みをこぼされた。本学も来年には卒業生が10万人を超えるのだからもっともな話である。「当社は本年も2～3名の大経大の卒業生を採用しています。結構な数の卒業生がいますよ。関西発祥の会社ですので地元の大学が多いのですが、最近は東京の大学からの採用も増えています」とのこと。

2018年度の決算は過去最高の業績となったそうですね。「はい。首都圏では再開発や2020年の東京オリンピックに向けた建設関連の需要の高まりが続いていますし、関西でも再開発やインバウンド絡みの案件を受注できています」。会社の規模拡大に伴って組織改革も行ったとか?「時代の変化に対応するため、本年度（2019年度）から電材、電設、産機、電工の4カンパニー制を敷いて、それを統括する営業戦略本部を新たに設けました。それぞれのトップに権限委譲して、迅速な意思決定ができるようにしました」。それだけに各カンパニーのトップは責任重大である。「そうですね。執行役員は当社をいったん退職してカンパニーの経営にあたりますが、本体に戻ることができない片道切符です。業績が悪ければ責任をとってもらわなければなりません」と。常に笑みを絶やさない喜多さんの口から厳しい言葉も…。

現在、業績好調であるが、東京オリンピック後が心配なのでは?「東京オリンピック関連の需要は今期一杯で一旦終わり、その後、しばらく踊り場となるでしょう。しかし、2021年度には首都圏で他の再開発案件が動き出します。確かに東京のファクターは大きいですが、それ以外の都市部でもいろいろな仕事をいただいています。大阪でも少し先ですがうめきた2期の再開発や万博、IR（統合型リゾート）関連の需要が出てきますし、名古屋、広島、福岡などでも再開発計画があります。それに伴う電設資材関係の需要はあると見ています」と自信をのぞかせる。

同社のロゴマークは「欠ける月」である。その意味するところは?「会社は満月になってはいけないということです。つねに欠けた部分を持ち続けよという意味です。この欠けた部分を埋めようとする姿勢が、時代に対応しながら変化することであり、それが持続的な成長につながるものと考えています」と。

少子化が進み、今後、経営が厳しくなる大学が増えることが予想されることについて喜多さんのご意見は?「やはり特色のある大学づくりが必要でしょうね。私がすごいなと思うのは、秋田県に設立された『国際教養大学（AIU）』という公立大学です。東大よりもAIUに行きたいという学生が多いそうです。人材育成力や就職力の評価も極めて高い。入学すると授業は英語で、最低1年間の海外留学が義務化されるということです。在学中は勉強に専念させますが、4年間のストレートで卒業する学生は少数派といいます。企業は入社してから教育して人材を育てるのではなく即戦力を必要としているということですね」。

喜多さんの座右の銘は「魚歌水心（ぎょかすいしん）」である。これは吉川英治の小説「宮本武蔵」の最終章の題である。そしてこの長編小説はこんな言葉で結ばれている。「波騒（なみざい）は世の常である。波にまかせて、泳ぎ上手に、雑魚（ざこ）は歌い雑魚は踊る。けれど、誰か知ろう、百尺下の水の心を。水のふかさを」。これは、周囲にはいろいろ言う人がいるが、物事の真実をわかって言っているのかということですかね、と解説していただいた。この物語を読んだとき、この言葉の持つ深い意味に感動したという。　（聞き手=事務局長・内田敏雄）

略歴　1959年8月19日生まれ。60歳。兵庫県立川西緑台高等学校卒業、1982年本学経済学部卒業、同年、因幡電機産業㈱入社、2011年同社取締役、2019年6月21日同社代表取締役社長。自宅は兵庫県川西市。

スペインの巡礼の路800kmを踏破

元広陵高校（広島）教諭
和木（わき）　憲一（けんいち）氏（38回）

和木氏は50歳ごろから教務部長として学校改革と取組み、仕事の上では重責を負わされるもやりがいのある仕事として充実した毎日を送っていた。

一方で、家庭内ではご夫人、子どもさんの病気が相次ぎ、落ち込んでいた時、衛星放送でサンティアゴ・デ・コンポステーラの荘厳な大教会でのミサをすがる思いで見たのがきっかけで、退職したら是非歩いてみたいという思いにかられていた。退職を機に2016年、取りあえず100Kmのコースにチャレンジするもあっという間に踏破し感動をしたが、800kmを完歩した参加者が歓声をあげているのを見て翌年から自分も踏破してみたいという思いが益々強くなってきた。

そこで、翌2017年5月、本格的に巡礼の道を歩くことに。日本からの参加者は10数名。サン・ジャン・ピエ・ド・ポルを出発。最高齢者は74歳。今回は250kmコースで、毎日20kmのペースで歩く。スペインとの国境ピレネー山脈を半日かけて越えたが「雄大な景色は感動の連続で一度もきついと思ったことはなかった」という。ロンセス・ヴァジェスのカール大帝とスペイン軍との戦場跡では「43年間務めた社会科の教師として、歴史の舞台に立つことができたことが感動だった」という。また、パンプローナ市では文豪ヘミングウェイの宿泊した宿にも泊ることができた。

2回目は2018年5月。今回は250kmのコース。一日25kmのペースで歩く。半径16km範囲には全く家屋がなく、日陰のない原野をひたすら歩くが「まるで天国を思わせる風景」に感動する。ブルゴスではエルシドの墓にも出会う。またブルゴスではレコンキスタ発祥の地に立ったのも世界史を教えた教師として感動の旅だったという。（※レコンキスタ=国土回復運動。これまでイスラム教に支配されていたスペインを再びカトリック教徒が奪い返した。最後に無血開城されたのが有名なアルハンブラ宮殿である）　2回目の最高齢者は83歳の男性で、最後まで歩かれた。

3回目は2019年5月。ラバナル・デル・カミーノからサンティアゴ・デ・コンポステーラまでの245km。一日20kmのペースで目的地へ向かう。昼間は暑く、夜は暖房がいるくらいの気温の変化はあったものの天候に恵まれ、森や川など緑が多く、上り下りの峠を越えてついに目的地へ到着。

色々な事情から藁をもつかむ思いではじめたこの巡礼の路を「自分の足で踏破できたことがうれしく、同行した人たちと感動の涙をしたと同時にこれから第二の人生が始まるという気持ちの切り替えができたこと、物事を前向きに考えられるようになったことが収穫であった」と克明に行程を記したアルバムを見ながら和木氏はこの800kmを振り返る。

（聞き手=広報部長・小林眞人）

MEMO　巡礼の路
サンティアゴ・デ・コンポステーラには聖ヤコブ（スペイン語でサンティアゴ）の遺骸があるとされ、ローマ、エレサレムと並んで3大巡礼地とされている。フランスから4つの道がスペインへ向かい、ナバラ州からカスティーリヤ・イ・レオン州の北部を西に横切り、ガリシア州のサンティアゴ・デ・コンポステーラへ向かう「フランス道」が主要道で、延長は約800km。約1ヵ月を要するが、幾度かに分けて踏破するケースもある。今でも年間10万人が訪れているが、長い巡礼路を歩くことは信仰だけではなく、観光やスポーツ、単なる目標達成のために歩く人もいる。この巡礼路は1993年ユネスコの世界遺産へ登録された。また、2004年には熊野古道も世界遺産に登録され、両古道は姉妹道提携を締結した。

略歴　1949年8月14日広島県大崎下島生まれ。70歳。県立三原東高校を1968年卒業。本学経済学部を1972年卒業。広島市の高校野球の名門、広陵高校の社会科教諭として赴任、教務部長を務めた。定年後65歳まで非常勤講師として勤務。在学中は日赤学生奉仕団の団長として献血運動に携わる。当時あまりにも交通事故が多発していたことから立命館大など他校と一緒になって交通遺児のための救済運動にも関わり、街頭募金を呼び掛けていた。学生寮の清風寮第8期の卒業で現在も当時の仲間との交流を続けている。

低金利時代に成長を続ける 徳島銀行（現　徳島大正銀行）

徳島大正銀行頭取
吉岡（よしおか）　宏美（ひろみ）氏（41 回）

JR徳島駅から徒歩で約15分。ひときわ目立つ10階建てのビルが徳島大正銀行の本店ビル。この地区のランドマークタワーになっている。10階の大ホールからは、徳島市内が一望でき、晴れた日には和歌山も見渡せる。今回、躍進を続ける徳島銀行（現　徳島大正銀行）の経営などについて、吉岡頭取にお話しを聞いた。

小林　現在の金融業界はどのような状況ですか。

吉岡　これだけ長期間にわたり低金利の状況が続くと、当然ながら金融機関における収益は低下します。まず、本業である貸出業務においては、貸出金利の低下により利息収入は減少します。また、有価証券の運用においても、国債などはマイナス金利の影響で利息配当金収入は減少します。金融機関の経営は厳しい時代を迎えていると思います。

私が銀行に入行した時は、定期預金の金利が7%で、貸出の金利は10%を超えており、3%の利ザヤがありました。7%で預けていると定期預金の元金は7年で2倍になりました。好景気から会社も儲かり、給与も増加していたことから、10%でも融資の申し込みがありました。預金のお客様、融資のお客様も、どんどん増えるという良き時代でした。

小林　今回、大阪に本店を置く大正銀行と合併されましたね。

吉岡　徳島銀行は、大阪へ店舗を出して50年を経過しました。50年かけて大阪地域のお客様を拡大し、それに伴って預金・貸出の取引量も増加してきました。今回、大阪の大正銀行と一緒になることで大正銀行のお客様をそのまま新しい銀行のお客様として迎えることができるようになります。

大阪でのお客様、取引量の増加は、大阪での存在感を高めることに繋がり、大阪での情報量も増加することになります。大阪、東京、徳島、四国の情報をお客様に提供し、ビジネスマッチング等に繋げることができます。また、金融機関の収益環境が厳しい中において、合併による規模の拡大は経営効率の改善にも繋がり、収益性を高めることにもなります。

小林　今は昔と比べて非常に厳しい時代になってきているということですね。

吉岡　効率化を進め、収益力を向上しなければ、競争の時代に勝っていけません。これからはそういう経営が求められるようになると思います。また、人材育成も重要です。当行は、「出る杭は伸ばす」を人材育成の方針としています。

小林　「出る杭は伸ばす」とは、どのような考え方ですか。

吉岡　簡単に言えば、「それぞれ皆さん一人ひとりがチャレンジしましょう」ということです。「こういう仕事に取り組みたい」という積極的な挑戦に対しては、銀行組織をあげて応援するということです。チャレンジをサポートする人事制度・教育体系を整備し、職員の成長を全力でバックアップしており、成功体験の積み重ねが自信に繋がり、また新しいチャレンジが生まれてきます。挑戦→成果・成功→自信→挑戦のサイクルを求めているのです。

小林　一人ひとりのチャレンジが職員と銀行の成長に繋がるということですね。

吉岡　その結果はすでに出ています。例えば職員一人あたりでいくら稼いだかという指標、つまり一人当たりの業務純益が公表されていますが、第二地方銀行40行のうち徳島銀行は断トツの1位なのです。それは職員一人ひとりが積極的にチャレンジし、そのチャレンジを銀行、まわりの役職員が支え、それを達成させるという取組をしてきた結果なのです。

小林　平成18年、専務に就任されていた時に一度お話をお伺いしていますが、そのころからさらに上を目指そうと考えられていたのですか。

吉岡　それは考えていませんでした。私たちの仕事はお客様が評価してくれます。お客様のことを思い、お客様のための仕事をしていると、徳島銀行とともに私自身も評価していただき、応援してくれます。頭取を任せていただいたことも、そういった評価・応援のお蔭だと思っています。これからもお客様のお役に立てるよう頑張ります。　（聞き手=広報部長・小林眞人）

略歴　1952 年（昭和 27 年）11 月 3 日徳島県三好市池田町生まれ。67 歳。県立池田高校では 11 人野球で甲子園優勝を果たし、全国的にも話題となった蔦監督に社会の授業を受けた。1975 年（昭和 50 年）本学経済学部を卒業。1976 年（昭和 51 年）徳島相互銀行（現徳島銀行）へ入行。高松支店長、人事部長、取締役営業企画部長、代表取締役専務を経て 2011 年（平成 23 年）6 月から代表取締役頭取に就任。今年 1 月 1 日に徳島銀行と大正銀行が合併し、徳島大正銀行が誕生。

ふるさと大分の魅力を全国発信

大分県産タレントカボスひろし
Cabooosu
幸野（ゆきの）　寛（ひろし）氏（64回）

幸野氏の実家は大分県を代表するのり生産の老舗企業で、将来は家業の経営に役立つだろうと思ってこの道に進んだのだが、30歳の時家業が倒産する。元来「他人と会って話すことが好き。他人と関わったり、自分が話すことで他人を楽しませることが好き」という特技を生かしてタレント業に転身することを決意。と言っても、ツテ、人脈、金もなく、思いついたのがホームページを作り、ツイッターなどのSNSを使って発信し続けることだった。

そのかいあって地元大分放送テレビから「大分美女図鑑」の司会者として声がかかり、その後サッカーJ1の大分トリニータの応援ラジオ番組や大分朝日放送「ハイッてます!」などマスメディアからもオファーが来るようになった。TV・ラジオのレギュラー番組、雑誌連載、CMナレーション、イベントの司会は県内各地からお呼びがかかる。テレビCMも、2015年には“ゆるキャラブーム”でパナソニックが放送した綾瀬はるかさんとのご当地CMにも大分代表として出演したほか、2016年にはNHKの「天才テレビくん」に別府地獄の鬼役で出演。2017年にはユニクロの「トライ！ヒートテック2017」にも出演した。

テレビの単発番組では限りがないが、2018年10月にはテレビ朝日の「有吉&マツコのかりそめ天国」の大分温泉レポーターとしても出演した。

また、2016年12月の週刊新潮「ご当地の星」特集で西日本代表として登場。芸名の「カボスひろし」のカボスは大分県が全国に誇る柑橘類で、クエン酸とビタミンCがたっぷりの果汁とさわやかな香りが自慢で、全国シェアの98%を大分県が占めている。竹田市はその1～2位の生産量を誇り、2012年にはその竹田大使に首藤市長より任命された。

幸野氏にはもう一つの顔がある。SNSでの活動をタレント業としてだけではなく、「Cabooosu（カボース）」という名前で企業の広報代行を始めた。現在ではお得意先は地元企業を中心に20～30社にのぼる。これまでタレントとして活動してきたネット戦略をそのまま中小企業の情報発信の代行をするという活動なのだ。中小企業では手のまわらない社外広報部としての役割を担っている。定期的にメンテナンスもこなし、基本はまじめにコツコツとの仕事ぶりが認められ、今では他社からの乗り換えもある。「取材して記事にする作業はお笑いのユニークさも入れてのノウハウは全て大阪時代、特に経大新聞部での経験が生かされている」という。

幸野氏の作品の一部を紹介すると「カボスひろし」、「カボース」でネット検索すると各ホームページが。広報代行のクライアント企業としては「鈴木養鶏場大分」、「大分終活ファイン」で検索すると見ることができる。

幸野氏にはライフワークとしてやりたいもう一つの夢がある。それは「大分の語り部」として各地の民話・歴史を集め、SNSの動画にして後世に伝えたいというのだ。その一部は「鬼八伝説大分」で、YouTube検索すると見ることができる。

幸野氏の活動理念は「人を伝え、人をつなぎ、大分をしんけん（一生懸命）に元気にします」。土日は各種イベントの司会、ウィークデーはSNSでの企業の情報発信代行と「若いうちにバリバリ働こう」という信念を実践している。幸野氏は、これまで筆者の時代には考えられなかったインターネット時代の寵児なのだ。　（聞き手=広報部長・小林眞人）

略歴　1975年8月8日大分市生まれ。44歳。大分県立大分東高校を1994年卒業。本学経済学部を1998年卒業。在学中は新聞部に在籍。これが幸野氏の将来に大きな転機をもたらすことに。土井ゼミで社会福祉関連を学ぶ。1995年阪神淡路大震災に遭遇。大学近くの下宿先である今川寮でも電話が不通になるなどの被害を受けたが、新聞部のメンバーとボランティア活動に参加する。卒業後は地元大手のホテルへ入社しフロントへ。その後、簿記2級を取得、ショッピングセンターの経理マンとして転職。

職業訓練校初の女性校長
余生は阪神球団女子応援団長

阪神タイガース米子応援団女子会長
中山（なかやま）　寿子（としこ）氏（38 回）

35歳の時、鳥取県立高等技術専門校（現在は産業人材育成センター）へ職業訓練指導員として採用され、主に簿記を教えていた。ワープロ専用機が全盛時代、まだ珍しかったパソコンをいち早く導入し、ワープロ・表計算・会計ソフト・給与計算ソフトなどを訓練に取り入れたのも特徴だ。54歳の時、公立の職業訓練校としては日本初の女性校長に抜擢された。そこで中山さんは二つの大きな改革をした。

一つ目は、学生寮があったのだが、入寮生も少なくなり、全員が通学可能範囲に居住していたこともあり、費用対効果を考えて思い切って廃止した。

二つ目は障害者訓練に特化した訓練科を新設したことである。特別支援学校の生徒は、障害者のみの環境を経て社会へ出るケースが多い。職業訓練校へ入校した場合、異なる他科の訓練生、あるいは様々な年代、多様な訓練生と交流することにより、障害者も健常者も相互理解を深めると考え、社会へ送り出すシステムを取り入れたことである。

「これまで知らなかった知的障害者の特性、その家庭環境など学ぶことが多く、自分のやりたいことは十二分に成し遂げてやりがいのあった校長時代だった」と振り返る。そしてその障害者訓練も軌道に乗ってきたので「やることはやった」という思いで59歳の時、早期退職した。

その後、請われて従業員3000人、高齢者施設や病院、保育園まで経営する鳥取県では最大規模を誇る社会福祉法人「こうほうえん」の教育研修部次長の肩書きで再就職。そこでも手腕を発揮する。当時高齢者施設等の「痰の吸引」は医療行為として看護師等にしか認められていなかったのだが、法律の改正で一定の研修を受講すれば施設で働く介護士にもその行為が認められることになり、中山さんはいち早くその研修施設になるべく、膨大な資料を作成し提出した。その甲斐あって鳥取県では初めてその研修施設として認定されたのである。1年のつもりが7年も在職し、ここでも大きな成果を残した。

左が中山さん

中山さんにはもう一つの顔がある。プロ野球阪神タイガース米子応援団女子会長である。阪神には学生時代から興味があったこともあり、トラキチの友人に誘われて入会した。現在団員は約180名。シーズン中は毎月1回バスをチャーターして甲子園に向かい、ナイターの時には帰宅が翌朝になる。「一塁スタンドで六甲おろしやヒッティングマーチを皆と熱唱し、ジェット風船を飛ばす時が最高の喜び」という。

2月の沖縄キャンプには一人で向かっていたが、来年は仲間20名と行く予定だ。毎年2月1日に甲子園の年間チケットがインターネットを通じて発売されるが、パソコンは苦手という役員もいて、昔取った杵柄で中山さんが一手に会員分を確保する。

残念ながら中山さんが女子会長になってからはまだ優勝の美酒は味わったことがない。毎年の新年会には復活の神様で有名な鳥取県南部町の赤猪岩神社へ参拝して、優勝祈願をするのだが、未だご利益がない。「シーズン初めには今年こそ! シーズン終わりには来年こそ! と願うのですが…。自分の人生を振り返ってそれなりに働いてきたので、今を楽しんでいます。できれば阪神が優勝してくれればいうことはないのですが。」と笑って話す。

（聞き手=広報部長・小林眞人）

略歴　1949 年鳥取県生まれ。70 歳。父上の転勤で小学生時代から大阪で過ごす。1968 年鶴見商業高校を卒業後、「何か資格を取れる大学へ」との父上の助言で本学経営学部へ入学。経営学部の同学年の女子学生はまだ 20 数人という時代。在学中は ESS へ入部。女子が少ないゆえに 1 年生で英語劇に出演。1 年先輩にジャパネットたかたの創業者髙田明氏もいた。在学中に商業科の教員免許取得。ご主人の転勤により 1979 年より米子市在住。紹介した役職以外に現在は米子市水道局事業審議会委員なども務めている。

高齢でもやればできる

中・長距離走愛好家
田中（たなか）　潤一（じゅんいち） 氏（34回）

年輪ピック全国大会マラソン第4位（2015年10月）、近畿マスターズ選手権1500メートル第1位（2016年6月）、第9回南部忠平杯大阪マスターズ陸上競技大会1500メートル第1位（2017年5月）、第48回全国健称マラソン京都大会5キロ第1位（2018年3月）、高槻シティハーフマラソン第3位（2019年1月）等々、いずれも70歳以上の部であるが、最近の田中さんの見事な戦績である。

そんな田中さん、本学在学中には「茶道部」に在籍していた。入部の理由については「母がお茶の先生をしていたので、その影響を受けました」とのこと。もう30年以上も前であるが、卒業後、入社した会社の機関誌に「禅と茶の湯について」という一文を投稿されている。そこには禅宗の歴史から茶の湯との関係、作法、茶道具、「侘び」「さび」に至るまで細かく説明されている。田中さんの茶道に関する造詣の深さをうかがわせる内容である。

多趣味という田中さんであるが、「茶の湯」と「マラソン」がどうも繋がらない。走ることには以前から興味があったのですか?「子供の頃、運動会ではいつも1等で何か賞品をもらってきたと母が言っていたけど学生時代は陸上部には入っていませんでした。走ることは基本的に好きではないので…」。では、なぜマラソンを?「家内が5～6年前にパソコンで堺シティマラソンを見つけて、『健康のために走ってみては』と勧められ参加しました。それまではスポーツジムでウオーキングマシーン程度はやっていましたが、室内で走っていても景色は変わらないし、味気ないと感じていました」。それで堺シティマラソンの結果は?「2千名くらい参加して10キロ走りました。60歳以上の部で2位でした。その時、69歳でした」。古希を間近に控えそれだけの成績が出せれば走るのが楽しくて仕方がないのでは?「いやいや、走っているときは本当にシンドイですよ。なんで自分は走っているのかと思います。もう止めよう。あの角を曲がったら止まろうと思いますよ。でも、まわりからガンバレ、ガンバレと言われるとガンバってしまいます」とのことだが、そこまで走ることができるのは、一般人からすると羨ましい限りである。

ウラジオストック国際マラソンで力走する田中さん（2019年9月28日）

田中さんは、ハーフマラソンでも好成績を残している。それでは、フルマラソンへの興味もあるのでは?「いえ、フルマラソンは走りません。私はスピードランナーであると自負しているのでフルマラソンであれば4時間は切りたい。そのためには30キロの練習をこなさなければなりません。それはたいへんですからハーフにしておこうということです。年をとってから始めたので無理をすると怪我をします。健康のために始めたのに、怪我をしたらどうしようもないですからね」と笑う。無理をしないことが田中さんのモットーである。でも、走ることはまだまだ続けるのでしょうね?「ええ、走ることをやめるのはハーフマラソンで2時間を超えたときです。今はまだ2時間を切っていますからね」と意欲を見せる。田中さんは決して小柄ではないが、体重は大学生の頃から55キロ程度を維持しているそうだ。肌もつやつやしていて健康そのものである。まだまだ走れそうである。

このインタビューを行った時点（2019年8月末）で、国内はもとより海外（ロシアのウラジオストック）のレースにも出場の予定がある（結果は70歳以上の部で第1位）。そして「今、2020年の東京オリンピックの聖火ランナーの大阪代表に応募しています。走る距離は200メートルと短いですが是非出場したいですね」と口元をほころばせた。

最後に、澱江の60歳代、70歳代の読者に一言。「自分でも不思議ですが、高齢になっても、やればできるということを教えられました」と。

（聞き手=事務局長・内田敏雄）

略歴　1944年7月7日生まれ。75歳。高槻高等学校卒業。1968年本学経営学部卒業。同年、丸紅エネルギー入社。現在、田中トレーディング（有）で不動産管理業を経営。自宅は大阪市淀川区。

2019年度大樟会理事会

南大阪支部と沖縄支部　2支部誕生へ
山本新学長が教学の課題を語る

2019年度大樟会理事会は、5月25日(土)午後1時からD館3階32教室で開催された。当日は、全国から122名の理事が出席した。

冒頭　物故者に対し全員で黙祷を行った後、田村正晴大樟会会長が挨拶を行った。(要旨別記)　続いて、前年度中に就任した新支部長・新部会長9名と本日出席の新理事6名が紹介された。

この後、議長に角脇忠行常務理事(34回)、副議長に田中伸治常務理事(45回)を選出して、議案の審議に入った。

第1号議案の2018年度の事業報告では、総務部関係として、2018年5月26日(土)、定例の理事会を開催した。ここでは、事業報告、決算報告、事業計画案、収支予算案、さらに大樟会の学生会員から各回理事を選出できるようにする会則改定案を上程し、すべて原案どおり承認された。

また、10月27日(土)には大樟会総会を開催、翌10月28日(日)には学内行事の都合で5月下旬から延期になっていた全国支部長会議を大阪扇町のセミナーハウスに泊り込んで実施した。宿泊を伴う全国支部長会は2015年以来3年振りのこと。その他、恒例の学生奨学論文の表彰、また本学の卒業生、後援会員等を対象としたパソコン教室も開催した。

広報部では会報誌「澱江54号」を本年1月31日発行した。今回は、特集「最近の転職事情」として、転職を経験した本学同窓生の座談会をはじめ、全国支部長会議の報告、ズームアップ経大人、そして支部だよりなど多くの同窓生の情報を掲載、51,500部を発行した。その他、年2回、大学が発行する「KEIDAI DAYS」への「同窓会だより」の掲載、同窓会のホームページの更新を随時行った。

次に、組織部では、支部総会、部会を計57回、同期会・クラブOB会を計31回開催し、その支援を積極的に行った。さらに、四国4県の現役学生の親睦会「四国友の会」を昨年7月4日に結成、計3回の懇親会を開催した。なお、2018年度中に5支部、4部会で支部長、会長の交代があった。

第2号議案では、2019年度事業計画及び収支予算について各担当部長から報告があった。総務部からは本年の大樟会総会、パソコン教室の日程が発表された。小林広報部長からは今後「澱江」の「ズームアップ経大人」に登場する候補者の推薦依頼があった。石橋組織部長からは本年6月中に堺支部から南大阪支部が、南九州支部から沖縄支部が新たに独立する予定であることが報告された。また、2018年10月28日に開催された全国支部長会議の結果を理事長、学長に説明し、大学側の対応を確認したことが報告された。また、中坪財務部長からは収支予算(案)で総会費用の大学との分担の見直しにより総会費が200万円、また、事務局員(パート)の増員により人件費が60万円、それぞれ増加する見込みであることが報告された。

第3号議案では、会則(内規)改定では、支部運営費の使途を明確にするため、「(原則として)通信費に充当するため」の文言を追加した。

以上の説明に対し、同窓生の名簿管理の充実や社会的なIT化の進展に対応した情報発信方法等について意見が出されたが、各議案はいずれも原案どおり承認された。

この後、休憩を挟み来賓を代表して藤本二郎理事長の祝辞(大学の崎田洋一常務理事代読)と4月に新学長に就任された山本俊一郎学長の講話「教学の課題と2019年度の運営基本方針」、さらに小谷融副学長による「親子で考える事業承継セミナー」の解説があった。

会長挨拶（要旨）

同窓会も変わらなくては！

大樟会会長　田村　正晴

日本の大学は変わらざるを得ず、そして確実に変わってきています。その背景には、少子化による人口減少、高齢化による社会経済の先行き不透明感といった環境の変化があります。先の総務省の発表では「15歳未満の推計人口」は1,533万人。平成元年には2,320万人でしたので、平成時代に800万人減少したことになります。同時に地方の衰退と都会への一極集中が問題になっています。

■昨年開催された「大樟会全国支部長会議」では、いくつかの支部から組織の衰退が報告され、今後の持続性が懸念されています。“過疎”や“限界集落”と称される現象は同窓会の地方組織にも当てはまる現象です。一方、都市部では年々卒業生が増加し、何千人の会員の掌握が困難な支部も見受けられ、地方とは真逆の事態となっています。

このように、環境が変り、大学も変りつつある中で、同窓会は良くも悪くも全く変わっていないのではないでしょうか。むしろ従来の枠組みに囚われた守旧派組織になっていないか。伝統と歴史を標榜するだけでは、組織の持続的発展を遂げることはもはや困難のように思われます。

■そこで、次のような課題に取り組んでまいります。

1. 構成員の増加・多様化に見合った組織運営と活動の展開

2020年に卒業生は10万人を超え（今年3月で98,800人）、しかも平成時代の卒業生が過半数に迫り、女子の占める割合も増加しています。他方、入学生の地元一極集中による地方出身者の減少といった問題もあります。変化に見合った組織運営が課題です。

2. 大学100周年に向けて、大学との関係強化

任意団体としての緩い縛りの中で、親睦が目的ならば、こんな大きな組織はいりません。同窓会は“大学の発展に寄与する”という設立の原点に立ち帰り、大学と同窓会が一体となって相互に支え合う関係作りを進めていかなければなりません。同時に大学にも法人独自の卒業生施策が求められています。

3. 同窓会の持続的発展のために

組織の拡大発展とともに、事業の透明性や社会的責任を果たさなければなりません。好き嫌いではなく、より良い組織を次世代に繋ぐための議論を始めたいと思います。大樟会の持続的発展を維持するためには、避けて通れない重要課題です。

理事の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

2019年度全国支部長会議

前回の支部長会議の声　大学トップに伝える

2019年度全国支部長会議は、大樟会理事会に先立ち、午前11時からJ館3階の第一会議室で開催された。当日の会議には、現在、大樟会を構成する全国の54支部、7部会、2団体のうち45支部、3部会、1団体の支部長、会長が出席した。内田事務局長の開会の辞の後、去る5月7日に逝去された佐藤啓太郎滋賀支部長に対し出席者全員で黙祷を捧げ、ご冥福を祈った。

続いて田村大樟会会長の挨拶に続き、2018年度中に就任した新支部長、新部会長9氏の紹介があり、それぞれ抱負等が述べられた。さらに、2018年10月28日に開催された2018年度全国支部長会議で支部長から出された地方支部の会員の減少

や高齢化を危惧する声などを大学の藤本理事長、山本学長に説明、大樟会と大学が協力して対応する必要性を確認したことなどが報告された。

大樟会本部組織図

（2020年1月15日 現在）

会長
田村　正晴（30）

副会長
小林　眞人（32）
進木伸次郎（33）
大河内徹心（39）

監事
廣野　義直（34）
檜垣　典仁（38）
川口　正義（41）

事務局
局長　内田　敏雄（39）
参与　竹中　　亨（32）
局員　寺本　孝子
　　藤原　広子

総務部
部長
角脇　忠行（34）
渡辺　美幸（71）

広報部
部長
小林　眞人（32）
角庵　勝巳（43）
西村　幸雄（43）
天野　康弘（46）
石元　佳代（47）
宮武　記章（63）
石橋佳世子（65）

組織部
部長
石橋　隆夫（32）
山本　隆造（37）
田中　伸治（45）
山内　淳子（47）
西平　綾太（48）
上田敬二郎（52）
吉仲美智子（68）

財務部
部長
中坪　健治（41）
大山　寿久（41）
伊藤　和人（67）

注：（　）内は卒回

2018年度収支決算書

自　2018年4月1日　至　2019年3月31日　　（単位：円）

収入の部 科目	決算額	予算額	支出の部 科目	決算額	予算額
前期繰越金	39,575,608	39,575,608	総会費	2,019,287	3,000,000
会費収入	61,124,000	60,000,000	役員会費	991,626	1,100,000
総会収入	200,000	500,000	支部費	12,340,861	12,000,000
利息収入	253,720	180,000	事務費	707,105	1,000,000
澱江収入	826,540	800,000	人件費	8,497,470	9,100,000
広告料収入	875,000	1,000,000	旅費交通費	4,150,000	3,500,000
奨学金収入	1,342,043	900,000	広報活動費	10,032,198	12,000,000
雑収入	24,000	0	名簿調査費	315,255	300,000
			学対費	12,520,208	12,000,000
			諸会助成費	1,546,383	1,300,000
			慶弔費	145,016	500,000
			予備費	0	1,500,000
			次期繰越金	50,955,502	45,655,608
合計	104,220,911	102,955,608	合計	104,220,911	102,955,608

2019年度収支予算書

自　2019年4月1日　至　2020年3月31日　　（単位：円）

収入の部 科目	予算額	摘要	支出の部 科目	予算額	摘要
前期繰越金	50,955,502		総会費	5,000,000	
会費収入	60,000,000		役員会費	1,100,000	理事会・常務理事会・各部会
総会収入	500,000		支部費	13,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入	180,000		事務費	1,000,000	
澱江収入	800,000		人件費	9,700,000	事務局人件費
広告料収入	1,000,000		旅費交通費	3,800,000	
奨学金基金収入	1,000,000		広報活動費	12,000,000	
			名簿調査費	300,000	
			学対費	12,600,000	大学祭・クラブ活動援助 他
			諸会助成費	1,500,000	諸会援助
			慶弔費	500,000	
			スポーツ・学術振興引当金繰入	10,000,000	
			予備費	1,500,000	
			次期繰越金	42,435,502	
合計	114,435,502		合計	114,435,502	

大樟会支部長・各種部会会長一覧

★は新支部

2020年1月15日 現在

支部・部会名	氏　名	卒回	現　住　所	電　話
北海道	池田　正勝	34		
東京	森田　幸伯	45		
富山	老月　邦夫	37		
石川	鍛治　一英	36		
福井	田安　敏男	38		
岐阜	山根　一男	46		
静岡	大塩　博喜	40		
愛知	五十棲保彦	32		
三重	池山　英典	57		
滋賀	殿城　幸雄	41		
京都	柴田　俊彦	50		
大阪市淀川	青木　正道	36		
大阪市北	小原　宏夫	38		
大阪市南	吉川　進	41		
大阪市住吉	山本　岩雄	33		
大阪市役所				
北大阪	角野　力	41		
北摂	本郷　公夫	33		
北河内	(未定)			
豊中	田中　功一	42		
池田	松田今朝男	34		
箕面・豊能	吉仲美智子	68		
泉南	塩谷善一郎	39		
★南大阪	藤田　鉄夫	40		
堺				
尼崎	松浦雄一郎	70		
伊丹	竹中　亨	32		
川西・川辺	竹本　勇	35		
阪神	秋山　治信	37		
神戸	正岡　健二	36		
丹有	足立徳太郎	36		
明石	池上　照夫	40		
北播磨	伊藤　俊博	32		
但馬	田渕　善人	36		
東播磨	宮崎　善人	43		
姫路	上野　隆裕	40		
淡路島	赤松　慶久	37		
奈良	中嶋　肇	32		
和歌山	岩田　弘彦	48		
鳥取	本庄　克則	46		
島根	山本　篤治	42		
岡山	松永　清彦	41		
津山	藤井　治則	46		
福山	岡崎　正廣	37		
広島	陰山　秀明	44		
山口	藤原　俊明	37		
徳島	樫本　孝	35		
香川	鈴木　澄夫	36		
愛媛	二宮　克郎	40		
高知	南　宏道	52		
北九州	植田　達三	52		
大分	寒田　陽	40		
熊本	坂本　純夫	39		
宮崎	堀内　健一	35		
鹿児島	前薗　博隆	34		
★沖縄	西里　喜明	48		
大樟春秋会	森田　俊作	45		
大樟体育会	山本　隆造	37		
池田泉州銀行大樟会	能多　英明	57		
日立大樟会	山下　徹男	37		
税理士大樟会	中坪　健治	41		
大樟教育研究会	西村　幸雄	43		
社労士大樟会	飯田　政信	35		
大学院大樟会	前田　増蔵	43		
大樟樟政会	西　恵司	35		

2019年度　理事一覧

◎常務理事　○監事　　令和元年12月20日現在

卒回	氏名				
13	奥村美智子	能口左和子			
14	上野満里子	柴田　悦子	藤川　玲子		
16	酒井　克己				
18	加藤　　宏				
20	吉村　忠一				
23	酒井　弘光	志水　利通	西本　集一		
24	上野　晃司	大場　謙二	多賀　　平		
25	下土井康晴	中平　秀覧	水納　敏也	森川　義一	
26	坂井田雄賢				
27	神代　憲治	車野　修三	中　　一正	松田　英志	
28	大久保儀臣	鶴谷　利一	平尾　哲男		
29	国西　良昌	米村紀代孝			
30	柏原　知博	神田　　博	小泉　俊夫	佐藤　武司	◎田村　正晴
	橋本　庫一				
31	木谷　正雄	中村　敏啓	平田　義行	安田　秀雄	山﨑　敏輝
32	◎石橋　隆夫	植村　祐三	桑原　勇臣	小池　勝章	◎小林　眞人
	◎竹中　　亨	新田　和弘	春木　洋次		
33	◎進木伸次郎	西川　嘉紀	松竹　喜満		
34	岡田　輝夫	◎角脇　忠行	竹内　通弘	○廣野　義直	藤本　二郎
35	小野　　隆	大西　健介	木戸　淳一	近藤　靖太	佐藤　和夫
	谷丸　八郎	濵　　忍	三木　　泰	南　　和男	山本　憲章
36	片山　剛征	木岡　良郎	下垣　恒彦		
37	秋山　治信	梶村　貞男	竹本　　巧	福田　敏裕	淵上　清二
	◎山本　隆造				
38	植田　富雄	岡本　　久	田安　敏男	本庄　和郎	○檜垣　典仁
	松田敬一郎	森友　通夫			
39	秋口　政俊	◎内田　敏雄	◎大河内徹心	大隅たつみ	北川　　茂
	西出　省三	福地　利仁	松本　辰郎	矢倉　英一	
40	木村　健治	佐藤　英夫	齊藤　敏明		
41	◎大山　寿久	奥村　勝茂	○川口　正義	田中　一良	髙塚　邦夫
	◎中坪　健治	松尾　洋助	森　　義晴	安原　教夫	山田　正人
42	市原　幸惠				
43	◎角庵　勝巳	刀根　唯誌	中嶋　閎一	廣嶋　健次	南　　正治
	八尾　英規				
44	山田　栄宏				
45	坂本　勝宣	◎田中　伸治			
46	◎天野　康弘	岩下　義之	岡筋　政之	上甲　宣史	田島　裕司
	大門　由秀	竹本　善久	前田　基美	安田　　太	吉田　敏明
47	◎石元　佳代	西野　宗一	◎山内　淳子		
48	川田　直嗣	河内　龍澈	◎西平　綾太	山崎　正順	
49	西本　一弘	畠山　昌憲			
50	今井　正弘	柴田　俊彦	山本陵太朗		
51	大谷　忠久	吉里　香織			
52	青山　栄三	◎上田敬二郎	原田かおり		
53	竹内　秀樹	安村　和久			
54	岡田　隆義	藤原広太郎			
56	久保　雅則	山本　充子			
57	陸野　　敬	湯村　徳光			
58	浦尾　雅文	齋　　哲弘	中尾　篤也		
59	菊川　和義	米原　秀雄			
61	上田平元茂	竹原林太郎			
62	梅原　　猛	山下　一佳			
63	◎宮武　記章				
64	浪花　拓也				
65	◎石橋佳世子	二宮　　勉	三津　辰雄		
66	加藤　正憲	辻　　大輔	寺西　博文		
67	◎伊藤　和人				
68	坂口　達也	◎吉仲美智子			
69	上西　政則				
70	富山　芳勝	徳重　和寛	藤田　尚毅	松浦雄一郎	
71	林　　辰郎	◎渡辺　美幸			
72	大井　順平	岡本　圭秀	波多　朋美		
73	阪口　美和	松井　啓子			
74	藤田絵里菜	山田　　武			
75	谷　　力	高田　友美	原田有紀子		
76	服部　貴志	道阪　友裕			
77	久郷　　健				
79	八木　大輔				

年間行事（2019年1月～12月）

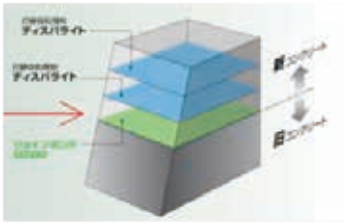
1月15日(火) 支部行事 税理士大樟会研修会(本学E館7階)
1月15日(火) 支部行事 税理士大樟会新年会(本学E館7階)
1月19日(土) 支部行事 徳島支部総会(ホテルクレメント徳島)
1月27日(日) 支部行事 愛知支部総会(名鉄ニューグランドホテル)
2月 9日(土) 支部行事 社労士大樟会研修会(本学E館7階会議室)
2月14日(木) 支部行事 尼崎支部総会(尼崎商工会議所)
2月16日(土) OB会行事 日本拳法部OB総会(本学E館7階)
2月17日(日) OB会行事 二十三期生の集い(本学E館7階会議室)
3月 2日(土) 支部行事 北摂支部総会(高槻市立文化会館(市民会館1階・錦松鶴))
3月 3日(日) 支部行事 広島支部総会(リーガロイヤルホテル広島)
3月 3日(日) 支部行事 箕面・豊能支部総会(音羽山荘)
3月 9日(土) OB会行事 硬式野球部OB会総会(神仙閣)
3月 9日(土) OB会行事 柔道部OB会総会・歓送迎会(本学E館7階)
4月19日(金) OB会行事 澱江27期会(ホテルモントレ大阪)
4月21日(日) OB会行事 空手道部OB総会(本学E館7階会議室)
4月28日(日) 支部行事 大阪市北支部・大阪市南支部合同支部総会(吉川ビル4F会議室)
5月11日(土) OB会行事 マンドリンクラブOBOG総会(大樟ホール)
5月12日(日) 支部行事 北河内支部総会(がんこ寝屋川店)
5月14日(火) 支部行事 大樟春秋会(総会)(大阪キャッスルホテル)
5月25日(土) 同窓会行事 全国支部長会議(本学)
5月25日(土) 同窓会行事 大樟会理事会(本学)
5月25日(土) OB会行事 第35期大阪大会(大阪キャッスルホテル)
5月26日(日) 支部行事 大阪市住吉支部総会(本学E館7階会議室)
6月 1日(土) 支部行事 阪神支部総会(宝塚ホテル)
6月 1日(土) 支部行事 熊本支部総会(KKRホテル熊本)
6月 2日(日) 支部行事 南大阪支部設立総会(バリタワー大阪天王寺)
6月 8日(土) 支部行事 第19回大樟教育研究会和歌山県支部会(第2富士ホテル)
6月15日(土) 支部行事 豊中支部設立35周年記念総会(千里阪急ホテル)
6月15日(土) 支部行事 北大阪支部総会(ホテル阪急エキスポパーク)
6月15日(土) OB会行事 アイススケート部創部60周年記念総会兼新入生歓迎会(本学E館7階)
6月15日(土) OB会行事 グリークラブOB会(本学学生会館)
6月15日(土)・16日(日) OB会行事 経翔会総会(苫田温泉「泉水」)
6月16日(日) 支部行事 川西・川辺支部総会(本学E館7階会議室)
6月16日(日) OB会行事 ソフトテニス部OB会総会(本学学生会館2階)
6月22日(土) 支部行事 伊丹支部総会(伊丹シティホテル)
6月22日(土) 支部行事 池田支部総会(音羽　池田店)
6月23日(日) 支部行事 泉南支部総会(関空エアポートワシントンホテル)
6月23日(日) 支部行事 沖縄支部設立総会(ホテルロイヤルオリオン)
6月23日(日) OB会行事 ラグビー部OB総会(本学E館7階会議室)
6月29日(土) 支部行事 大樟体育会総会(本学E館7階)
6月29日(土) 支部行事 大分支部総会(ゆふいん森のホテル シャン　ジュエル)
6月29日(土) OB会行事 邦楽部創部55周年記念祝賀会(新大阪ワシントンホテルプラザ)
6月29日(土) 支部行事 福井支部総会(ホテルリバージュアケボノ)
7月 4日(木) 支部行事 税理士大樟会研修会(大阪新阪急ホテル)
7月 4日(木) 支部行事 税理士大樟会定期総会(大阪新阪急ホテル)
7月 6日(土) 支部行事 岡山支部総会(岡山プラザホテル)
7月 6日(土) 支部行事 鳥取支部総会(倉吉シティホテル)
7月13日(土) 支部行事 香川支部総会(ルポール讃岐)
7月13日(土) 支部行事 社労士大樟会総会(本学E館7階)
7月13日(土) 支部行事 大阪市淀川支部総会(ホテルプラザオーサカ)
7月20日(土) 支部行事 富山支部総会(割烹「千鳥」)
7月27日(土) 支部行事 静岡支部総会(ホテルセンチュリー静岡)
7月27日(土) 支部行事 愛媛支部総会(今治国際ホテル)
8月 2日(金) 支部行事 池田泉州銀行大樟会総会(ホテル日航大阪)
8月24日(土) 支部行事 津山支部総会(日和)
8月31日(土) 支部行事 大樟樟政会(大阪キャッスルホテル)
9月 7日(土)・8日(日) 同窓会行事 大経大パソコン教室(本学)
9月14日(土) 支部行事 日立大樟会(ガーデンシティクラブ大阪)
9月27日(金) 支部行事 東京支部総会(日本外国特派員協会『丸の内2重橋ビル』)
9月28日(土) 支部行事 淡路島支部総会(夢海遊淡路島)
9月28日(土) 支部行事 島根支部総会(松江エクセルホテル東急)
10月 5日(土) 支部行事 山口支部総会(山口グランドホテル)
10月 6日(日) 支部行事 神戸支部総会(レニージョエル)
10月 6日(日) 支部行事 奈良支部総会(ホテル日航奈良)
10月19日(土) 支部行事 三重支部総会(和田金)
10月20日(日) 支部行事 愛知支部総会(名鉄ニューグランドホテル)
10月26日(土) 支部行事 姫路支部総会(姫路キャッスルグランヴィリオホテル　旧姫路キャッスルホテル)
10月26日(土) 支部行事 東播磨支部総会(加古川プラザホテル『東京田村』)
10月26日(土) 支部行事 北九州支部総会(マリン)
10月26日(土) 支部行事 広島支部総会(リーガロイヤルホテル広島)
10月27日(日) OB会行事 第五期寮友会集い(熱海温泉　KKR HOTEL　ATAMI)
10月31日(木) 支部行事 北海道支部総会(札幌ビューホテル　大通公園)
11月 3日(日・祝) 同窓会行事 大樟会総会(本学)
11月 3日(日・祝) 支部行事 大学院大樟会総会
11月 3日(日・祝) OB会行事 第29期生会(民芸酒場　ひでよし)
11月 3日(日・祝) OB会行事 32期同期会(本学)
11月 3日(日・祝) OB会行事 とりあえず34期会(本学)
11月 3日(日・祝) OB会行事 37期同期会(本学)
11月 3日(日・祝) OB会行事 氣流会総会(本学)
11月 9日(土) 支部行事 宮崎支部総会(ホテルメリージュ宮崎)
11月 9日(土) 支部行事 高知支部総会(土佐ノ國二十四万石)
11月 9日(土) 支部行事 京都支部総会(ホテル京阪京都グランデ)
11月 9日(土) 支部行事 石川支部総会(ホテル日航金沢)
11月16日(土) 支部行事 南九州支部総会(ワシントンホテル　ガスライト)
11月16日(土) 支部行事 大樟教育研究会(本学)
11月16日(土) OB会行事 少林寺拳法部創部五十周年記念祝賀会(本学80周年記念ホール)
11月17日(日) 支部行事 岐阜支部総会(岐阜キャッスルインホテル)
11月17日(日) OB会行事 写真部OB・OG会(本学　学生会館)
11月24日(日) 支部行事 備後支部総会(福山ニューキャッスルホテル)
11月30日(土) 支部行事 丹有支部総会(料理旅館高砂)
12月 3日(火) 支部行事 大樟春秋会(ホテル阪神大阪)
12月20日(金) 支部行事 北播磨支部総会(魚司)

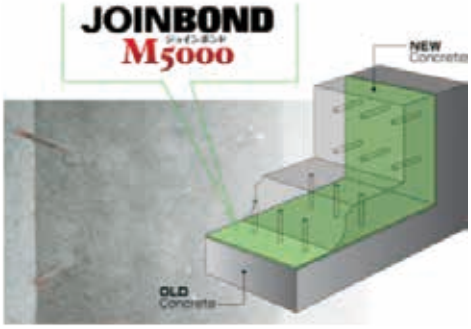
EVER ONWARD

安定した品質で建設現場に貢献し、
社会資本に「安全・安心」を供給する。

ジョインボンドM5000 省力化をサポート！
NETIS 登録番号 KK-130043-A

新旧コンクリート打継目接着材（繊維補強ポリマーセメント系）





施工後、新コンクリート打設まで最大14日確保！
チッピング不要で新旧コンクリートを一体化！

建設産業のインフラを支える日本ジッコウグループ

コンクリート関連資材の総合販売
日本ジッコウ株式会社
TEL / 078-974-1141　FAX / 078-974-7786
URL / http://www.jikkou.co.jp

機能性モルタル類の総合メーカー
High-Quality & Trust
テクノスジャパン株式会社
TEL / 078-924-1234　FAX / 078-924-0050
URL / http://www.attack-pro.com

コンクリート構造物の劣化調査・診断
建設コンサルタント登録 No. 建 27 第 6748 号
エースコンサルタント株式会社
TEL / 078-920-2251　FAX / 078-920-2253
URL / http://www.ace-con.co.jp

佐藤武司（昭和39年 30回卒業）

夢と希望にあふれた
社会づくりを実現させるために、
わたしたち大成建設は
これからも人がいきいきとする環境を
創造します。

地図に残る仕事。®
大成建設
TAISEI
For a Lively World

信頼で地域とつながる

大阪シティ信用金庫

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL.(06)6201-2881(代表)
http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/

大阪府内に86店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。 令和2年1月1日現在

Daiwa Lease®
大和ハウスグループ

持続可能な社会を目指そう。

大和リースは、大和ハウスグループの中核企業として、次世代のために、持続可能な社会を実現するため、行政から民間企業まで、あらゆるお客様のさまざまな課題を解決します。その手段として、当社の4つの事業を複合化した提案を行い、総力をあげて豊かな未来のために貢献いたします。

■ 規格建築事業

■ 流通建築リース事業

■ リーシング ソリューション事業

■ 環境緑化事業

大和リース株式会社 www.daiwalease.co.jp
大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ピップビル 〒540-0011
Tel 06-6942-8011 Fax 06-6942-8051

建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-27・29)第5903号
宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(8)第3836号

オフィス創りの総合商社

文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具

どんなことでも NIKKOへ！

NIKKO 株式会社日興商会

コクヨ製品取扱高全国 No.1

本 社　〒660-0892 尼崎市東難波町５丁目10番30号 Tel. 06・6487・1401 Fax. 06・6487・1414 ホームページ https://nikko.bunguclub.co.jp
支 店　大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島　他　全18支店１営業所

やすらぎのある空間づくり

Takasho

http://takasho.co.jp

株式会社タカショー

本　　社：和歌山県海南市南赤坂20-1
TEL.073-482-4128
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9
TEL.03-5244-5650
国内16支店・営業所、海外7支店
タカショーグループ20社（国内7社・海外13社）

祖谷庄

千寿庵

≪北摂エリア直営店≫
① 阪急茨木店（阪急電鉄茨木駅構内）
② 千里中央店（北大阪急行電鉄千里中央駅ホーム南）
③ 阪急南千里店（阪急オアシス横）
④ JR高槻駅店（JR高槻駅改札外）

株式会社　千寿庵
〒569−0046　大阪府高槻市登町27-1
TEL　072-671-3333（代）FAX　072-671-1455
URL　https://senjuan.co.jp/
41回生　代表取締役　五十嵐　伸行

資源の有効利用と環境に配慮した事業に取り組みます

防音パネル・採光パネル

低層足場

橋梁足場

仮設機材レンタル　足場材架払工事

オーケージーリース株式会社

〒550-0011
大阪府大阪市西区阿波座1丁目6番13号
カーニープレイス本町 8階
tel : 06-6578-1081　web : http://www.okg-gr.com/

廣 済 堂
文教ソリューション
KOSAIDO BUNKYO SOLUTION

学校経営を支援する多彩なソリューションをご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社廣済堂
〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1
TEL 06-6855-1100(代)
http://www.kosaido.co.jp/
KOSAIDO

TV でも話題になり紹介された！ 愛媛県、幻のスイーツ「霧の森大福」
高知県「あぐり窪川の豚まん」中土佐の「風工房」などを生み出した
【フードプロデューサー 大原一郎】が高知で話題の石鍋スープカレーを大阪へ！

menu スープカレーは両店共通です。＊すべて消費税込み価格です。

LUNCH SET
お好きなスープカレー
＋
ミニサラダ・ライス
（十穀米 or 春雨）

野菜とチキンのスープカレー
ヘルシーな野菜がたっぷり。
自家製若鶏のグリルが入った
おすすめスープカレーです。

定番

初めての方におすすめです。

野菜のスープカレー
カレーと良く合う
ヘルシーな野菜がたっぷりの
定番食材のスープカレー。
初めての方にはおすすめです。

各ライス付き［十穀米］
スープカレーとのバランスを考え、
栄養豊富でヘルシーな「十穀米」を
ご用意しました。
十穀米が苦手な方には
春雨もご用意しています。

ニラと親鶏のスープカレー
コリコリ歯ごたえのある親鶏は、噛めば噛むほど旨味がでて、スープとの相性バツグン！たっぷりのニラでスタミナUP！

きのことベーコンのスープカレー
ガーリックオイルで風味をつけたエリンギ＆シメジに厚切りベーコンを加え、まろやかなスープカレーに仕上げました。

トマトとナスのスープカレー
スパイシーなスープに、とろとろ茄子と甘酸っぱいトマトがたまらなくマッチング。唐パプリカの旨味がスープにとろけ絶品なスープカレーの完成。

豆と鶏ミンチのスープカレー
スパイシーなスープに、鶏ミンチと豆と野菜が絶妙。とってもヘルシーなスープカレー。

シーフードスープカレー
えび、あさり、いか、ホタテ、貝柱などがたっぷり。スパイシーな海鮮スープカレー。

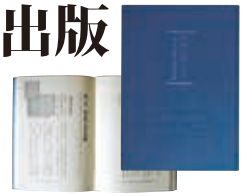
キーマスープカレー
オリジナル、キーマスパイスで味付け。これがスープに溶け込むとっても おいしいおダシとなります。

香樹 Soup Curry & Cafe Kaju
大阪府豊中市少路 2-9-18
TEL：06-4865-5258
11:00 ～ 21:30（Lo21:00）
香樹：MAP 豊中　香樹：instagram

Spice & Sweets KAJU
大阪市北区堂山町 15-17アクトⅢ1F
TEL：06-6312-2588
11:30 ～ 21:30（Lo21:00）
KAJU：MAP 梅田　KAJU：instagram

社史・記念誌・自叙伝出版

ご希望・ご予算に応じて
原稿整理のお手伝いから
編集企画をご提案します



安全手帳・ノート・ハンドブック

企業様の安全管理を
オリジナルのイラストで
分かりやすく伝えます

大信印刷株式会社　www.dprint.co.jp　☆S58卒 畠山 昌憲 hatakeyama@dprint.co.jp
〒531-0076　大阪市北区大淀中4丁目13-11　Tel.06・6451・7631 Fax.06・6451・3735

AIT

エーアイティーは
海上輸送・航空輸送・通関を融合した
ロジスティクスを提供いたします。

株式会社エーアイティー
本　　社　大阪市中央区本町二丁目1番6号
Tel06-6260-3450　　FAX 06-6260-3460

関西・東海に幅広く展開

農業と園芸、家庭菜園の専門店

農業と園芸

農業屋

つくる人とたべる人をつなぐ農産物直売所

農家の産直市場 みのり

日本最大級の種の通販サイト

農業と園芸 農業屋.com

http://www.nogyoya.com

田んぼ・畑の獣害にお困りの方に!!

防獣バスターズ

「豊かなみのりにご奉仕する」という理念のもと、古くからタネ屋として日本全国の種苗会社様とともに、お客様により良い品種のご提案をしてきました。三重県にある自社農場では、タネ屋のノウハウを活かし、野菜苗・花苗の生産を行っています。主に農業屋では農家さんの「つくる」を、産直市場みのりでは「売る」をサポートしています。これからも地域の皆様に愛されるお店づくりを行って参ります。

クラギ株式会社
三重県松阪市川井町花田 539
電話：0598-26-1111（代）　FAX：0598-26-1113（代）
ホームページ　http://www.nogyoya.jp

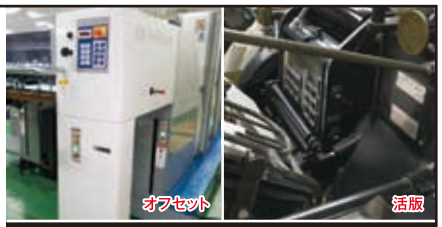
企画・デザインから
印刷・製本・加工まで

名刺、ショップカード、ロゴカード、小ロット冊子印刷、
大判ポスター出力、伝票、封筒、挨拶状の印刷、
記念誌、アルバム印刷など。
色々な印刷物のご注文承ります。

2020年
おかげさまで創業90年

OSHIMA
PRINTING
www.oshima-p.com

大島印刷株式会社
〒554-0012 大阪市此花区西九条3丁目2番16号
TEL:06-6462-0521　FAX:06-6468-3606
E-mail：info@oshima-p.com



活版印刷、バックカーボン印刷、オフセット印刷、
オンデマンド印刷まで
印刷物全般
何でもお任せ下さい。
企画・制作・印刷・製本・加工まで社内で一括管理！
コスト削減・短納期を実現!!
まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

経大生協では、学事・学会・講演会・OB会などの懇親会やPARTYを、ご要望にあわせてプランニングいたします。
お料理・飲み物・ホールサービス・会場設営など内容についても是非ご相談ください。

お気軽にご相談ください

大阪経済大学生活協同組合
〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
TEL.06- 6379- 2230 Fax.6379- 2232　URL.http://oue.hanshin.coop/
e-mail　oue-coop@hanshin.coop

ACE
GROUP
SINCE 1992

株式会社 エース警備保障

［本社］
〒660-0815　兵庫県尼崎市杭瀬北新町4-9-7
TEL:06-6481-0055　FAX:06-6481-0011

［大阪支店］
〒550-0001　大阪市西区土佐堀1-6-20 新栄ビル803
TEL:06-6446-0500　FAX:06-6446-0501

［神戸西支店］
〒651-2412　兵庫県神戸市西区竜が岡1-4-6
TEL:078-969-2007　FAX:078-969-2017

株式会社 エース警備保障
http://www.ace-guard.com

2019.春
リニューアル
オープン
ライブ感、さらにアップ！
フランス料理のひと皿から季節の美味まで、思う存分食べ放題
平日&日祝ディナーの
営業時間内は時間無制限
※最大4時間　※一部日程を除く
ソフトドリンク飲み放題
ランチ Lunch 3,700円～
ディナー Dinner 4,800円～
※表記の料金はいずれも1名様・消費税込
※特別営業期間は料金・営業時間が異なります
梅田
茶屋町
ホテル阪急インターナショナル
1階 ビュッフェ&カフェレストラン「ナイト&デイ」
ご予約・お問い合わせ 06-6377-3618（直通）
店舗詳細はWEBで
ナイト&デイ バイキング

池田泉州銀行で「年金」・「給与」をお受取りいただけるお客さま向けのお得なサービス
メインバンクサービス
年金お受取りで
給与*1お受取りで
ATM*2時間外手数料
当行キャッシュカード利用による
当行本支店あて振込手数料
0円！
さらに「スタシアサイカ」・「ミナピタサイカ」*3をご契約のお客さまは、
コンビニATM利用手数料を月4回までキャッシュバック!!
*1 給与振込は、お勤め先が取引金融機関と給与振込の契約を結んだうえでお取扱いしているものに限ります。賞与は含みません。
*2 当行ATM、駅ナカATM「Patsat」のお引出しにかかる手数料が0円となります。
*3 スタシアサイカ・ミナピタサイカとは、キャッシュカード・クレジットカード・PiTaPaの機能がついた多機能ICキャッシュカードです。
サービス適用の判定基準など、
くわしくは右記までお問合わせください。
池田泉州銀行 上新庄支店 TEL.06-6328-2761
（2019年11月1日現在）

www.dhtd.co.jp
Clean, Powerful
e-Diesel
船舶用補機関
船舶用主機関
8DE-33
6DEM-23
DAIHATSU ダイハツディーゼル株式会社
〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番30号 TEL(06)6454-2393 FAX(06)6454-2682
東京支社 TEL(03)3279-0821／仙台支店 TEL(022)227-1674／名古屋支店 TEL(052)561-1311
四国支店 TEL(0898)32-6213／九州支店 TEL(092)629-0731／守山事業所 TEL(077)583-2551

「がんばらない」経営

当社の経営を一言で表現すると
「頑張らない経営」となります。
「頑張らない」とは、
「怠ける」ということではなく、
「無理をしない」ということです。
つまり、出来もしないようなことを
目標に掲げ、無駄に力を使うのではなく、
基本的なことを
確実に実行していくことが、
会社を継続して成長させることに
つながると考えています。

ケーズデンキイメージキャラクター
ちびまる子ちゃん
©さくらプロダクション／日本アニメーション

会員数4,000万人超!

ケーズデンキあんしんパスポート

会員募集中!
加入料・年会費無料!

ケーズデンキあんしんパスポートは、お客様に4つの「安心」をご提供するカードです。

1.「価格」が安心……パスポートのご提示で電池や電球などの小物商品も割引いたします。
※一部値引き対象外の商品・サービスがございます。

2.「アフターサービス」が安心……パスポートのご提示で対象商品ご購入の際の長期無料保証登録が簡単になります。

3.「万が一の商品リコール」にも安心……万が一、メーカーからリコール商品がでても、対象商品をご購入されたお客様に迅速にご連絡いたします。

4.「消耗品等のお買物」が安心……プリンタのインクやクリーナーの紙パックの型番を購入履歴の検索でお調べいたします。

更にアプリなら **最新チラシがスマホで見られる!!**

アプリ限定クーポンも配信!

※画面はイメージです。

アプリのダウンロードは App Store や Google Play にて ケーズデンキ を検索

※アプリのダウンロードおよび利用に伴う通信料などはお客様のご負担になります。

新製品が安いケーズデンキ

おかげさまで全国に500店舗以上展開!!
https://www.ksdenki.com/

事務局からのお知らせ

★住所等を変更された場合は、必ずご連絡ください！

「澱江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等を変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください（切手代は不要です）。その他、電話、FAXなどでも受けつけております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話06-6328-2431（代表）　　FAX 06-6328-4564（直通）
メール okusu@osaka-ue-denko.com

また、ホームページからもご連絡いただけます。

ホームページアドレス　→　http://www.osaka-ue-denko.com/　大阪経済大学大樟会　検索

●編集後記●

○「澱江55号」をお届けします。
大樟会は昨年６月に南大阪と沖縄に新たな支部が誕生しました。これで北は北海道から南は沖縄まで56支部、職域としての９支部と合わせて65支部。そして今春の卒業生を含めると大樟会会員は10万人の大台を超えることになります。
この卒業生数は全国の大学の上位１割に入る規模を誇り、卒業生は全国各地で活躍をしています。その一部を「ズームアップ」のコーナーでご紹介しております。

○今回の特集は、まず昨年４月に就任された山本俊一郎学長にご登場いただきました。山本新学長は45歳。全国の国公私立大学780校の中でも２番目に若い学長です。抱負の中で、これからの少子化の中で、8000人以上の大規模校をめざすのではなく、中規模校の現状のままで関西でも勝ち残れる大学を目指す戦略を考えた方がいいのでは、という今後の指針を示していただきました。

○特集の２番目は昨年新しく誕生した支部も含めてベテランの支部長さんから新支部長までお集まりいただき、それぞれの支部が持つ悩み、課題などについて率直なご意見をお伺いいたしました。先輩支部からは会員の集まりが悪いとの現状を聞き、その打開策はあるのか、真剣に討議しました。

○各支部長へアンケートを実施した結果、高齢化が進み、文字を大きくして欲しいとの要望がありました。そこで編集部としては次号56号から文字のポイントを大きくすることにいたしました。その分情報量が少なくなることは否めません。「澱江」の中でも一番多くのページを割いている各支部の総会を紹介する「支部だより」の構成を大幅に改革します。

○「支部だより」の内容は、各支部とも大きな差異はありません。そうであれば開催日時、開催会場、参加人数の共通項目はまとめ、内容のある部分だけ記載していただくことにしました。特に、ハイキングをしたとか、見学をしたとかの特記がある支部については、別にそのようなコーナーを設けて紹介するという方法に改めることにしました（支部長には記載様式を後日お送りいたします）。

○その他のコーナーにご投稿いただきますOB・OGの方々には、今後字数制限を厳守していただきますよう、お願いいたします。

○毎回記載しておりますが、小生、山口在住のため月１回の編集会議に出席するほかは事務局に丸投げ状態で大変ご迷惑をおかけいたしました。

（広報部長　小林眞人）

「澱江」の由来　初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ　我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば「【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。『淀』は『澱（でん）』に通ずる」と記載されています。

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

澱江（でんこう）2020

■発行日　2020年1月31日（金）
■編　集　大阪経済大学大樟会 広報部
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8　電話06-6328-2431（代）
メール okusu@osaka-ue-denko.com　URL http://www.osaka-ue-denko.com/
■印　刷　株式会社 廣済堂
〒560-8567　大阪府豊中市蛍池西町2-2-1　電話06-6855-1100（代）